夕刊 滿洲日報 六月十三日

滿鐵の新職制に伴ふ人事大異動けふ發表

けさ仙石總裁の決裁を經て

滿鐵新職制の人事配置問題は十二日午後の重役會議において決定十三日午前九時總裁の決裁を經て午後二時發表された職制の十二部は各部長に副總裁以下各理事を當て部長のもとに十二名の社員次長を据へ次長の下に四十九課長、東京支社長、哈爾賓事務所長の下に各二課長宛合計五十三課長の任命を見た、木村總務部次長兼庶務課長中西人事課長、伊藤運輸課長、粟野地方課長、築島炭礦部次長、富永製鐵部次長等は何れも榮轉組とされてゐる

總務部長 大平 駒槌
- 次長 木村 通
- 庶務課長 木村 通
- 文書課長 岡田 卓雄
- 人事課長 中西 敏憲
- 檢査課長 市川 健吉
- 考査課長 中山正三郎
- 調査課長 佐田弘治郎
- 勞務課長 二村 光三

計畫部長 大藏 公望
- 次長 向坊盛一郎
- 業務課長 小澤 宣義
- 技術課長 根橋 禎二
- 能率課長 田所 耕耘

交渉部長 齋藤 良衛
- 次長 石川 鐵雄
- 渉外課長 山崎 元幹
- 資料課長 石井 成一

經理部長 神鞭 常孝
- 次長 竹中 政一
- 會計課長 長山 七治
- 主計課長 三宅亮三郎

鐵道部長 藤根 壽吉
- 次長 鈴木 二郎
- 庶務課長 酒井淸兵衛
- 經理課長 市川 數造
- 旅客課長 下津春五郎
- 貨物課長 伊澤 道雄
- 運輸課長 太田 久作
- 工務課長 山領 貞二
- 保安課長 山岡 信夫
- 運運課長 伊藤 太郎

炭礦部長 大平 駒槌
- 次長 築島 信司
- 庶務課長 大垣 研
- 採炭課長 久保 孚
- 機械課長 國松 緑
- 化學課長 岡村 金三
- 經理課長 石橋 米一
- 電氣課長 大橋 頼三

製鐵部長 大平 駒槌
- 次長 富永 能雄
- 庶務課長 久留島秀三郎（兼）
- 製造課長 梅根常三郎
- 工作課長 矢野 耕治
- 採礦課長 久留島秀三郎

販賣部長 神鞭 常孝
- 次長 小川 逸郎
- 庶務課長 金田 純一
- 石炭課長 林 正春
- 鉄鑛課長 三瀦 又三

殖產部長 大藏 公望
- 次長 武部治右衛門
- 庶務課長 小須田常三郎

地方部長 大藏 公望
- 次長 山西 恒郎
- 庶務課長 土井 顯
- 地方課長 粟野 俊一
- 衞生課長 金井 章次
- 學務課長 粟野 俊一（兼）
- 商工課長 五十嵐保司
- 農務課長 松島 鑑
- 中央試驗所長 世良 正一

工事部長 藤根 壽吉
- 次長 佐藤 俊久
- 庶務課長 由利 元吉
- 土木課長 郡 新一郎
- 建築課長 靑木菊治郎
- 築港課長 桑原 利英

用度部長 神鞭 常孝
- 次長 白濱多次郎
- 庶務課長 白濱多次郎
- 購買課長 鹿野千代槌
- 倉庫課長 佐久間 章

東京支社長 大淵 三樹
- 庶務課長 平山 敬三
- 經理課長 橋本戊子郎

- 哈爾濱事務所長 宇佐美寛爾
- 庶務課長 前田 孝義
- 運輸課長 石原 重高
- 上海事務所長 石本 憲治
- 奉天公所長 入江正太郎
- 理學試驗所 渡邊猪之助
- 鐵道工場長 野中 秀次
- 埠頭事務所長 羽田 公司
- 長春地方事務所長 大岩 峯吉

高級社員の勇退者百三十名に上る

けさそれぐ内命

本俸百五十圓以上の高級社員の中待命乃至退職を命ぜられた主なる者は左の四十六氏であった

參事 福田 稔　參事 和田 九市　參事 増永茂重郎　參事 井上 致也　參事 永雄 策郎　參事 鹽谷 利濟　參事 長濱哲三郎　參事 濱田 信哉　參事 山内 勝雄　參事 米岡 昌策　參事 石田 藤八　參事 島田 好　參事 小林 淸造　參事 守瀨與三吉

參事 淸水京太郎　參事 西野陸奥太郎　參事 浦島 榮吉　參事 松屋 盛男　參事 貝瀨 謹吾　參事 永田 鐵夫　參事 平澤 儀平　參事 内丸 勇　參事 古仁所 豐　參事 佐々木盛一　參事 足立直太郎　參事 新井 信次　參事 早川 正雄　參事 船田要之助　參事 佐藤 恕一　參事 牛島 烝　參事 土肥 隆

參事 松井 豐治　參事 保々 隆矣　參事 平野 正朝　參事 長谷川貞三　參事 吉富 英助

參事 高宮元三郎　參事 川上 又治　參事 田村 羊三　參事 神田 勝亥　參事 粟原 廣太　參事 藤本 忠　參事 伊東 四郎　參事 千秋 寛　參事 軍司 義男　參事 吉原 大藏

尚右のほか八十四名の高級社員勇退者あり高級社員の退社總數は合計百三十名である、而して右四十六氏は十三日午前九時總裁室應接間に於て仙石總裁よりそれぐ内命を與へられた

待命者の待遇條件

十三日午前十時から應接室に參集して待命の内命を受けた參事級の高級社員四十六名に對し大平副總裁より示した待遇條件は
一、一ヶ年間待命とし右期間本俸及宿舍料の全額を給與す
一、待命期間中に退職を願ひ出る者に對しては本俸一ヶ年分の退職手當を給與す（以下略）

職制改正は仕事の準備のみ

これから懸命に働く

仙石總裁の感想談

仙石總裁の昨夏就任以來社内、外を問はず久しくその經綸發現のために期待されてゐた滿鐵の職制改正並びにそれに伴ふ人事の大異動は愈々發表されたが十三日午後一時過ぎ記者團を總裁室に引見して左の如き感想を洩らした

職制改正とそれに對する人事配置は先づ終つた、然し君達がやかましくいふやうに別に大仕事が終つたわけではない、たゞ庖丁を研いだだけである、どんな料理ができるかはこれからの問題だ、これからその本當の仕事をしなければならぬ、今度の人事の銓衡にあたり何か方針があつたといふのか？そんなものは別に無い、比較的ひまな人に或は辭めて貰つたかも知れぬ、今日は社長一人で仕事がやつて行ける時代ではない、社員は今後協力して仕事を一生懸命やつて貰ひたい、今回の人事異動に際して失業問題を考慮したかといふのか？失業は今日全世界の難問題だ、しかし一人の高給の代りに十人の生活の安定することも考へねばなるまい

神鞭理事上京

總會準備の爲

滿鐵理事神鞭常孝氏は十三日出帆はるびん丸で來る二十日東京において開催の滿鐵株主總會に出席の爲め乘船上京したが

【寫眞】右上より大平、大藏、神鞭、藤根、齋藤中上より佐藤、木村、向坊、石川、竹中左上より築島、山西、白濱、鈴木、大淵諸氏

在滿鮮人の歸化に外相は反對の意見

國策を矛盾するとて

【東京十三日發電】拓務省は支那官憲の在滿鮮人迫害問題解決の爲め朝鮮に國籍法を施行し鮮人に歸化權を附與するに方針を決定朝鮮總督府側と協力して準備を進めてゐるが最近幣原外相が
一、滿蒙發展の先驅者たる在滿鮮人に歸化權を附與して國籍離脱を許すはわが滿蒙國策を矛盾す
一、在滿鮮人の思想取締上支障を來す
一、支那官憲を刺戟し對日感情を惡化せしむ
等の理由で反對説を唱へ問題の解決にはまだ言明の限りではないが別に腹案ありと稱してゐる事實に徴し歸化權附與問題の解決は相當困難視さるゝに至つた

不況打開に生產公債を發行

政府の方針大體決定

【東京十三日發電】財界の大不況と國庫歳入の激減に直面した政府は當面の急務として財界恢復策を講ずべしとの見地から濱口首相、井上藏相、江木鐵相等の間に種々考慮を重ねるに至つた、而して閣内大體の意見は此不況對策として
一、財界不況に基く必要以上の人心の委靡を一掃する事
一、生產公債は限度を極めて發行し從來の公債政策を變更す
一、關税の改正
の三方針に一致してゐると

勞働組合法案と政府の方針

獨自の見解を執る

【東京十三日發電】政府は十二日日本商工會議所の勞働組合法案反對陳情を受けたが十二日濱口首相安達内相會見の結果資本家側にも勞資の闘爭を激發する點多く政府は獨自の見解を固く執つて進む事に意見の一致を見た

各省復活要求

【東京十二日發電】十二日午後各省はそれぐ省議を開き大藏省の削減案に對し復活要求額を決し今明日中にそれぐ大藏省に通達のはずなるが、各省の復活要求額は左の如くである（單位千圓）

遞信省	
計	五六〇
文部省	
繼續事業費中	三四〇
物件費中	九〇〇
經常部中	約二、〇〇〇
臨時部中	約二七〇
外務省	
東京府工場地均し費	約五〇〇
計	二、七七〇
	約四〇〇

中央の和平解決策

奉天派に調停通電を發せしめ蔣氏等下野し汪兆銘氏を迎ふ

南京首腦會議で決定

【南京十二日發電】確實なる支那側消息に依れば蔣介石氏は本日午前十一時飛行機で歸京後直に官邸で張靜江、胡漢民、戴天仇、孫科、陳果夫、譚延闓氏等の要人と緊急會議を開きその結果時局は平和手段で解決することに決した趣きである、これがため國民黨元老張群江氏は直ちに奉天に急行し、張學良氏と會見することゝなつた、中央政府と張學良氏との間には目下奉天に在る李石曾氏を介し時局和平解決に關し相當諒解を遂げた模樣で本日の緊急會議は左の和平解決手段を決定した
一、張學良、萬福麟、張靜江、湯玉麟四名の連名を以て蔣、閻、馮の互頭連に對し停戰勸告通電を發し、若し反對する者ある時は之に對し東三省は武力を以て調停する旨表示す
二、張靜江、李石曾、吳稚暉等の元老は同時に通電を發して時局は政治的手段に依つて解決するとを聲明し、右解決策として蔣介石、胡漢民は下野し汪兆銘に代ふて時局解決まで中央政府を組織せしめ、將來の時局拾收策は南京に全國々民會議を招集して解決することを宣布す

兩廣の妥協成立

南京側不利となる

【北平十二日發電】確實なる消息に依れば廣東の陳濟棠氏は李宗仁張發奎兩氏と妥協して廣西は黃紹雄氏に一任し雲南、貴州共に反蔣側に傾いて來た、然して湖南軍の三分の二は廣西軍に加擔し南京側に有利ならず廣西は殆ど共產軍に蹂躙され四川も大勢は反蔣に傾き今や完全に蔣氏の命令を奉ずるのは浙江、江蘇兩省及び安徽湖北の一部に過ぎず南京政府は武漢濟南の陷落が最後の總決算の口火となるものと注目されてゐる

馮氏妥協説は眉唾もの

【上海十二日發電】馮玉祥氏の妥協案につき軍事通は閻錫山氏の役割等は眉唾物で或は馮氏が蔣氏の肚を探らんとするものでないか又は離間策の宣傳であらうと見てゐる

韓氏國際關係を利用

【北平十二日發電】閻錫山、韓復榘兩氏の攻防兩首領が何れも濟南在留外人の保護絶對安全を言明してゐるので外國側もこれ以上手の下し樣なく總攻擊とならば青島に避難させるを得ず且つ韓復榘は複雜なる國際關係を利用して事態を自己に有利に導かんとしてゐるので一層始末惡く關係國側も手古摺つてゐる

若槻全權一行西湖遊覽

【上海十三日發電】若槻全權一行は蘇州行の豫定を變更し十三日朝南京政府の命令で仕立てられた特別列車で杭州に赴き西湖の名所を遊覽することゝなつたが、浙江省主席張靜江氏は特に南京より杭州に急行し一行のため午餐會を開くはず

財部海相に自重要望

安達内相より

【東京十三日發電】安達内相は十二日午後七時半濱口首相を官邸に訪問し午前中財部海相と會見したが條約案諮詢、新國防計畫樹立等の問題ある際自重を求めたるに海相も輕擧せざる旨語つたと報告する處あり會談約一時間にして辭去した、尚安達内相は麻布の自邸にて午後九時より小泉遞相と會見する處あつた、遞相は軍縮剩餘財源の振り當てを藏相及び海相に要求してゐるので内相はこの間の折衝に努めたるものと見らる

軍令部長事務引繼

【東京十三日發電】谷口新軍令部長は十三日午前八時東京着一旦水交社に入つた後午前十時軍令部に登廳加藤前部長と事務引繼を行つた、斯くて加藤大將は海軍部内一同の哀惜離別の情に感激しながら十時三十五分退廳した

人事

▲內田五郎氏（芝罘領事）六月十二日來連ヤマトホテル滯在六月十四日夜歸宗
▲山内豐中氏（侍從武官海軍大佐）十三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲神鞭常孝氏（滿鐵理事）同上
▲鳥井滿義氏（貿易商）十三日上り列車にて大阪へ
▲鈴木仙太郎氏（貴金屬商）同上
▲小村俊夫氏（東亞土木社員）同京城へ

うらる丸 十四日午前七時五十分大連港外着豫定

走馬燈

荻川

支那（其七）

故張作霖は、政治に民意の伺ふべきを知り、自己勢力伸張の爲なりしならんも、自治と云ふことによつて、巧に其民意を收攬し、これと共に自己勢力範圍内に流通する外國資金を、吾も民衆と交はつて、これを吸收することを忘れたかつた、彼の成敗に幾多の波瀾はあるが、其の成功は如上に基き、其の失敗は、素々それが自己本位なりしゆえに、成功と同時にそれを忘れしに因る、併し一時にせよ、東三省はこれで潑剌たる生氣を示した。

◇

そうして東三省當局の恐るゝ外國の勢力の侵入などが、之によつて何等の惡影響を、東四省に及して居らぬではないか、否々、寧ろ極めて良好なる結果を擧げ居るものに、時に鐵道なんかを數ふべしで、東四省に於ける鐵道敷設熱、亦其實現は支那全國に冠たり、之を斯うしたところに持つて來たりしは、初め外國資本をこゝへ吸收したからであつて、東四省現在の經濟的股賑も之から來て居れば、其亦股賑が東四省の財政を支へて居ることも事實である。

◇

東四省當局はこゝに目覺めよし、然るに動もすると彼等の政策は之と背反し、何んでも外國と云へば、之を排斥さへすれば、それが手柄の如く考へて居ること笑止千萬なり、尤も國產奬勵の見地に立つて、外貨輸入を防止するなぞは惡からう筈はないが、それと外資吸收などを混同して居るところに、まだく政治的識能の錬れてない點を認む、外資ばかりじやない、外智に於て然りで、鐘が鐵道に走つたから、此鐵道につき云はしめよ。

◇

東四省には、日本の鐵道がある、それに露支合辦の鐵道がある、それに色んな鐵道もあるが、之を人體に譬ふるなら血管、鐵道は地方の血管なる大切の役目を持ち、そこに國籍別をなす必要はない、あるだけのものが阻礙なく動くところに、愈々以て地方の繁榮が培はれる次第で、此點から觀ても、東四省當局の鐵道政策は甚だ拙い、加ふるに自己鐵道の經營如き、まだく地方を益すべきに、まだく收利を見るべきに、捨て之を顧みぬとは憐れ、そこに奚ぞ外智を採らざるか。

整理だとか何だとかこちらの方も忙がしい、一日も早く上京しなくてはならないので大急ぎで出發する、目的は總會に出席する爲で約一ヶ月の豫定で歸つて來る

大觀小觀

離合集散、それも一事、これも一事。

◇

去るものは潔く、留まるものは獸々と、滿鐵社業の達成に努むべきである。

◇

これで滿鐵の陣容も整つたといふもの。

◇

これからは、この陣容を以て、滿蒙の經濟的開發に驀進すべきのみである。

天氣豫報

十四日（南の風）曇時々晴
滿潮 午後 零時十分
　　 午前 五時二十分
干潮 午後 六時五十五分

我哈爾賓總領事館襲擊の不逞鮮人を釋放す
日本側の犯人引渡交渉を認めず　支那側へ嚴重抗議

【ハルビン特電十三日發】メーデーに我が領事館を蹂躙した不逞鮮人三十二名中支那官憲は我が領事よりの犯人引渡しを認めず二十四名を十日密かに釋放した、殘り八名も吉林へ送る模樣に我總領事館から嚴重抗議したが一味の内には支那學生と聯絡あること明かとなつた

大連タクシー業強制組合法
愈よ近く發令されん

オール大連タクシー業者が出願してゐる強制組合問題は其後關東廳保安課に於て審議中のところ强制組合設立の基礎となるべき自動車取締規則の改正、即ち「組合に加入せざれば營業を爲すことを得ず」の一項目を挿入するに決定し既に草案の完成を見るに至つたので、近く廳令を以つて强制組合法の發令を見ることゝなつた、從來の

任意組合

から强制組合に生れ變る大連タクシー界にはいろ〳〵の意味で相當大なる影響を及ぼすものと見られてゐるが、從來タクシー界紛糾の原因をなしてゐる料金問題が强制組合によつて完全に統一される譯で今後の大連タクシー界は賃金戰から車體戰及びサービス戰に移るものと見られてゐる

高松兩宮
佛領アヴィアン市を御見物

【スイス・モントルー十二日發電】高松宮同妃兩殿下には今朝ポートにて佛領のアヴィアン市を御見物あらせられ、歸途は自動車にて當地御宿舍パレース・ホテルに入らせられた、十三日發ベルリンに向はせらるゝ筈である

ヘレン殿下の皇后册立公表

【ブカレスト十二日發電】本日カロル殿下王位繼承權復活せるため前妃ヘレン殿下の皇后として册立の件が公表された、これはカロル陛下との御和解の前兆であると見られてゐる

山内侍從武官けふ離連歸京

畏きあたりの令旨を奉じ遣外艦隊乘組員の執務情況、健康狀態を視察慰問中であつた侍從武官山内豐中海軍大佐は十三日午前十時出帆のはるびん丸で仙石總裁、神田民政署長、永井市助役、市内各警察署長、永沼憲兵分隊長、佐藤運輸所長その他の見送りを受け歸京の途についたが語る

青島、芝罘方面の遣外艦隊慰問並びに軍狀視察に來たものだが本年は各隊頗る衞生狀況よく傷病兵の少なかつた事は非常にうれしく感じた、また執務狀態も頗るよく、こちらは平穩とはいへ支那の時局があんなのだから緊張し切つてゐるのを目の邊り見て結構な事と思つた、歸つたら早速奏上する積りである

滿鮮支教育視察團來連
「支那を正視せねば」と

十三日天津より入港の濟通丸にて文部省主催の鮮滿支那教育視察團が茨城縣視學友部幸之助氏を團長として一行十三名來連したが一行は朝鮮より奉天を經て北平、天津を視察して來連したもので、これより更に青島上海方面に赴き具さに支那事情を視察して長崎經由歸國するのであると一行は交々語る

天津北京に行つて眞實の古い匂ひの支那といふことを見て來ましたが、丁度時局の動きのやかましい時だけに支那らしい感興もわき頗る參考になつた、文部省では毎年この視察團を組織してゐるが、こちらの方へはもつと續々來なければ嘘だと思ふ、歸つたら出來る丈け宣傳するつもりだ、そして支那を正視する事が必要だと思ふ

防火宣傳を支那側に徹底的
小崗子署が公議會と協力

小崗子署では過般の露天市場及び支那饅頭商の火災による慘事に鑑み小崗子公議會董事十名に對し防火宣傳委員を囑託し、數日前より支那側に對する防火宣傳方法について打合せ中であつたがいよ〳〵十四日午前八時より公議會及び小崗子消防分署の後援を得て全管内一帶に亘つて防火宣傳を行ふと共に、全署員總動員のもとに「火災は如何に恐るべきか」との宣傳文を各戸に配達し、公議會員が路上において防火宣傳の演説をなす等徹底的に防火宣傳を行ふことゝなつた

帝國館と永善茶園
愈よ今夏、新築に取掛る
其他興行場は明春三月まで猶豫
近く改築命令を發令

關東廳有田保安課長は十二日原田大連署保安主任を招致し大連市内の活動常設館及び劇場の改築問題に就き種々事情を聽取し、何事か内命を下した模樣であるが、常設館の改築問題はグレート大連の

市街美

からも市民の保安衞生の點から見ても當面の緊急問題とされ、關東廳保安課では既に當業者の自發的改築を慫慂して來たが、何分經濟問題の伴ふ難事業だけに容易にその期に達しなかつたところ、各地に起る頻々たる火災事件に刺戟され、今春來當局に於ても命令的改築の肚を定めその

發令期

は非常に注目されてゐた、その結果有田課長の原田大連署保安主任招致となつたものであるが、當日の兩氏會見内容を窺ふに、關東廳ではさきに常設館及び劇場經營主を招致し口頭を以つて改築命令を下した模樣で、帝國館と永善茶園とは本年八月頃から新築に着手するに決定、それぞれ新築認可の手續き中にて、年末興行に間に合すべく準備を進めてゐる、而して歌舞伎座、大連劇場、浪速館、演藝館、寶館、遊樂館は未だ方針未確定の模樣であるが、これ等のものに對する當局の

意嚮は

新築或は改築する には資金關係其他のため相當準備期間を要するので明年三月の解氷期まで猶豫を與へ、それまでには方針確定せざるものに對しては經營停止の斷然たる處分に出づる方針の下に近く正式文書を以て發令するものと見られてゐる、これを以て多年懸案とされてゐた改築問題は漸く解決を見、泣いても笑つても明年三月を過ぎれば新築或は改築に着手せねばならなくなつた譯で

全市の

常設館及び劇場改築の曉は市街美を一新するものと期待されてゐる

明治の元勳を連ねた珍重な宮中署名帳燒却

宮内省では明治大帝御晩年明治四十年頃より永らく宮中に藏せられてゐた内外の重臣名士等が宮中の賀宴又は御不例等の際、參内の度毎に署名した貴重なる署名帳が五千六百餘部の多きに達したのでこれが所置について協議の結果、世間に出るのを慮り燒却することゝなり十一日から一週間宮内省燒却場で焚き始めた、この署名帳の中には故伊藤、桂兩公を始め明治の元勳等が署名した珍重なものが多い。

果樹取締規則の徹底に努む

關東州内で内地、朝鮮並びに州外から果樹、櫻、桑等の苗木を輸入する時は關東州果樹取締規則に基き所轄民政署の檢査を必要とするが、この趣旨が充分に徹底してゐないため檢査を受けずそのまゝ移植してゐる向もあつた、大連民政署では過般來これが調査中であつたが、管内で十四、五名の未檢査移植者のある事實を發見、十三日これ等違反者を呼び出し趣旨の徹底を期するため指示するところあり、なほ同時に未檢査苗木の檢査を開始した

駐屯軍傷病兵
武昌丸で内地へ

駐屯軍五月中の傷病兵四十二名は十三日午前十時出帆の武昌丸にて西村一等軍醫指揮の下に内地に送還された、なほ傷病兵の病別は左の如くである、胸膜炎三十名、肺尖炎七名、結核三名

問題の猛虎やつと檻に
警官憲兵も應援し未曾有の騷ぎ

【東京十三日發電】京城より積出された猛虎を閉ぢ込めた下關發列車は汐止驛開設以來の大騷ぎ裡に十三日午前零時到着した、これより先き荷受人淺草千束町有武島獸店から持つて來た頑丈な鐵檻を用意して店員立會ひ、谷口驛長以下驛員十五名とそれに愛宕署から大和田警部以下二十五名出張、五挺の拳銃を擬しほかに憲兵隊より憲兵二名應援異常の雰圍氣裡に貨車の到着を待ち受けた、驛前は物見高い都人が黒山のやうにたかりこの馬鹿騷ぎの裡に猛虎を乘せた貨車は豫定の通り到着、驛員總掛でこの貨車だけを引離し午前零時十分には五番線に押し込んだ、貨車の中からは虎の唸り聲が夜陰に物凄く響くなど物恐ろしい光景を呈したが愛宕署員等が拳銃を擬しつけ嚴重警戒裡に一時半事なく檻に納め一同ホット安堵の胸を撫でおろした

小倉材木町全燒
損害數十萬圓

【小倉十三日發電】十三日午前二時十五分小倉市大正町一丁目材木街より發火し、市内消防組は勿論門司、戸畑、陸軍部隊その他の消防隊かけつけ消火に努めたが水道斷水時刻前とて水壓低く水利の便惡しきため、家屋五十個を全燒し五時鎭火したが右のため材木街は全滅した、原因不明で損害は數十萬圓の見込み

書記、書記補合格者發表
遞信局學術試驗

過般執行した遞信局の遞信書記、書記補選拔試驗の學術試驗合格者は左の通り書記三名、書記補十七名で、尚七月中旬に實務試驗を施行される由

▲書記　西岡光男、西岡肇、東谷男▲書記補　奥平正行、藤本喜由、柿並恭一、武田利一、宮本高行、森永種雄、森本滿七、田中九州男、中崎靜衞、矢崎鐘雄、潮崎貞輔、由岸治、示野友史、石神清次郎、森行藏、小松清、峰茂清

露支紛爭で重傷を負ひ慰藉料も受けられぬ女
事務官が己が醜狀を隱蔽せんと損害要求の訴狀を握り潰し

【ハルビン特電十三日發】昨年露支紛爭の際滿洲里にて露國側の犧牲となつた邦人に對し露國は自發的に損害賠償金を交附したが端なくも暗に咲く女なるが故に哀れ大塚ヨシエは事實重傷を受けたにも拘らず慰藉料の選に漏れた事件がある、原因は下村事務官が自己の醜を隱蔽せんがためヨシエに百圓を與へ損害要求の訴狀を握り潰したためであり、醜き女性ヨシエはこれが爲め數百圓の借金をも返濟することの出來ぬ身となつて、今は熊本に歸國してゐるが、在留民は當局の措置を憤慨し事件は外務省に移らんとし、十二日重松副領事は眞相調査のため滿洲里に急行した

南洋訪問飛行の海軍機出發

【横須賀十二日發電】南洋諸島訪問海軍大飛行の第二隊峰松大尉指揮のヨ五十六、五十九號兩飛行艇は十二日午前六時三十分横須賀航空隊を出發、零時三十五分小笠原島二見港に無事到着した、所要時間六時間五分で新レコードである

深刻な就職難

【東京十二日發電】社會局中央職業紹介事務局調査による五月中の全國職業紹介成績は前月に比し求人求職ともに増加し幾分活潑となつてゐるが、就職率は一パーセント低下し依然就職難の深刻さを示してゐる

知多木綿工場二週間休業

【名古屋十二日發電】知多木綿の産地愛知縣知多郡知多木綿同業組合は不況對策として來る十五日より二週間休業を決議し、加盟三百五十二工場は一齊に休業之に從事する男女職工約八千名は一時的とはいへ失業することゝなつた

汽船衝突し全員溺死
シチュエイト沖で濃霧のため

【ボストン十二日發電】今朝當地シチュエイト沖にて濃霧のため近海航路船フェアフォック號と給油船ビシミス號と衝突し、ビ號は沈沒し船員は全部溺死し、フ號は火災を起し死傷者四十八名を出したが、生存者は汽船クロスター號に救助され當地に入港した

大連港の特産輸出
高粱以外は增加

昭和四年十月より本年五月に至る最近八ケ月間の大連港輸出特産物中大豆、豆粕、豆油、高粱の四品に就てみるに高粱の減少を除きては三品共に夫々增加を來して居る近來世界的不景氣に伴ふ買氣薄に輸出狀況も極めて閑散なるに鑑みて一見奇異に感ぜらるも右は昨年十月より十二月に至る三ケ月間に於て露支關係による南下貨物の增大と相俟つて必然的に異常の增加を示してゐた結果に外ならぬものであつて此の八ケ月間に於ける輸出數量を檢ずれば左表の如くで前年同期に比し大豆は十四萬四千二百六十瓲、豆粕は十五萬二千九百三十六瓲、豆油は一萬三千九百四十三瓲と何れも增加を示し、高粱のみ二萬八千五百七十一瓲の減少を來して居る（單位瓲）

	本年度八ケ月	前年同期
大豆	一、三三〇、[illegible]	一、一[illegible]
豆粕	[illegible]	[illegible]
豆油	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]

郵便展覽出陳依賴

大連郵便局では新舍屋移轉の記念展覽會を來る廿一、廿二、廿三の三日間に亘り新舍屋において行ふが、十一日郵便局より海務局あて船舶に關する參考資料の出展を希望して來た、展覽會は郵便の部、電信の部、電話の部、船舶の部、電氣の部の六部内に分けて展覽に供するものであると

進行列車、荷馬車を跳ね飛ばす

十二日午前三時半ごろ南關嶺驛屯駐殿金が二頭馬車を驅つて周水子驛より北方五十米突の踏切を横斷せんとした刹那、上り貨物列車第二五三號（機關士中本要一）が進行し來り、アワヤといふ間に馬車に衝突し、馬二頭ははね飛ばされて無殘の即死を遂げたが馬車夫は無事であつた、損害約二百五十圓

自動車電車と衝突

十三日午前十一時半、市内東公園町協和會館前において大タク運轉手一松平（二〇）の操縱する自動車が電車路を横切らんとし、折柄寺兒溝に向つて進行中の電車四一〇號に衝突、自動車運轉手王多永（三二）は衝突、自動車はパンダーを小破し、乘客の市内霧町瀧田スミ（三九）は左肩に微傷を負つた

池に陷ちて溺死

沙河口管内西山會石家屯王家溝四番地馬方警長女金玉子（八歳）は十二日午後四時十分ごろ自宅附近水溜りにて實弟と共に遊戲中誤つて水深約三尺の池に落ち込み溺死した

埠頭に溺死體漂着

十三日午前埠頭東側野櫃所海岸に支那人男廿五六歳の溺死體漂着、水上署員の檢死があつたが死後一週間氏名不詳

大連一中運動會

大連第一中學校では來る廿一日午前八時から同校運動場にて第十三回陸上運動會を擧行すると

養蠶事業視察

養蠶會大連支部では希望者二十名を募集し十六日午前七時大連驛出發、旅順管内營城子および旅順市附近の養蠶事業視察を行ふと

大連園藝會例會

大連園藝會六月例會は岑光鞍現地視察をなし野生植物を鑑賞することゝなつたが一行は十五日午前八時までに黑ケ浦海水浴場脱衣場に參集されたいと終了は正午の豫定説明者は前田禮明、小林一中、泊二中三教諭および安東盛氏

台所メモ
公設市場物價

品目			
きうり	一本	〇二五	〇一〇
かぼちや	百匁	〇七〇	〇四〇
ごぼう	一把	一六〇	〇九〇
れんこん	百匁	一〇〇	〇六〇
せうが	同	一〇〇	〇六〇
じやが芋	同	〇四〇	〇三〇
さと芋	同	〇六〇	〇四〇
かぶら菜	一把	〇二〇	〇〇八
ほうれん草	同	〇〇八	〇〇五
みつば	同	〇一〇	〇〇八
玉ねぎ	百匁	〇二五	〇二〇
ねぎ	同	〇二〇	〇一〇
大根	一把	〇三〇	〇二〇
するくわ	百匁	一二〇	〇八〇
ばなな	同	〇八〇	〇五〇

櫻川六平事　石塚濱吉儀
豫て病氣の處養生不相叶十三日午後十一時三十分死去仕候間生前辱知諸氏に御通知申上候
追而十四日午後二時　入聖寺に於て葬儀相營申候
六月十三日

女　光子
妻　みどり
親戚　石塚善六
　　伊東忠次郎
　　池内男吉
代　重松百太郎
三業組合總代　白川諄
友人總代　消防組員一同
　　　幇間連中一同

艶色生膽祕譚 (141)

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

似顔繪(七)

「さ、火事は消えやした、安心してゆつくりお寢みなさいやし」

いましがたまで二階の屋根に上つてゐた肇の長太、上野のしかも五重塔の怪火ときいて胸中おだやかならず思案をつゞけてゐたが、パッタリ火が消えると、物干へとびおり、窓からヒヨイと部屋をのぞきこんで聲をかけた。

「有難う存じます、一時はえらい火の粉故どうなることかと存じました」

「は、は、は、上野の森からこの菊屋町、なんぼ飛火がつよくとも燒けてくるにやア、夜が明けまさア、それに風はなし……」

妙香は弟の欣彌ともども前夜の約束通り長太を慕つてその二階を假寓に求めることゝなつたのである。

「粗忽火でもござりませうかそれとも——」

「それなんで——」

長太は首をひねつた。

「若い者がいきやしたから、戻つて來たら判りませうが、何しろ乞食どもがよく巣にしてゐやすんで」

「ほう……」

處へ下の格子扉あらつぽく開け放して。

「親分、いま歸りやした」

「おゝ、樅三か！」

「た、大變で……」

「親分だつて——」

「俺ア火事が氣になるから、一寸失禮して屋根へあがつてゐたのよ」

「あつしだつてその火事の大變なんで」

「放火か、それとも乞食の粗忽火か」

「うんにや大違えで、とつてもねえ奴等でさア、血卍に違えねえ」

「な、なんだと！」

長太は血相變へる。

妙香は欣彌ともども。

「ふッ、また始めやアがつた」

妙香も欣彌も齒か一日の中に樅三の慌てざまを見知つたものか、思はずクスリと笑つた。

と、樅三は遠慮もなく二階へ驅けあがつて來た。

「親分……」

「莫迦野郎、お孃様がおやすみになる處ぢやアねえか、ちつたアてめえ禮儀をわきまへるもんだ」

「血卍」

ときいてハツとした。

「そ、それに親分、こ、これだ、これを見ておくんなさい」

樅三は懐ふかく手をつつこむと二枚ばかり紙片をつかみだした。

一枚は燒けこげてゐて定かには見わけかねたものの殘る一枚は似顔繪が描かれてある。

「なんだこりやア！」

「こ、こいつが五重塔が燒け崩れやしてえ時にヒラヒラッとあつしの前へ舞ひおちたんで、ヒヨイと見るとこ、これでさア、この字を見ておくんなさい」

「なんだと？」

いきなりひつたくつた長太。

「うむ、戀しき血卍の左近様……」

長太の聲にギョッとした妙香。欣彌ともどもサッと顔色は蒼白み、のけぞらんばかりの驚き——

が、行燈は小暗く、しかも長太はその似顔繪にグイとひきつけられてゐる二人の様子には更に氣づく様子もなかつた。

「うーむ、紅筆描きだな——おかしいぢやアねえか、こいつは女文字でよ、しかも戀しき血卍の左近様だア！」

「そ、それがでさア、血卍の仕業か、それとも例のお化——戀の叶はぬ意趣晴しか何かで……」

「ふうむ、戀しき血卍の左近様」

長太はくりかへしくりかへしつゝ首をひねつてゐる。

妙香は總身ふるはせ、顔から油汗をタラタラ滴らせてゐる。

欣彌は双のこぶしをかたく握りしめ耐へひ耐へてゐたものゝ、眼には熱涙が湧いてやまぬ、この態長太に氣づかれまいと、二人は言葉にこそ出さなかつたが、齒をガツチリとかみ合せで眼顔でそれとしらせあつてゐるのだつた。

漫談と音樂の夕

出演者
- 探偵小說家 甲賀三郎氏
- テノール歌手 黒田進氏
- ソプラノ歌手 關種子孃
- 伴奏 君島愛子孃

會期 六月十四日午後七時半
會場 協和會館に於て
會費 一般一圓五十錢、讀者一圓

主催 滿洲日報社
後援 滿鐵社員倶樂部

漫談と音樂の夕
當夜のプログラム決る
十四日協和會館で

本社主催大連滿鐵社員倶樂部後援の「漫談と音樂の夕べ」は愈々十四日午後七時半から協和會館に於て開催するが、プログラムは左の如く探偵小說家甲賀三郎氏の探偵趣味の漫談をはじめソプラノの關種子孃テノールの黒田進氏の獨唱で殊に歌劇「墮天女」の天女に主役した關種子孃の「墮天女」中のアリアは大いに期待されてゐる

(一)漫談
探偵趣味の漫談　甲賀三郎

(二)テノール獨唱　黒田進
ラ、パルチダ　アルバレス
ヴオルガの舟曳唄(ロシア民謠)

(三)ソプラノ獨唱　關種子
ソルヴエージの唄(ペールギント中)　グリーヒ
遠きサンタルチア(ナポリ民謠)　マリオ
「墜ちたる天女」中のアリア　山田耕作

(四)テノール獨唱　黒田進
戰後　山田耕作
野薔薇　同
とんぼかへり　同
鳥の番雀の番　同
—休憩—

(五)テノール獨唱　黒田進
ふるさとと　齋藤佳三
神田祭　弘田龍太郎
坂はてるてる　高木東六

(六)コロラチュアソプラノ獨唱　關種子
土投げ唄　藤井清水
夜鶯(ロシヤ民謠)　アラビエフ曲オルゲニ編

獨唱の歌詞(上)

ソルヴエージの唄　門馬直衛譯

一、冬は去りて　春は逝き　春はゆき　夏も過ぎ行き　年暮るゝ　年暮るゝ　君はかへらむ　いとし君　いとし君　誓ひ守り　我は待つを　我は待つを　あ——

二、惠あれよ君　光仰ぐとき　幸ひあれよ　きみが身に祈るとき　此處に我は君待つも　君待つも　黄路にまさば、われも行かむ　われも行かむ　あ——

遠きサンタルチヤ　桃井京二

遠い船出の心も暗く　侘びて歌ふナポリの歌　處育ち別れは辛い　月が浪間に搖れて港ゃ朧　サルタルチヤ別れて行く　いほ畳の浪に幸こもるとも　沖へかゝればあはれ　ナポリまで見えね

名殘へだてゝ遥かにけぶる　月のなぎさは美はしや　歌も今宵は涙でくもる　心ふるさと遠くいでゆく船路　サンタルチヤ纜解き　何處の海に身をへだてゝも　夢は夜毎戀しナポリ迄逝ふ　サンタルチヤさらば　さらばさらば——

「墮ちたる天女」　坪内逍遙作

——第七の天女最終のアリア——
あゝ悲し！　昨日迄は千里の外見たりし夢の聴さへ見る能はず　行住如意の羽翼もなし　地に生りし身ならねば　人に劣る天の兒　あはれ我れ無きにひとしこゝろも身も世人のまゝ　あら悲し！　あさましや……

戰後　小林愛雄詩

さむしほのカラフト　コルサコフ砲火に　さびたりや焼跡　蛋もなき礒邊に　たほまもる哀れや　痩せ犬の海を見て——

野薔薇　三木露風詩

野ばら野ばら蝦夷地の野ばら　人こそ知らねあふれ咲く　色も美はし野のこばら　蝦夷地の野ばら　野ばら野ばらかしこき野ばら　神の御旨をあやまたぬ　荒野の花に知る教へ　かしこき野ばら

とんぼがへり　三木露風詩

すかんぽは酸いナ　つぼなの莖甘いナ　小雉子小雉子を追ひかけろ　調練場の原で　とんぼがへつてはねろ(繰返し)

音樂と漫談の夕
讀者優待割引券
六月十四日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓
主催　滿洲日報社

音樂と漫談の夕
讀者優待割引券
六月十四日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓
主催　滿洲日報社

演藝界
大賑ひ
藝妓舞踊會と篠田實の來演

●發行所滿洲文化研究會主催の各檢番合同の藝妓舞踊大會は愈々今十三日より二日間大連劇場に於て毎夜六時より華々しく開演されるが出演順は籤引の結果、兩夜とも大檢の「貝津久志」に次いで三田尻の「[illegible]」引拔き「入潮の里」それから西檢の「五人一座花の盃」で最後が大檢幇間連中の「壽獅子舞」の順序に決定した、また浪曲界の花形篠田實一行は十四日入港のうらる丸で乘込み同夜より歌舞伎座に於いて初日を出し兩劇場とも蓋をあけ更に十四日夜は本社主催の「漫談と音樂の夕」が協和會館に於て開催されるので演藝界では近來珍しい賑はひを呈する

ゆふべ來滿中の探偵小說家甲賀三郎氏を迎へて社員倶樂部で座談會▲出席者のうちには新青年の鑑賞探偵小說の首席に當選した大庭武年君も居て探偵小說を中心にした話に花が咲いた▲あす來演する篠田實の宣傳に近頃珍しい六十餘名の町廻りが日本囃子で賑やかに前景氣を煽つてゐる▲來る十八日から大劇で愈々遠山滿と小原小春一座が蓋をあけるが▲久振りの來演と鑑劇記念興行でこれまた前景氣を頼りに煽り立てゝゐる

ラヂオ

大連 JQAK
六月十四日午後七時卅分
- ▲童話「隠れたる愛」山田健二
- ▲ハーモニカ (一)ヴオルガの舟唄—シヤリアピン編曲(二)子守唄—フオール作(三)ラモナ—ウエーン作(四)カルメン—ビゼー作、佐藤秀郎
- ▲淸元「十六夜淸心」唄荻田、三味線淸元延榮龍、臺詞田代蕃二
- ▲映畫說明「父」解說松葉詩朗、伴奏帝國館管絃部
- ▲支那唱「朱賢臣」唱王桂馨、師付王振泉
- ▲料理獻立
- ▲天氣豫報
- ▲ラヂオ體操

東京 JOAK
六月十四日午後六時廿五分
(講演の夕)
- ▲趣味の歴史挿話　白井京二
- ▲源平の紋と葵の紋　文學博士沼田頼助
- ▲劍道各流　元山蘇州

貝殼一平大會と 日本橋の週間
階下 三十錢券 御一名一枚限
●切り拔き御利用下さい● ——十一日より十七日迄——
‥大日活‥

社說　滿鐵の陣容整ふ　仙石總裁抱負の閃めき

仙石總裁、就任以來の懸案であつたところの滿鐵職制改正に伴ふ人事異動は愈よ十四日付を以て發表された。これにて佛を作つて魂を入れた譯、すなはち滿鐵の新陣容が整つた次第である。仙石總裁は、この新陣容を以て滿鐵の社業を遂行すべく勇往邁進することであらうと思ふ。今次の職制改正は組織の合理化を眼目とし思ひ切つて十二部制に改め、これに配する人事異動においては高級者に對し約二割の斧鉞を加へ清新の氣分を盛るべく苦心の痕が讀まるゝのである。かくて新陣を代謝せしめ全社員の緊張を期したものといふことが出來やう。

◇

併しながら職制は佛である。それに魂を入れねば眞の面目を發揮することは出來ぬ。かくて先日發表されたる十二部制の職制に對し十四日付を以て人事の配置を行つたものである。人事の異動に關しては、去るものは潔く留るものは非常なる覺悟を以て勇往邁進、社業に精進することが特殊使命を有する滿鐵社員の任務であらうと思ふ。十有餘年、あるものは二十年に亘り滿鐵社業のため努力し來り今日に至つて潔く職を去るものがあるのである。それら人々に對しわれらは深甚の敬意を表せんとするものである。これらの人々は、この滿蒙を開發し以て今日の如きに至らしめたる功勞者であらねばならぬ。よし今日、これら功勞者が滿鐵を去るにしても、その功勞に對し特に敬意を表すると共に今後においても滿蒙の開發のため折角、努力せられんことを希望せざるを得ない。

◇

新進氣鋭の人材として重要なる職に榮轉したるものは、この際、特に大なる覺悟を以て社業の遂行に努力すべきである。滿鐵の如き龐大なる組織體にありては、職制の整備といふことが當然に要求されねばならぬ。縱橫上下に圓滑なる統制連絡が可能でなければ社業の充分なる遂行は出來ぬのである。併しながら如何に組織が完全に構成されてゐても、それを運用するところの役者が揃はねば愉快なる芝居を打つことは出來ぬ。こゝにおいて職制組織と人事行政とは密接不離の關係にあり、この兩者は恰も車の兩輪ともいふべく完全に揃つて初めて完全なる能率の增進を見ることが出來るのである。されば滿鐵が職制を改正し然る後に人事の配置に苦心したといふことは當然の順序といふべきである。

◇

併しながら職制の改正に伴ふ人事の異動は、仙石總裁のいはるゝ如く庖丁を研いだだけであつて、どんな料理が出來るかは、これからの問題であらねばならぬ。吾人は仙石總裁の料理の腕を拜見せんとするものである。いはば今次の人事異動によつて御膳立てされた新陣容により如何なる料理が出來るか、その手並のほどを拜見せねばならぬといふのである。わが滿鐵の社業は所謂國家的使命を以て滿蒙の經濟的、文化的開發に努力せんとするものであつて、單なる一營利會社を以て居ることは出來ぬのである。仙石總裁も、今日は總裁一人にて仕事のやれる時代にあらず全社員が協力一致して社業の遂行に一生懸命にならねばならぬのである。されば新進氣鋭の全社員は老總裁を扶翼し緊張充實の氣分意氣を以て社業の遂行に努力せねばならぬのである。恐らくこの實現が今次の職制改正による人事の配置によつて遂行されねばならぬことであらうと思ふ。そこに新陣容の整つた意義があるのではあるまいか。要するに吾人は滿鐵、今次の職制改正に伴ふ人事の異動は仙石總裁の抱負の一端を閃めかしたものと認め、その新陣容による事實上の料理を如何にするか、これからその料理の手並を拜見せんとするものである。

武漢方面を放棄し隴海線で決戰か　毛軍蕪湖より引返す

【南京十二日發電】一昨日南京發漢口へ向つた毛炳文軍は本日午後七時迄に全部蕪湖より南京に引返した中央は萬一の場合には武漢を拋棄し大軍を隴海線に增派し北方と最後の一戰をなす決心をなしたものと解される

武漢軍戰はず後退

【漢口十二日發電】湖南から湖北に侵入した廣西軍のその後の所在不明で武漢行營は頻りに偵察に努めると共に第一防禦線たる咸寧の第十三師第三十一旅は十一日全部後退した斯く武漢軍はずりずり廣西軍に壓せられ戰はずして退却を續け寢返り軍の增加と共に武漢の形勢は愈々怪しくなつた

蔣氏下野こ善後對策　山西派の主張

【北平十三日發電】山西派機關紙は蔣氏が十日附全戰線に總退却を命じたと報道し蔣介石氏の今後は下野の一途あるのみと確信し蔣氏下野後の對策として

一、蔣の地盤及び軍隊、兵器を極度に制限す
二、上海を蔣の支配下に置かぬ
三、國都は北京に還元し國民會議を召集し憲法政治實施を根本方針とする

と主張してゐる

首都北京に奪還　南京政府を叩き潰し　朱外交處長の聲明

【北平十三日發電】陸海空軍總司令部外交處長朱鶴翔氏は本日外國記者團に左の如き强氣な聲明書を發表した

最近行はれる和平問題は國民政府内の蔣介石を刎ね除け自己の位置を保たんとするものゝ陰謀に過ぎぬ閻、馮は南京政府の腐敗を熟知してゐるから蔣一個を除いて南京政府の名義を殘すやうな事はせぬ現政府を叩き潰し國都を北京に歸還せしむる必要がある

和平解決の空氣濃厚となる　南京政府の苦肉策

【上海特電十三日發】蔣介石氏が南京に歸來したとの說に就ては目下當地にては眞僞不明にして、これを確めることは出來ないが近來中央軍側の各地戰線における

形勢不利 なるところより南京政府並びに中央軍側の内部における蔣介石氏下野及び南京政府改造等を條件とする和平解決運動が漸く具體化し表面化してきた觀がある、既に和平通電を發して失敗した張靜江氏は昨日杭州より南京へ赴き政府部内の一部巨頭等との間に和平解決につき奔走してゐる模樣であるが傳へられるところによると、譚延闓、孫科氏等の間には豫て蔣氏の下野及びその善後問題につき計畫されてゐた事實もあり、これら一部巨頭との間には時局を和平的に解決するために蔣氏を

下野せし むることには略意見一致し、譚孫兩氏は蔣氏下野後の政府主席として張氏を極力推してゐるので、張氏は目下奉天にある李石曾氏に對し、これに對する奉天側の意向を徵すべく依賴し其の回答あり次第、最後的決定をなすことに、これら巨頭の間に諒解成立したと、又本日漢口より當地支那側有力方面に達した消息によれば最近何應欽氏と蔣介石氏との間に中央軍失敗に關する善後問題につき電報にて

密議され た結果蔣氏はある時機において下野すること、中央黨及び國民政府は改造せざることを條件に時局を和平的に解決すべく、反蔣各軍との妥協通電を發し、以て何應欽氏が繼承して軍隊の保存を圖るべき計畫をたてたとかくて和平解決のためには蔣氏の下野を前提とする機運が南京側部内に於ても漸く濃厚となつてきたもの如く、近き將來、時局に重大變化を見るであらうといふことが各方面の一致した觀測となつてきた

馮氏妥協提議說　地盤提供を條件に

【南京十二日發電】國民政府側非公式發表によれば馮玉祥氏は十一日蔣介石氏に對し妥協を提議し來つたがその內容は左の如くである

一、馮の直轄軍隊を十五個師とすること
二、河北、河南及び山西を馮の地盤とすること
三、馮に對し即時三百萬元を支拂ふこと
四、現金の收受終了後馮は直ちに閻錫山を討伐すること

濟南邦人保護要求　閻錫山氏に對し

【北平十三日發電】日本公使館は十二日附公文を以て閻錫山氏に次ぎの如き正式要求を提出回答を求めた

萬一濟南の攻防に依り交戰を免れざる時は次の二條件を提出せざるを得ず、閻總司令の回答を求む

一、濟南商埠地を戰爭地域外に置く事
二、貴國側双方の濟南引繼期間內南軍は留守軍をして治安維持に當らしめ北軍が引繼ぎたる時は平穩な態度を以て治安維持を擔任する事

朱外交處長は右を十三日正午太原の閻錫山氏に轉電した

奉派兩氏急遽赴寧

【奉天特電十三日發】胡若愚、陶尚銘兩氏は十三日二十二時四十分發列車にて大連に向つたが、胡氏は十四日出帆の奉天丸にて南京に向ふ筈であると

駐日米大使フォーブス氏

【東京十三日發電】臨時駐日米國大使キャッスル氏は過般離任歸國したが後任大使としてアメリカ國務省よりわが外務省に對しキャメロン、フォーブス氏を推してアグレマンを要求し來り外務省は本日承認の回答を發した

軍令部內の改造を斷行せん　谷口新部長の立場上

【東京十三日發電】十三日着任した谷口新軍令部長は加藤前部長に對し協定兵力量を以て完全な國防計畫を樹立せざるを得ぬ立場にあるが加藤前部長の下に協定兵力量では國防の安固を期し得ぬとの結論に達した現在の軍令部各班長始め數十名の參謀が今度新軍令部長を迎へ新らしき統帥指揮の下に立つことゝなつた、現在尙國防の完全を期し難いとの主張を持する時は谷口新部長は新國防計畫の立前上斷然これ等部內の更迭を行ふことゝなる

專門家の反對は條約公平のため　米國務長官の放送

【ワシントン十二日發電】國務長官スチムソン氏は十二日午後九時ロンドン軍縮條約に關し左の如くラヂオ放送をなした

アメリカ海軍將星連はロンドン條約に依り日米戰の起つた場合アメリカに勝算なしと憤慨して居り日本海軍將星連は日本の國防は危いと心配してゐる斯くの如く各國海軍專門家がこれに反對してゐるのは即ち同條約が如何に公平なるかを示すものと思ふ

植民地の司法權司法省に移さん　來議會に改正案提出

【東京十三日發電】司法省では過般の司法官會議中各植民地司法官と懇談を重ねた結果茲に司法省多年の要望であつた各植民地司法部即ち臺灣朝鮮關東州の裁判所及び檢事局等を統一し全部司法省の監督下に移管せんとする裁判所構成法の一部改正を來議會に提出する事となつた、從來之れ等はその長官とか總督の監督の下にあり全然司法省に關係がなかつたものであるが司法省は今後この問題實現に向つて主力を注ぐ事となつた

陸軍の定期異動　きのふ大體決定す

【東京十三日發電】來月末の陸軍定期大異動は十二日阿部次官と金谷參謀總長の會見で大體決定したが主なるもの左の如し

造兵廠火工廠長　少將　勝野正魚
兵器局長少將　岸本綾夫
工兵監少將　若山善太郎
第五師團司令部附　少將　森連
下志津飛行學校長　少將　小澤寅吉
所澤飛行學校長　少將　荒蒔義勝
第十四師團司令部附　少將　西田恒夫
步兵第二十二旅團長　少將　松井七夫
第十二師團司令部附　少將　原田貞吉
第三師團司令部附　少將　林彥一
步兵第九旅團長　少將　久木村十郎次
士官學校長少將　坂本政右衛門
近衛步兵第二旅團長　少將　藤田鴻輔
第十六留守師團司令官　少將　佐藤子之助
參謀本部總務部長　少將　二宮治重
軍務局長少將　杉山元
任陸軍中將（各通）
關東軍經理部長　主計監　藤田順
任主計總監
憲兵司令部總務部長　憲兵大佐　出口永吉
步兵第十八聯隊長　步兵大佐　澁江多藏
步兵第二聯隊長　步兵大佐　長岡正雄
第一師團司令部附　步兵大佐　服部保
新聞班長　步兵大佐　櫻井忠溫
步兵第二十四聯隊長　步兵大佐　鐵山巖
第十六師團司令部附　步兵大佐　福島格次
步兵第三十二聯隊長　步兵大佐　堀之內直
參謀本部課長　步兵大佐　今井淸
陸軍省軍事課長　步兵大佐　梅津美治郎
步兵第九聯隊長　步兵大佐　名越時中
步兵學校研究部主事　步兵大佐　下元熊彌
步兵第四十二聯隊長　步兵大佐　嘉村達次郎
步兵第三十三聯隊長　步兵大佐　村田凱一
騎兵學校教育部長　騎兵大佐　飯島昌藏
野砲第十聯隊長　砲兵大佐　和田秀來
第十一師團參謀長　砲兵大佐　鄉竹三
壹岐要塞司令官　砲兵大佐　荻原勝千代
砲兵監部員砲兵　砲兵大佐　伊東政喜
野戰砲兵學校教導聯隊長　砲兵大佐　山田卯三男
下關重砲兵聯隊長　砲兵大佐　中根正常
第十六師團兵器部長　砲兵大佐　鈴木松之助
野砲兵第一聯隊長　砲兵大佐　西鄉嘉彥
參謀本部課　砲兵大佐　森田宣
科學研究所員　砲兵大佐　高橋佐太郎
造兵廠作業部長　砲兵大佐　長谷川鐵次郎
技術本部附　工兵大佐　高木尙右
航空本部補給部各務ヶ原支部長、航空大佐　堀池末雄
輜重兵第三大隊長　輜重兵大佐　大村幹太郎
任陸軍少將（各通）
近衛師團經理部長　一等主計正　白井八百藏
第三師團經理部長　一等主計正　平手勘次郎
任陸軍主計監（各通）
第十師團軍醫部長　一等軍醫正　大野久次郎
任軍醫監

若槻全權の旅程　十八日歸京直に參內

【東京十三日發電】若槻全權は來る十七日未明神戶入港同日午後八時三十八分同地發十八日午前九時東京驛着直ちに宮中に參內天機奉伺の後一旦歸邸それより首相官邸にて濱口首相と會見復命するがその際各閣僚も列席ロンドン會議の經過を聽取する更に十九日若槻全權は正式に宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付けられロンドン會議の經過につき委曲伏奏する

上海滯在の若槻全權　織田參與官會見

【上海十二日發電】若槻全權一行は北野丸下船後東方文化事業同文書院を視察した後總領事官邸の午餐の宴に列し午後三時から邦人小學校、女學校、工場を視察し夜は日本人俱樂部の官民合同歡迎宴に臨むだ、若槻全權はその間に在つて政府の特派した織田參與官、下村大佐等とも會見した

陸軍省も節約講究

【東京十三日發電】陸軍省の節約查定額に對する態度は頗る强硬で大藏案は殆ど承認し難いとしてゐるが財源難に當面して陸軍省もはめて節約を考究することゝなつたから陸軍側の決定は多少の遲延たやみ難く且つ節約額も查定額千一五百萬圓の半額以下となる見込みである

農林分課規程改正

【東京十三日發電】肥料配給施設改善並びに山林業政統一の爲め十三日附を以て左の如く農林省の分課規程が改正された

△農務局　肥料課新設
△山林局　林務、林業、公私林三課を林政、林務、監理、行務四課に改む

滿鐵の整理社員數　八百五十名に上る　十四日附社報で發表

滿鐵では仙石總裁の大英斷を以つて高級社員の整理を行ひ全社員に有爲の新進人物を拔擢し全社員に「吾等の總裁」として非常な感激を與へたがその全整理數は

△高級社員百三十名
△本俸百五十圓以下の職員百八十名
△准職員四十名
△傭員（日本人、支那人）五百名

合計八百五十名でこれ等は何れも十四日附社報を以て發表される筈因に囑託は正副總裁着任以來囑託の必要なしと認めた者に對しては、その都度整理されてゐたので今次の整理においては單に有名無實の囑託即ち無給パス囑託といつた者も少數解囑されたに過ぎない

鐵道部一部の各課の組織　事務分掌內規を改正

滿鐵では職制と人事が決定したゝめ各部ではその組織及び事務分掌內規を改正したが鐵道部本部、埠頭、鐵道工場の組織は左の如く決定した

本部の組織

▲庶務課　文書係、人事係、事故係、統計係
▲旅客課　旅客係、弘報係、輸送係
▲貨物課　貨物係、賃率係、配車係
▲運輸課　第一係、第二係、第三係
▲運轉課　列車係、機關車係、客貨車係
▲工務課　保線係、線路係、工事係、設計係、管理係
▲保安課　管理係、通信係、信號係、電信係
▲經理課　營業收支係、工事經理係、調度係、審查係

埠頭事務所組織

▲事務所長、庶務長、營業長、陸運長、海運長
▲庶務長　庶務係、出納係、監視係
▲營業長　計畫係、輸入係、輸出係、倉庫係
▲陸運長　車務係、機械係
▲海運長　船舶係
▲第一埠頭係、第二埠頭係、第三埠頭係、甘井子埠頭（七月一日より）吾妻驛（以上埠頭事務所長直屬）

鐵道工場組織

▲工場長、庶務長、設計長、作業長
▲庶務長　文書係、人事係、會計係、管理係、原價係
▲設計長、機關車係、客貨車係、機械係、調查係
▲作業長、倉庫係、運搬係、計畫係、能率係、檢查係、組立仕上職場、製罐鍛鈑職場、旋盤工具職場、動力電氣職場、鍛冶職場、鑄物職場、客車塗職場、貨車製材職場、車臺職場、再用品職場

鐵道部關係異動下馬評

滿鐵々道部の運輸、車輛、保線の大連、奉天、長春各事務所長、吉林、洮南、齊々哈爾の各公所長、鐵道工場設計、作業、經理の各長埠頭の庶務、營業、陸運、海陸各長も追つて發表を見る筈だが社內で囁される下馬評を聞けば

大連運輸事務所長　迫喜平次
奉天運輸事務所長　波田吉太郎
長春運輸事務所長　古川達四郎
大連車輛事務所長　木村友彥
奉天車輛事務所長　青木信一
長春車輛事務所長　子安甚平
大連保線事務所長　村山末男
奉天保線事務所長　石村長七
長春保線事務所長　奧田周

鐵道工場設計長田島豐治、作業長杉浦龍男、經理長龜岡精二、埠頭庶務長吉富金一、營業長白井喜一、陸運長秋山卯八、海運長關根四男吉、中央試驗所長世良正一の諸氏が最も有力だと見られてゐる、尙撫順炭礦、古城子、大山、東鄉、楊柏堡、東ケ岡、老虎臺、龍鳳、煙臺の各採炭所長は異動なきものゝ如くである

仙石總裁が甘井子埠頭視察

仙石總裁は來る十五日の日曜に竣工した甘井子埠頭を視察する豫定であるが案內と說明のため藤根理事が隨行する模樣である

關東廳人事方針　明年度の豫算も緊縮　太田關東長官語る

【東京特電十三日發】太田關東長官は十二日午前九時下ノ關發の急行に搭乘十三日朝八時半東京に到着した長官は車中語る

今回の上京は過般御渡滿遊ばされた秩父宮殿下に御禮言上のためで序に松田拓相其他を訪問して明年度

豫算編成 方針其他に就き打合せしたいと思つてゐる、本年度實行豫算は切詰めた上に又今回の行政經濟化で節減せねばならぬので相當苦しい、果してどのくらゐ節減の餘地があるかは未だ財務部で調查中だからよく判らない、又明年度の新規事業についても色々計畫はあるが財政緊縮の折柄大した事は期待出來まいと思ふ、關東廳の人事問題については殖產課長は目下文書課長を當て文書課長の兼務を命じてゐる、その文書課長は今度歸る迄には決めるつもりだ、新設の

刑事課長 は未だ官制が出來てゐないのでそれが出來た上の事だ、又奉天警察署長は立川警視を署長心得にして置いた、これは事務官の兼務が原則となつてゐるから何れ金州なぞの三民政支署昇格に關する官制の出來上るまでは此儘にして置く積りだ、本年追加豫算施行に關連するそれ等の諸官制は近く日下文書課長上京の上手續をとる事になつてゐる、三浦新內務局長はなかなかよい人物だ、大にやるだらうと

期待して ゐる、神田君の大連民政署長も適任だらう、殊にあんな不祥事件があつた後だけにその名譽回復には持つて來いだ、努力を期待してゐる

因に長官は歸京匆々獻上品などに關する準備を整へて來る十七日秩父宮家に伺候すべく今回の滯在は約一週間の豫定で直ぐ歸任の筈

傍系會社の人事　總裁上京前決定　發表は法規上の手續終了後

滿鐵人事異動發表は十三日午後二時頃で一段落を告げたが仙石總裁は同三時頃から大平副總裁以下大藏、藤根の各理事を總裁室に招致して重役會議を開き五時五十分頃會議を打切つたが主要傍系會社の人事問題を愼重審議されたもの如くである、而して傍系會社の整理統合については既に決定してゐるが人事問題は注目され相當異動を豫想されてゐる、從つて十六日總裁の上京までには尙數次の重役會議を開き決定するものと見られてゐるがその發表は勿論法規の手續きを終つた後であらう

非募債主義は斷じて放棄せぬ　井上藏相閣議後語る

【東京十三日發電】不景氣に伴ひ各閣僚間には緊縮方針に反せぬ限りに於て漸進的積極策へ轉換し非募債主義緩和說高まりつゝあるに對し十三日閣議後、井上藏相は語る

積極政策に轉換するとか非募債主義を棄てるとかはこれまで考へた事もない本日の閣議でもそんな話は少しもなかつた明年度の事は今から騷ぐ事もない

定例閣議　間島事件報告

【東京十三日發電】十三日の定例閣議は午前十時開會（宇垣陸相缺席）幣原松田兩相より間島の鮮人騷擾につきては兒玉總監、林奉天總領事も出張しわが警察官も多數應援警備に努め事件は全く鎭靜し右取締りには朝鮮總督府も充分手配してゐると報告し、次いで俵商相より產業合理局事務に關し近く各方面關係者を集め會議する、尙中商工業統制は大阪を中心に紡績業より開始すると報告あり來年度豫算編成方針、財界不況對策は閣議に上らず次回に讓ることゝし零時散會した

僞物を發行して反對新聞を壓迫　不利な戰況報道に對する南京政府の對抗策

◆…前線の戰績思はしからざる國民政府は後方擾亂防止を名として再び猛烈なる言論通信機關の壓迫を開始した、即ち邦字新聞は南京郵政局において全部差押へ、南京上海間の電話は中國語以外の日本語や英語の使用を禁じ中國語で話してすらも交換局において檢查員がこれを聽取し苟くも國民政府に不利な言辭があれば通話を斷絕するなど壓迫極まる壓迫を加へつゝある、殊に漢字新聞への壓迫は酷甚を極め山田純三郎氏經營の漢字紙「江南晚報」に對しては暴漢を派して襲擊せしめ猛烈なる反抗運動を試みた程である

◆…「江南晚報」は從來戰局、政局に關し正當なる報道をなし飛ぶが如く賣れたため遂に彼等は一策を案じ新聞史上未曾有の「新聞の僞物」を發行するに至つた、即ち宣傳に見るが如く江南晚報の題字から發行所、電話番號に至るまで全然本物と同樣にし、その內容に國民政府擁護の記事を揭げてゐる

◆…最初約一週間程は僞物であることを發見されなかつたが、內容の相違から遂に陰謀が暴露し調查によつて市黨部方面の指圖に依つて發行されつゝあることが判明した、江南晚報では去る四日附僞物が發行されつゝあることを社告したので僞物は世間の物笑ひの種となつたがそれでも無智な中國人は僞物と氣づかず相當買つてゐる模樣である、いづれにしても新聞の僞造物は珍無類の出來事である＝寫眞は向つて右二枚は本物の江南晚報（僞物が出たことを社告してゐる）向つて左は僞物の江南晚報（內容に國民政府擁護の宣傳記事を揭げてゐる）

次に紹介するのは今度の異動で勳いた滿鐵の某課長の偶感である▲「春くれば曲りなりにも花は咲かむ踏みにじられし道の邊の草」ヴァイタリテーの强いものは何時かは頭を持ち上げる、個人としても民族としてもこのヴァイタリテーを養ふことが第一要件である▲時々の浮き沈みに泥まず踏まれても踏まれても頭を持ち上げるあの道の邊の草でありたい、何れか秋にあはで果つべきと言ふが同樹に、何れか春にあはで果つべきである、又左の如き古歌もある「荒波にをし上げられて臥しながら花咲きにけり河原なでしこ」

・取消・　大平滿鐵副總裁家族、十四日入港のうらる丸にて來連の記事は誤電につき取消

本日廳報を添ふ

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十三車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一千枚

▲豆油（出來不申）

▲高粱（强調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十三車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込）	七五一〇	七四九〇
大豆（裸物）		

出來高　五車

普通大豆（袋物・裸物）　出來不申

品名	寄付	大引
豆粕	一四三五	一四三五

出來高　四千枚

豆油　出來不申
高粱　出來不申
包米　出來不申

錢鈔

定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百六十三萬圓

現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）一萬八千圓（銀對洋）六千圓

商品

後場

・綿糸布・（保合）

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十一月限	[illegible]	一〇

出來高　十梱

・麻袋・（出來不申）

神戶特產（十三日）

品名	値
大豆現物	五九〇〇
先物	四九三〇
豆粕現物	一六三〇
先物	三一七〇
滿洲小麥	五〇五
豆油現物	一九〇〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇五〇〇	一〇五三〇
東新	九二〇〇	九二三〇
五品、中、先	（不申）	
豆信、中、先	（不申）	
豆新、中、先	（不申）	

東京株式（短期）

	五品	東新
寄値	不申	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	五七五〇	五八〇〇
大新	四一四〇	四一一〇
鐘紡	一三七五〇	一三八六〇
鐘新	五五六〇	五七六〇
日糖	四二三〇	四二五〇
郵船	三七二〇	三七五〇
東新	九〇一〇	九〇八〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

神戶期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

奉天

間島最近の事情
稲岡土地係主任談

間島方面の視察をなし十一日歸週の途中奉天に立寄った稲岡地方課土地係主任は語る　自分は勸業公司員二名と共に去月十五日出發し間島に赴いたが主として龍井村に滯在してゐたゝめ例の不逞鮮人並びに共産黨事件には遭遇しなかつた、しかし間島附近の田舍はこの事件で住民は戰々兢々の態であつた、その中には學校も燒失され民家も相當損害を蒙つたものがあつた、間島一帶の人口は五十五萬と稱しその中四十萬は鮮人で主として農業に從事してゐる水田もあるが豆、粟等の雜穀類を作つてゐる、今回の事件は別として間島一帶の鮮人は支那官憲の壓迫に對し日本政府の消極的態度に少なからず反感を抱いてゐる模樣で殆ど自營手段を採つてゐる、又共産黨並びに不逞鮮人に對する支那官憲の取締りは全く無力で却つて不逞團のため逆襲されてゐるといふ始末である間島附近における邦人保護のため及本官憲は約三百名ゐるといふことであるが、何れも消極的態度で進んでゐるので實力を發揮することは不可能であるやうにいはれてゐた

を設置作業中であつたがこの程完成したので十一日より使用を開始したその成績は良好であると

領事館増築
奉天總領事館は事務室狹隘を感ずるに至つたので西北隅に連接増築することゝなり既に基礎工事に着手してゐるが八月末には竣工の豫

一時間に二萬人
附屬地内の交通量

奉天署ではこの程市内廿ケ所に於て交通量調査を行つたが時節柄交通頻繁で一時間平均步行者一萬二千七百七十二人、自轉車三千九百四十六臺その他自動車洋車等を加算すれば合計二萬四千八百六十七といふ統計を示してゐるそしてその中千代田通春日町、千代町通富士町が多數を占め浪速通春日町、加茂町北七條通等の順であつた

韓麟春氏墓地竣成
故三四方面軍團長韓麟春氏昨年逝去後その靈柩は當地小東邊門外の珠林寺に安置してあつたが豫て造營中の渾河南岸楊官屯の墓地が竣成したので十一日正式の埋葬式を擧行した、張學良氏は令弟學銘氏その他を帶同し親しく墓前に詣で且つ遺族を慰問したと

賣店の商品一値段統一
觀客の便宜を與へるため各劇場、觀覽所等の一般集會所に置かれてある賣店は場内なるが故に暴利を貪つてゐるものありこの程も某所において一本廿五錢のサイダーを五十錢、一個五錢のゴードを十錢に賣つてゐる事實が顯つたので奉天署では是等の値段を一々調査の上不當な値段をつけてゐるものあれば嚴重取締ることになり準備を進めてゐる

蘇家屯驛電話交換機完成
蘇家屯驛電話の交換所にシーメンス式五十回線の自働式交換機

町の便り
奉天鐵道事務所では安奉線吳家屯蛤蟆塘間（橋頭を除く）に自動通票授受機を新設中であつたが完成したので去る三日から使用を開始した
◇
奉天署では十六日午前八時から同署に於て自動車運轉手の試驗を行ふが受驗者は卅五名であると

人事
▲松井第十六師團長　十一日鐵嶺へ
▲香月旅團長　同上
▲牛島北平公所長　十一日大連より過奉北平へ
▲鈴木奉天鐵道事務所長　十二日朝大連より歸奉
▲前田開原署長　十一日撫順往復
▲黄師嶽氏（東北陸軍廿四旅長）十一日昌圖へ

老麟會旅行
大連の六文會の向ふを張つて當地の下川千舟（新滿洲）齋藤善之助（滿洲及日本人）小林一三（[illegible]）古田部信次（週刊極東）鶴高静雄（雜誌大陸）平田四郎（遼東タイムス）の六氏は今回老麟會を組織し發會記念を兼ね十六日發吉林敦化より朝鮮への同人旅行を試むと

洋蘭スタンポペヤ咲く
千代田公園の花園に本年始めて植えられた洋蘭スタンポペヤが咲いた香氣馥郁として花卉界の王と云はれてゐるだけに之をめでる人が澤山ある

四平街

遺憾の意を表す
周局長が誠意を披瀝
◇共益公司問題解決◇

四洮鐵路局對共益公司問題に關し十一日午後二時山添市民協會々長及び添田特産組合長帶同して四洮鐵路局鈴木公務處長を介して目下病褥にある周局長を其の公館に訪ふたが、同氏は這回の問題は日支親善を標榜する自分の意志に反しなることで洵に遺憾である、將來鐵道局職員と貨網人との間に爭ひを生じた場合は互に胸襟を開き談笑の裡に解決したいと冷懷に衷心を披瀝したのでさしも重大視せられた共益公司問題も茲に無事解決を見るに至つた

街頭公論
馬賊が潜伏してゐないか？出歯龜が徘徊してゐないかといふ處から折角の四平街公園も毎年晉頃から人影を絶つてゐたが▲此の夏は二百七十ワットからの電燈が點じられたので蓊鬱たる樹間の繁みにまで電光が照射し如何にあつかましい馬賊も出齒君も潜む個所がなくなつた▲そこへ今年は園内に喫茶店まで設けられたので此の夏からは赤い夕陽が西涯に春く頃から公園に散策する人が多からう

鞍山

角力や素劇で
あす賑かに守備隊の創立記念

鞍山守備隊第三大隊の第二十四回創立記念日式典には鞍山守備隊では各方面の有志を招き兵營内外の装飾及び相撲、素人芝居、其他各種の餘興を催し營内を開放して一般市民に參觀せしめ軍隊生活を紹介し記念日を意義あらしむると

衛生委員會
十日協議會開催

鞍山衛生委員會は十日午後三時より地方事務所會議室において開催林所長、伊藤係長、今津消防隊長浅野衛生係、松木署長、井上保安主任、間野院長、國分醫長、不破醫長、三重野事務長、相谷區長等の諸氏出席し夏季傳染病豫防その他一般衛生につき協議した

久留島氏歸朝
鞍山へは十五日

鞍山振興公司採鑛總局長久留島秀三郎氏は南北アメリカが鑛山業視察のため渡米中の處十四日大連入港うらる丸にて歸連し十五日頃鞍山に歸任する旨通報があつたと

増田、長谷川兩氏
鞍山製鐵所増田用度主任、工務課長谷川健二の兩氏は八幡製鐵所新設五百噸熔鑛爐火入式參列のため十一日十五時發急行にて大連經由八幡に向つた

撫順

安東滿倶を邀え永安臺頭に血戰
撫順野球軍の陣容全く整ひ
あす劈頭の對外戰

愈々對外ゲームの絶好のシーズンとなつた、撫順野球部は十五日の日曜州外の强雄安東滿倶を永安原頭に迎へ快試合を試みる事と決定した、何しろ本シーズン最初の對外試合なので好球家連は大湧における實滿のそれの如く當日を待ちわびてゐる、撫順の内野は殆ど新顔のみであり、安東も相當猛練習を續けてゐるからその勝敗は全く逆睹し難い當日の撫順のメムバーは大略左の如くである

△外野荻原（ライト）尾崎（レフト）岡田（センター）△投手森内隅野（補）西山、出原△捕手渡邊佐野△一壘森川△二壘濱岡△三壘森△遊擊高田（野原尚入院中）

これに對し安東は投手に山岡、難戸山、捕手に吉岡を以てするらしい、因みに十七日撫軍は安東に遠征すると

青聯支部總會
役員決定

青年聯盟撫順支部定期總會は十一日午後七時より實業協會樓上にて開催、佐藤幹事長、中野支部長に代つて開會の辭を述べ森山幹事の事業報告、西川幹事の會計報告等あり次いで役員改選に於て升円倉吉氏外二十九名の幹事を選び、支部長には中野忠夫氏、幹事長には佐藤正秀氏再選、會計には西川清兵衛氏推され左記各氏を顧問に推戴し、午後十一時散會した

山西恒郎、久保学、山上吉藏、大塚裟助、窪田、田中、中島、中原、寺西、古賀

哈爾賓

陝西の飢民救濟
十日から慈善演劇會

陝西省の飢民救濟の義捐金を得るため總商會が發起となり十日から五日間大西洋活動寫眞館で梅蘭芳と並稱される名男優程艶秋一座を招聘し慈善演劇會を開催中である、が入場料は全部飢民に寄附する、尚在哈支那新聞社を始め各學校では特に義捐金を募集中で既に數千元の寄附があつた

支那ボーイ
人命救助の
太田長官から表彰さる

自己の危險も顧みず人命を救助の廉に依り今回太田關東長官より表彰され金一封を授與された感心な華人がある、右は既報の東五條通市場會社支配人中山氏方ボーイ師榮鯤（二二）と云ひ五月四日午後零時頃西公園プール下鑑賞池内に墜落し正に溺死せんとする永安大街二十一番地今田榮太郎三男千二（八つ）ら市内東五條通三十六番地松尾宗次郎二男悦三（八つ）の二名を救助したものである

濱江雜俎
靜岡縣運輸事務所主催の滿鮮視察團一行百八十名は十一日來哈し十二日南下するので仲介商報社では秋林商會其他出品ハルビン土産品の即賣を公會室で開催
◇
遼陽商業部實習所學生第一班十四名は十五日チチハルから來哈の豫定、二泊の上南下歸遼
◇
大阪府參市會議員一行十一名は十五日來哈十六日南下
◇
特産商組合の野遊會は十五日對岸太洋島で擧行
◇
ロシヤ商業會議所の議員改選を行つて間のない九日突然東鐵の請負業で有名なスキデルスキーとワッサルド代表者ヤコープソンの兩氏が脱退したので露商間で大騷動
◇
昨年東鐵土地局が石頭河子支線で買收した薪一萬六千六百クボを處分するに決した
◇
五月末の東鐵經濟收入總額は二千四百三十二萬九百十六金留で四月は五百七萬二千八百七十七金留であつた
◇
八日阿什河四キロの地點で第五三號貨物車が火災を起した際車輛十七輛が烏有に歸し火災を免れたのは木材が約五割、葱四十四箱、鑵寸五十五箱であつた

松江餘滴
露人の倶砂はつきても泥棒の種はつきない▲盜跖は孔子をして鼻をあかした程だから人類社會の存在する限り泥的の子孫は永久である▲支那人の窃盜はやりかたが小さいがロシヤ人は矢張り大きい▲泥棒も國民性の半面を物語るものだが最近モスクワ本國から流動して來るロシヤ人のスリが多くなつたことは事實である▲ビックポケット君の輸入候補で支那人のチボが打撃を受けてゐるとの話▲處が電線泥棒だけは支那人に多いのはどうしたことか▲長春から奉天間の軍用電線を黄爪溝附近で五千尺餘切斷し盜つ挪つてゐた▲お陰で電話が不通となりこうした事件は奉天、撫順、長春間に頻々として日本側の盜難があつたが▲支那官憲も自分のものを盜まれては矢張り眼さめが悪からう▲電柱の中鐵線泥棒も其の子なり▲道にロシヤ人は通信、交通の公共機關を妨害する泥棒をせぬ點が支那人よりは多少すぐれてゐる

營口

驛乘降客激減
銀安と支那側活躍で

銀安並びに支那側鐵道の目覺ましき活躍により甚大の影響を受けてある營口驛五月中の乘降客數は、乘客二萬八千三百三十六名、降客二萬八千百九十九名、之を昨年同期の乘客五萬四千七百四十四名、降客四萬二千七百四十五名に比し乘客二萬六千四百八名、降客一萬四千五百四十六名の激減である

餐霞居士講演
營口滿鐵社會主事主催の下に餐霞居士權甚甫氏の來營を機とし十三日夜滿鐵倶樂部において長壽延命の講演及び揮毫會の催しがあり出席者多數盛會であつた

開原

痔にモヒ注射
遂に死亡す

開原希望大街二五番地海來機止宿の原籍遼寧省遼中縣高花堡李文潤（二二）は痔の疼痛激しきため開原大街五一番地原籍河北省臨楡縣吳鳳林（三〇）を招き十日午後一時頃治療を受けたが間もなく苦悶し初めたるより更に松本醫師の治療を受けた處吳が多量のモルヒネを注射したらしく李は十一日午前一時頃死亡、吳は過失致死罪として取調べ中なりと

邦人荒しの兇賊
逮捕さる

去る八日午前三時頃浮世小路開花樓の賊以來邦人の被害頻々たるに其筋にて嚴重警戒中、十一日午後六時半頃開原大街路上にて擧動不審の一支那人を發見取調べると腕卷時計、金側懷中時計を所持し居るより引致嚴重取調べの結果原籍遼寧省綏中縣住所不定張玉林（二三）と稱し前記開花事件の外去る四月三十日午前一時頃浮世小路大櫻號吾方にて洋服のズボン一本、五月一日泰和街三二金河信方で金側懷中時計一個、五月二十一日浮世小路坂田亭三方で金側懷中時計一個と金鎖一本、五月二十二日電燈會社原田守雄方で腕時計金時計一個を竊取した事實及び其他數件の窃盜を働きたる旨自白したが、發見臟品夫々被害者に假下渡しされたと

川崎地事所長
大連で入院

川崎地方事務所長は過般來氣管支炎と肋間神經痛を患つて居たが大連へ出張中去る八日遂に發熱したので大連醫院内科三病棟四階七號室へ入院したが二週間位にて退院の見込であると

米原神職出連
米原神職は十八、十九の兩日大連にて開催の滿洲神職會講究會、二十日擧行の滿洲神職會創立十周年記念式及び全滿殉職者の慰靈祭に參列し引續き二十、二十一の兩日開催の滿鮮聯合神職大會に出席する事となつた

吉田巡査轉勤
開原警察署巡査吉田陸太郎氏は今回營口民政支署勤務を命ぜられ後任は同支署の福本唯一巡査なりと

瓦房店

守備隊の創立記念日
あす祝典擧行

瓦房店守備隊にては來る十五日創立記念日に相當するを以て午前十時半より祝典を行ふ事となり且つ運動競技を一般市民に觀覽せしむる由

秩父宮から御下賜金
機關區員に傳達

秩父宮殿下滿洲各地御巡遊の砌御召列車運轉に從事した遼陽機關區員十二名に對し金一封の御下賜があつたので福田機關區長は十二日各自に傳達した

警鐘で報知
サイレンに故障の際に

大石橋ではサイレンに故障を生じた場合は從來通り警鐘に依つて左の通り報知する事となつた
一、水火災及び天災地變等の場合は三連
二、消防演習の場合は二連
三、午報は從前の通り

遼陽

匪賊跳梁
管外で

遼陽縣第八區管内小路駐在公安步兵中隊長に對し十日午前阿老村長から騎兵約四百及び拳銃を携帶する優勢の馬賊ありとの急報に接し直ちに出動、猛烈なる銃火を交へたが賊は流彈に斃れたる賊一名、騎銃一挺、モーゼル拳銃各一挺を遺棄逃走したと、此の外翌十一日には第七區管内にも優勢なる馬賊横行中なりとの急報に接した尉公安局長は騎兵中隊の一部を率ゐ討伐に出動した

大石橋

吾等を保護の第三大隊
あす創立記念日
嚴な式と數々の餘興

大石橋守備歩兵第三大隊の創立記念祝典は既報の通り來る十五日擧行せらるゝが當日の次第は左の通りである
午前十時より練兵場において式典及び分列式
同十一時三十分より將校集會場東側に於て祝宴
午後一時より同五時に至るまで營庭において劍術、角力、諸藝大會
尚四時半頃には餅撒きの催しもあると

兒童慰安映畫
けふ小學校で

今十四日午後一時より小學校講堂において兒童慰安映畫會がある、會費は大人十錢、小人五錢、プログラムは國歌「君が代」一卷、運動「輝くスポーツ」二卷、兒童劇「春

聯合素謠會
あす倶樂部で

十五日午前九時から滿鐵社員倶樂部において各派聯合謠曲大會を開催すと、當日の番組左の如し
加茂（遼謠會）朝長（正謠會）杜若（青陽會）蟬丸（梅鶯會）小袖曾我（正謠會）土蜘蛛（梅鶯會）雲雀山（青陽會）鵜飼（遼謠會）六浦（梅鶯會）藤久（青陽會）班女（正謠會）天鼓（遼謠會）來賓、夕顔、經政、附祝言

鐵嶺

小學校側の選手
◇奉天の對抗陸上競技大會◇

滿鐵第三區教育會管内各校職員は來る十五日奉天において對抗陸上競技大會を開催する由にて鐵嶺小學校からは選手として
百米　中村秀之助、五十嵐金平
走巾跳　中村秀之助
庭球　岸土正男、宮永次雄
の四訓導を出場せしめ選手監督には荻原首席訓導、應援團長には永元校長自ら乘出し必勝を期して戰ふと意氣込んでゐる

管内簡閲點呼
八月十二日執行

鐵嶺管内に於ける本年度の簡閲點呼は八月十二日午前八時半より小學校に於て執行と決定した執行官は奉天獨立守備大隊長高木中佐が來鐵すると

支那消防隊の規則制定
鐵嶺城内支那側消防隊では此程商務會において協議會を開催し警定的の消防規則を定め左の如く發表した
一、鐵嶺を東西南北中の五區に分ち五色に色別して火牌一個水牌
二、火災の際住民は一戸につき擔水夫一名を出し火牌及び水牌を携帶せしめ現場に急行救護すべし
三、小火の場合擔水夫は水一荷水牌一個を附して運び大火の際は水五荷に水牌五個を附すべし違反者は公議によつて處罰し罰金は消防夫の犒賞費とす
四、火災の場合は例へ鎮火したる場合と雖も各戸より派したる擔水夫は火牌を提出し遲滞無く到着したる事を證すべし違反者は現洋五角以上一元以下の罰金に處すべし

婦人修養大會
あす陳列館で

全滿修養團大會第一回は今十四日を以て終了し明十五日は休暇、十六日から第二回續開の筈であるが十五日の休日を利用し滯在中の講師を聘して午前九時より婦人のみの修養大講演會を陳列館において開催に決定、白百合會員は勿論一般婦人多數の來聽を歡迎すると

寶生流謠曲會
けふ發會式

寶生流謠曲會は一時中絶の姿となつてゐたが今回同好者連は近藤鐵嶺事を會長とし大連より片桐發作氏を招聘し毎月日を定めて練習指導を受ける事としたが其の發會式を兼ね第一回の練習會を今十四日午後七時より商工會議所樓上に開催する由、一般の入門を歡迎すると

今日の案内（十四日）
◇鐵道從事員追悼法會　鐵嶺在勤鐵道從事員にして過去二十數年の間に公務に殉ぜる者或は病氣の爲め死亡せる者の追悼法要が午後一時から鐵嶺內南方廣場で執行される

吉林

損害十五萬元
放火で八戸を全燒す
一拉溪の馬賊襲擊事件詳報

既報去る五日の吉林縣第五區一拉溪馬賊襲撃事件に就き其後當地支那側に達した報告に依れば、該馬賊團は同日午後七時頃官兵を装ふて市内に入込み其軍装者二十三名便衣者十餘名計四十餘名で、何れも各商號に止宿と稱し悠々と食事を濟ました後官兵の油斷に乘じて一齊に發砲、放火更に掠奪行動に出でたるものであるが、兵匪交戰の結果匪賊一名を射殺したるも官兵は副隊長王如山戰死した、尚市民の被害は死者一名、商人鄭志亭の孫（十歲）が人質として拉致された外商農戸八戸三十餘間房子全燒し損害は約吉林大洋十五萬元に達すると

安取一割配當
理事會で内定

安東取引所は十日理事會に於て今期配當一割案を内定したが今年より配當案は關東廳の内諾を要する事となつたので山下理事長は同案を攜へ十一日朝赴旅したが一割配當は關東廳に於ても直ちに認可されるものと觀られる

立會最中に支那人掏摸
安取市場は九日前場の大反騰から人氣沸騰し所内に押寄せる鮮人は千五百と言はれ相場の高低に呆然と黒板を眺めてゐる隙に懐中物を掏つてゐた支那人掏摸一名は取押へられ一名は支那街方面に逃走したが時と場所柄だけに一時は立會を停止する騒ぎであつた

腹巻は金の延棒
八日午前十時頃三名の朝鮮人が鴨綠江鐵橋を新義州へ人力車で向ふのを安東海關吏が身體檢査をすると三人共金の延べ棒合計八貫目あまりを腹に卷いてゐたので現品を取押へ本人等を釋放したが價格約四萬圓のものである

溺死者を發見
既報去る五日採木公司船舶見張所附近で中ノ島行のジャンクが顚覆した際不明となつた三四名の中九日朝中島第二荷揚附近で五歲位の愛兒を背負つた母子二名の溺死體を發見した尚此の外親娘連れの二名があるらしいが發見されない

國境雜信
安東署保安係では十日から四日間附屬地所在の馬車人力車々體檢查を行ふ
◇
成田病院長小鳥元吉氏は這回故成田昌經氏に代つて附屬地衛生委員に推薦された
◇
九日午前八時頃六道溝中央街交叉點において客馬車と自轉車が正面衝突し乘客四名は顚覆せる馬車の下敷となり負傷したが生命に別狀なし
◇
安東署高等係次席船津警部補は盲腸手術のため壽泉堂醫院に入院中の處八日退院九日より執務して居る

長春

潭月池の魚釣
愈十六日から

長春西公園の名物たる潭月池の魚釣も愈々十六日から開始されることゝなつたので、太公望連は今から手ぐすね引いて待つてゐる、長い禁漁期間に充分發育した魚は解禁時期の最初には盛に喰ひつくと云ふので早い者勝ちである、それに本年は各種の魚類が多いのでさぞ賑はふことであらう

兒童の聚落
星ケ浦と熊岳城へ

長春兩小學校では例年通り近く兒童の海濱聚落を行ふが場所は大連星ケ浦にて參加兒童は室町小學校から九十四名、西廣場小學校から十五名だと、尚虚弱兒童で熊岳城に温泉聚落をするものは室町小學校六十四名、西廣場小學校二十五名だと

安東

遼寧省政府から警官に贈勳
平北の七氏に

平北道警部坂本丑三郎、同警部補村木豢行、同新村勇、同警部石井勇、同巡査辛延治、同金衛玉の七氏は在鮮中國の保護に盡瘁するところ少からずとして今回遼寧省政府から一等獎章以下三等獎章を授與する旨訓令を添へて選奨あり、右七名はこれが受領及び佩用允許願を七日附總督府に申達した

奉天

吾等の町を語る

滿鐵の重心を置け
邦人は張氏を支持する事
古仁所豐氏談

深綠に包まれた朝のすがすがしい十間房の所長公館にお訪ねして「吾等の奉天は何處へ行く？」といふやうなことから話の緒口が切られる
◇
近く竣成する滿鐵總站——北寧線と瀋海線を結びつける中央ステーション——が我が滿鐵線と聯絡することによつて城内、商埠地、附屬地を一丸とする大奉天の中心となるのである。此の中心を起點としての市街計畫、建設計畫は既にその輪廓を形成してゐる殊にこれから一番伸びるのは北陵方面であつて、東北大學の東ゴルフリンクから滿鐵線までの間はもう市街計畫の實行に掛つてゐる、大北門から瀋海驛あたりはギッシリ家が建込んでゐるし、大南門も現在のやうに擴かつて居り、奉天近年の發展は實に素晴らしい、恰度北京の繁榮を奉天が奪つた形である
◇
交通委員會にしても省政府委員會にしても、すべてが計畫的にやり、而もそれが結果に於て誤つてゐないのはいつも感心させられる所である、鐵道問題に限らず萬般の文化的建設は着々實行されてゐて、日本人がウッカリ文化の先進國などゝ口を辷らすと飛んだ恥を掻くことがある、斯くの如く各種の施設がエキスパートの智嚢を集めてすべてを計畫的に施設してゐる上に、段々として止まない東三省開拓の經濟的、政治的効果は悉く奉天に集中するのであるから、今後の繁榮發展の速度は恐らく過去に倍するであらう、私は滿鐵も奉天に重心を置くべきであると考へてゐる、本社を遷せなかつたら支社を置くか、副總裁が常駐するか、少くとも理事を置かなくては嘘だと思ふ
◇
今度の南北抗爭においても張學良氏が絶對中立で終始してゐるのは、東北開發に非常に好い効用を與へてゐるばかりでなく政治的安定も鞏固となり、張學良氏の威望は日と共に重きを加へてゐる先づ張家萬歲である、一番の缺陷は昨年の露支紛爭に軍費を使ひ果したゝめ財政窮乏に苦んでゐることであるが、さて見渡したところ張氏に取つて代る何人があるか、誰も發見出來ないのである、現在政務委員、參謀、政府委員など、委員が各衆知を集めてゐるが、最後の決は張氏が採つて居り、張氏中心の專制政治と見られぬでもなく、殊に楊宇霆、常蔭槐の死後その二の舞をやるのを恐れて進んで意見を立てる者がゐない現狀であるが、張氏が是等の各委員會を統御し、その意見を綜合裁決し殆ど誤らないのは彼の非凡な聰明を肯定せざるを得ない
◇
邦人中感情的に張氏に對し兎角の説を爲す人がないでも無く、また一個人の限りあるエネルギーに何時まで信賴してよいものかどうかも問題ではあるが、現實においては張氏を尊敬支持し、之と提攜して行く以外に良策は無いと私は考へてゐる、張氏は、嚴父は實際に自己の力を持つてゐたが自分はそれを繼承したゞけに過ぎない、數年の後にもなつたらその力を完全に自分の物にしたい、それまでは他に力が移らないやうに努力し繁榮する——といふ氣持であるやうである、それを區々たる感情で頭から反感を持つたり馬鹿にするのはよくない、さういふ感情が互に反撥すれば何時かは大爆發することが無いとも限らぬ
◇
仙石總裁が言はれたやうに誠意は必ず通ずる、現内閣になつて關東廳、滿鐵の首腦部が更つてから支那側の對日感情は次第に變化し、今日は餘程好轉してゐる、たゞ田舍は中央部と違ひその對日惡感は徐々に染み込んだものだから、その好轉も徐々たるものは止むを得ないが、大勢はたしかに日支融和の機運が動いてゐる、此の機運に逆らつて故に感情を尖らすのは面白くない、支那側も同樣である、彼の外交協會が排日のための排日に狂奔するが如きは最も反省すべきことであらう、近きに親むのが一番無理の無い自然の途であることを悟り、共に繁榮へ進むことを支那の識者に望みたい【寫眞は古仁所氏】

海城

馬術競技大會
あす練兵場で妙技を競ふ

昨秋設立された全滿乘馬協會主催の下に第三回全滿乘馬競技大會を海城において開催の豫定なるが來る十五日午前八時より海城野砲隊練兵場において野砲兵第二十二聯隊及び海城乘馬倶樂部主催の海城馬術競技大會を左記要領により開催して全滿大會の小手調をなし優秀者には賞品を授與する競技參加は野砲第二十二聯隊、海城衛戍病院分院、海城憲兵隊、將校准士官下士各部及び各中隊優秀兵卒、地方乘馬倶樂部等にて午前八時開會十一時半まで競技を行ひ正午より宴に移り懇談會を催すと　尚馬術競技種目は左の如し
一、障碍飛越　軍曹伍長、同准士官曹長、同將校
二、パン喰競爭　各部下士
三、旗取競技　將校同相當官
四、琴平參り　地方乘馬團體員
五、撒紙競馬　將校同相當官地方團體
六、障碍飛越　地方乘馬團體員
七、野試合　各中隊兵卒
八、馭法（蛇乘）　各中隊兵卒（初二年兵各一車輛）
九、騎發　下士兵卒海城乘馬倶樂部員

印度の回教徒に反英氣勢

警官の懲戒に激成されたか ガンヂー派に合流

暴動更に蔓延

目下入獄中の反英運動總帥ガンヂーは暴力的反抗を絶對に不可としてゐる、然るに、彼の手足となつて活動してゐる義勇隊の連中は必ずしもガンヂーのこの命令に從順でない、先月五日彼の逮捕された前後から暴力的行動が段々とつのつて來たやうである、最近では本月一日ボンベイ附近のワダラ製鹽所に一萬五千人の義勇隊が襲撃を試みた、そしてこれを阻止せんとした警官隊との間に衝突が起り百數十名の重輕傷者を生じた、同じ日西北國境地方のペシヤワールでも警官隊と民衆とが衝突し、死者七名負傷者數名を出した、其他五月下旬に數ヶ所で騷擾があつた

政府の取締令

インド政府はこれが對策として五月三十日附を以て「各店舖の見張り、納税拒否、官公吏服務妨害」の取締令を出した、反英運動の一手段として、義勇隊員が酒屋や織布商店にピケット即ち見張りをつけてゐる、政府はこれを取締るためにピケットを刑事上の犯罪と認めることゝした、然しこれらの彈壓政策は却つてインド人の反英熱を尖鋭化するものと見られてゐる、未だにピケットを止めない模樣である

回教徒の決議

最近特に注意すべき事は本月四日ボンベイの回教徒が示威大會を催して、ガンヂーの反英運動支持非軍事的行動參加、イギリス商品ボイコット斷行、ロンドン圓卓會議不參加等を決議した事である、以前の報道によると回教徒の諸團體は自治領に地位を與へらるゝ事を以て滿足し、圓卓會議には代表を出席せしむるとあつた、回教徒聯盟首領シヤウカト・アリ氏の如きも、去る三月ガンヂー氏が反英徒歩行脚を開始する際、ボンベイで反對演說をやつた程であり、又五月八日には回教徒聯盟評議會はボンベイで大會を開き、ガンヂー一派の運動を以て機宜を得ない妄動と看做す旨を決議した位である、それが今日ではガンヂー一派と提攜して共に反英運動の陣を張らんとしてゐるらしい。

ガンヂーの主張

ガンヂー氏はかねて、インド教徒と回教徒とが融和協同してイギリスに當らなければインドの國民運動は成就しないと主張し、多年兩教徒の提攜に努力してゐたのである。

回教徒も起つ

五月二十六日ボンベイのベンヂ市場附近で、イギリス人の警官が一人の回教徒に對し訓戒を加へたそれを肯かないのを理由にして警察がその回教徒に鐵拳を喰らはした、これが因になつて回教徒の群衆と警官隊との間に大衝突が起り回教徒側に死者四名、負傷者三十六名を生じた、其後秩序は回復したが、この事件が回教徒の反英感情をそゝり立て、その結果、前記のやうな決議をなすに至つたのではあるまいか、兩教徒は宗教の差別から平素仲が惡いが、政治上又は社會上、何か重大な利害や面目に關する事件が起れば、必ずしも協力提攜しないとは限らない、歐洲大戰後トルコの分割や回教主の地位が問題となつた時の如き、インド教徒は回教徒に後援を與へ、盛に反英行動をやつた。

先月開かれた 聯盟理事會の業績（一）

國際聯盟創立第十一年最初の理事會とも見るべき第五十九回理事會はユーゴー・スラビヤ外相マリンコウイツチ氏を議長として五月十二日より四日間聯盟事務局內硝子の間で開かれ、理事國十四ヶ國中日本以外の常任理事國は外相自ら出席した

即ち英のヘンダーソン氏、佛のブリアン氏、伊のグランヂー氏、獨のクルチウス氏で、日本からベルギー駐在

永井大使 の出席を見、期せずしてロンドン會議の全權が再びジユネーヴに集つた觀となつた、非常任理事國中外相自ら出席したものは議長マリンコウイツチ氏の外、ポーランドのザレスキー氏、フインランドのプロコープ氏の三名で、他の非常任理事國即ちカナダ、キユーバ、ペルシヤ、ペルー、スペイン、ヴエネズエラは其國の聯盟代表の出席だけであつた、然し此の中にはスペインのキノネス・ドレオン氏の如き聯盟理事として最古參者もあり、聯盟規約通で知られて居るペルーのコルネホ氏等も居た

今回の理事會の議題には

重要事件 はなく、唯來る九月の第十一回總會に對する準備的事項が大部分であつたそれでも安全保障委員會の報告、聯盟規約と不戰條約の調和、パレスタイン問題（所謂嘆の壁問題）阿片消費制限會議召集問題、並びに東洋關係の問題としては、支那政府の要請に係る檢疫制度及び衛生醫藥施設改善に對する聯盟保健部の協力援助問題、婦人兒童賣買調査員の東洋諸國視察等の諸問題があり、殊に最後の

二問題は 聯盟の東洋進出として注目を惹いた

議題は以上の諸件を併せて合計三十八であつたが、之等は何れも豫め打合せを終へ、理事會議場では報告者の報告朗讀、之に對する問題關係國理事の發言があつて、何れも可決又は承認と云ふ形式で、一日十問題位の割でどしどし片附けられて行き、頗る事務的且つ組織的であつた此の理事會で注目されたのは我が永井大使の出席であつた、多年聯盟理事會で令名を馳せた駐佛安達大使の歸國後果して日本から誰が聯盟理事會に出るか三聯盟部內のみならず、新聞記者連中の間でも可なり問題とされて居た、永井大使の出席は理事會の開催

四日前に 漸く決定した始末で、同大使の手腕については幾分懸念の空氣が漂つて居たらしいが、愈々理事會の席に出て上部シレジアの小數民族問題の報告、及び衛生問題の贊成演說を巧な佛語で見事にやつて除けたので各國理事は勿論、多數新聞記者連の間に好評を博した、而もロンドン會議でヘンダーソン、ブリアン、グランヂー等と面識のあつた點は日本の爲めにも非常に有利であつたし、好都合であつた樣である

馬賊に襲はれたある支那人の話（下）

朔北道人

それからまた「お前等も一文無しでも困るだらうから、今夜の宿賃として一人づゝ二百吊（約我二十五六錢）やるから今夜は何處へでも宿を取つて、明日可然行く處へ行つたらよからう。又怪我をしたものには一千吊づゝやるから、藥でも買つて養生をしろ。尙ほ念の爲めに話して置くが、俺は頭目で青山と號して居るもので、此處に居る奴は二番目の奴で、青燕と號するのだ、よく覺えて置けよ、俺達は明日は三道鎭街道で仕事をするつもりだ」

等と馬鹿に調子の好い事や、强さうな事を並べ立て、今度は部下に向つて

「オイ貴樣等は全く駄目な奴等だナ、こんな自動車を一臺止めるのに二十發も三分彈を打つ奴があるか、俺ならば二發で止めて見せる、モー少し氣を付けなければ駄目ぢやないか！馬鹿野郎」

と皆に解るやうな言葉で呶なりつけましたが、一寸自家廣告と云ふ處でせうネ、

「此の際一番うまい事をしたのは四十格好の中婆さんでしたが、賊共が金を出せと云ふた時婆さんは

「私は金を持つどころですか、拜泉縣でコツクをして居る息子に小使を貰ひに行く處で、自動車代なども人から借りて來たやうな譯です」

と答へたので賊共も强つて要求もしませんでしたが、實は此の婆さん懷に十五六元の金を持つて居たのでした、而も其の上賊から人並に二百吊の宿錢をせしめたのです、馬賊にあつて儲けたのは、此の婆さん位のものでせうハヽヽ、

「拜泉縣から約一邦里位の處へ來ますと、賊共は運轉手に「泰安鎭街道に出て眞直に走れ」と命じましたから、車はその云ふ通りに進みまして、暫くすると又東の方に向ひ、ある部落を過ぎて約六里も來たと思ふ頃、急に車を止めて「サー皆降りろ」と申しますから、私共はヤレ／＼と思ふて降りますと、頭目が

お前等は此處で解放してやるから今通つた村落で泊つたらよからう、先刻俺達がお前等の車を止めた處は此處から東へ八里許りの處にあるから、明日はそこに出て車を探して拜泉に行くがよい

と親切氣な捨ぜりふをのこして、自動車に乘つたまゝ、東の方へ行つてしまひました。

「私共はそれから附近の部落に辿りついて一晩泊めて貰ひ、今朝そこから荷馬車を雇つて今日午後此の町に着いたのです。私共貧乏人は命さへあれば、金位は何ともなりますが、若し貴所方が居られたら、人質にでも取られて大變な事になるのでした。

と平氣で語つて昨日馬賊に逢つて土下座させられた時の土の乾いたのだと云ふのを拂つた、常に馬賊に脅かされつゝある、支那の內地の人達は、現實に馬賊に出會ひ、金品を强奪されながらも、矢張り馴れつこで、あの平靜さを保ち得る事に感心し、道人等同行二人が旅程を眞面目に踏んだため、災難を逃れた事を心から喜んだ（五年六月五日稿）

八相 ヤマトホテルへ

或る母

今年もホテルのルーフの時節が參りました「お母さんルーフへはいつ行くの、早く行きませう」とは夏になると、もう子供達の催促です、家族的の納涼場所としては誠に理想的なもので、子供達を喜ばせる事が出來るのはありがたいと思つてゐます、然し夫婦に子供五人の七人では、入場一人前五十錢はちとこたへます、以前通り三十錢にして頂けませんか、以前の三十錢が五十錢になつたのでアイスクリームが出されるやうですがそれよりも三十錢で凉しく樂しくほんとの奉仕的な心持で一般のために便宜を計つていたゞけないでせうか。

それから去年の新聞にも「グツト砕けてゆかたがけでも」とありましたが、やはり以前通り禮儀あり度いと思ひます、それも結構ですが、それには行かれる方たちの御自重を望みたいと存じます、お互に餘まり目苦しいことは避けたいものです。

それからもう一つ、オーケストラは一昨年から庭の食事の場所で演奏されてみますが、これもやはり映畫のある所の椅子に掛けて聞きたいものです。

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

各自に注意を

一自動車運轉手

近頃の樣な陽氣になつて來ますと、戸外では勿論、ひどいのになると車道にまで出てボール投をやつてゐるものがあります、或は子守なしで幼兒を車道で一人遊びをさせてゐるのもあります。これには私共は非常に迷惑して居ります、過つて自動車で負傷でもやらうものならそれこそ大騷ぎです、私共が注意しなければならぬのは云ふまでもありませんが、一般市民の方々も充分御注意を願ひたいと同時に警察當局の嚴重なお取締を切望します。

探偵小說 女妖（115）

江戸川亂步作 橫溝正史 伊藤幾久造畫

恐怖の別莊（五）

「花子さん、花子さん」

黑ん坊は花子の驚きを、周章て手で制し乍ら、激しく眼玉を動かして、何事かを知らせやうとする。然し、花子は小鳥のやうに打顫えてゐるばかりであつた。

黑ん坊は躍起となつてガラス戸を外から叩いた。あまり激しく叩かれるので、今にもガラスが毀れさうである。

花子は然し、さうしてゐるうちに、段々心地の落着いて來るのを感じた。相手はどうやら、自分に危害を加へやうとしてゐるのではないらしい。いや、その反對に、自分を救ひ出さうとしてゐるのではないだらうか。

彼女はおづ／＼と窓の側へ寄ると、そつと鍵を外した。さうして置いて、周章て身を退くと、要心深く身構えをした。

ガラス戸が開いた。

と、さつと吹込んで來る風と共に、黑ん坊は礫のやうに部屋の中へ躍り込んで來る。

「花子さん！」

彼はさう喘ぶと、しつかりと花子の肩に手を廻した。

「？」

花子はぎよつとして身を慄くする。黑ん坊は然し、無理矢理にその身體を抱きすくめながら、

「私です。分りませんか、私です、よ」

さう言ひながら、恐怖に打慄えてゐる花子の顏の前へ、ぬつと無氣味な顏を寄せつけた。

「え？」

花子は突然、耐え難い驚愕に打のめされたやうに、暫し呆然として相手の顏を打見守つてゐたが、

「あゝあなたでしたの」

と、微かにさう呟くと、不意に力が拔けたやうに、相手の腕の中へ身を投げかける。

「さうです、私です。成瀨珊瑚です。分りましたか。分つたらさア氣を確に持つて下さい」

「あゝ、あなた、あなた！」

花子はふいに激しい情熱に身を打慄はせた。長い間相見る事を許されなかつた戀人の成瀨子爵——夢寐の間にも忘れる事の出來ない成瀨珊瑚——その戀人がしかもこの恐ろしい敵の隱れ家で、見るも醜い黑ん坊に姿をやつしてゐやうとはどうして考へられやう。夢でなからうか。夢ならばこのまゝさめずにゐてほしい。

「あなたはどうしてまア、こんな所に來てゐらつしたの」

「あなたがこのお邸へ連れて來られた直ぐその翌日から、私はこの邸へ黑ん坊として住み込んだのです。いや、あなたが、あの綾小路邸から出られた直ぐその後から、かくいふ私は尾行してゐたのですよ」

「え？、ではあなたも、あの綾小路さまのお邸にゐらしたの？」

「えゝ、ゐました。然し、今はそんな詳しい話をしてゐる暇はありません。一刻も早く逃げませう」

成瀨子爵は急き立てるやうにさう言つた。

「逃げると言つても……」

「この窓から逃げるのです。花子さん。あなた恐ろしいのですか。さア。ぐづ／＼してゐる場合ではありませんよ。窓のところへ繩梯子をかけて置きました。下へさへ降りればもうこちらのものですからね。」

「はい。あなたさへ側にゐて下すつたら、あたし怖ろしい事なんか少しもありませんよ」

「よく言つてくれました。さア、逃げませう」

成瀨子爵はさう言ひながら窓の側へ寄つた。が、こは如何に、ない。繩梯子がない。誰が外したのか、それとも風の惡戲か、確にかけて置いた繩梯子が、影も形も見えないではないか。

二人は思はず顏色を失つた。

鼻病

◎ミツワ鼻病液

鼻腔內分泌腺を調節し、且消炎作用あるを以て、鼻病に確實なる效ある

定價 壹入 四十錢

適應症候

鼻閉塞、鼻充血、鼻加答兒、鼻汁過多、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹

他に ミツワ點眼液 壹入二十錢 ミツワ齒痛液 壹入二十錢

製劑監督 藥學博士 醫學士 小平國氏

御申越次第送呈 ミツワ家庭藥三十二方を說明せる小冊子あり

取次販賣舖規定御申越次第送呈

脫毛

雲脂過多、脫毛は速くお手當を

◎ミツワ養毛液

適應症候

雲脂の過多。若禿。毛髮の薄き。急性熱病、精神過勞、產前產後、皮膚病、等、等、等で脫毛する方。其他脫毛を防ぎ毛髮の發育榮養を助く

雲脂過多は脫毛の始めです。其中に本劑を用ひれば效果は一層です。本劑には本店特製のハプトール、芳香精、其他數劑を含んで居ります

定價一圓六十錢

右ミツワ家庭藥中の養毛液と共に、左記頭髮用香水が有ります。毛髮の發育を助け榮養を良くし、雲脂を防ぎ、爽快な佳香は頭腦を淸新ならしめます。

頭髮用香水 ◎ヘーアローション（ミツワ月の雫）

定價 一圓二十錢

視覺への凉味

カットグラス

▽…水晶の結晶を見るやうな透徹味の中に閃くやうな銀光を持つカットグラス…それは初夏にふさはしい視覺への凉味だ、而し近代の進歩した硝子工業は硝子藝術の粋ともいふべき艶麗優美にして見るからにノーブルな硝子彫刻「グラビール」及「ノイグラスシライフエン」を生んだ、

▽…彫刻グラスはまだ餘り世間に知られてはゐないが、硝子細工の最高級品で價格も最高である、

▽…滿洲産の装飾グラスは其の品質に於て其の加工に於て遙かに内地品を凌いでゐる、

▽…カットグラスはコップのやうな小さなものから菓子皿、丼、花瓶等いろ／＼あるが、コップは五十錢位から二三圓位まで菓子鉢は四五圓から二十圓位まで

▽…「グラビール」の花瓶はグンと値が高く花瓶では先づ四五十圓處、最高級品になると千圓位の物もある（南滿ガラス調べ）

初夏……純眞無垢の少女に伸びる

誘惑の魔の手

女子教育者は之をどう見る？

石川神明高女校長（A）と記者（B）との對話

性に餓ゆる者の怪しくも惱ましき大都市の初夏、……ほの暗き街路樹の蔭に、夜の街頭の華やかさの中に、さては涼を追ふ涼み臺に、電車の中に、海に、山に、ありとあらゆる場所に乙女等の持つ唯一の誇りであるべき處女性を奪はんとする恐ろしい誘惑の魔の手はくりひろげられてゐる、それは娘を持つ親に取つては大いなる不安であり脅威であり、女子教育者に取つては絶えざる惱みの種である、この大きな社會現象に直面して乙女等は、親は、教育者は如何に處してゆくべきか、先づ神明高女に石川校長を訪ねて意見を叩いて見る。

B、夏になると大都市の共通的な現象として性的誘惑が多くなりますが、女學校あたりでは之に對してどんな豫防策をお取りですか、

A、中々むづかしい問題ですね、學校としては生徒自身に貞操についての確りした自覺を持たせるやうに訓話をするとか、誘惑に近づかないやうに、或は又自ら誘惑されるやうな機會を作らをするとか、登校歸校の時間の打合せをするとか、單獨外出をさせないやうに注意させてはゐるのですが、學校としてはそれ以上のよい方法がありません、

B、誘惑といふことを女學生達はどんな風に考へてゐるでせう？

A、恐らくはつきりした意識を持つてゐないでせう、而も誘惑の魔の手は恐ろしい姿ではなくて常に美しい形を以て接近するのですから之を避けるといふことは中々困難なことで、結局誘惑の機會を作らぬといふことが唯一の豫防策でせう、

B、誘惑の危險は主として家庭生活の圏内に於て起るのですが其の點に關して學校と家庭との聯絡はどんな風にやつてゐますか

A、まあ登校歸校の時間の打合せをするとか、單獨外出をさせないやうにして貰ふとか言つた程度のものですねえ、

B女子が華美な服裝をするといふことは自ら誘惑の機會を作るやうなことになるのですが、此の意味に於て制服をきめたことはいゝことですね、

A、學校では質素な服裝をしてゐても家庭に歸ると絹の靴下をはいたり隨分派手な服裝をしたりする者もあるやうですが、この點は大いに家庭の自覺を促さねばなりません、

B、學生時代は身づくろひと言つたやうなことには餘り心を向けさせないやうにして、黑金のやうな身體を鍛へて置くといふことは結局將來に於ける健全な母としての身體の基礎を作ることにもなり、一面誘惑の機會をつくることも少くなりはしないでせうか、

A、ところが、さうなると女子の美點であり、特質である羞恥心女らしさ、しとやかさといつたやうなものを失はしめることになりますからさう單純にも考へられません、やはり女子には女らしさが最も貴いものですから日光直射の運動場で男性的な運動競技をしたあとでも必ず歸りには髮をくしけづらせ、服裝をとゝのへさせ、しとやかな女性として校門を出るといふやうにしてゐます、兎に角女子教育は實にむづかしいものですね、僅か誘惑に對する豫防と言つたやうな消極的なことでさへ思ふやうにならないのですから建設的な教育はいよ／＼むづかしいわけです、

B女學校の上級生あたりは貞操といふものをどう解釋してゐるでせう、

A貞操の上に汚點を殘すことが女の一生に取つて致命的なものであるといふやうなことについてははつきりした意識を持つて居るかも知れません、修身教科書には貞操について書いてはあるが、それは極めて抽象的であり概念的なもので果してそれが貞操といふものゝ眞の意味を理解させるに足るものであるかどうかは實に疑はしいものです、

B、やはり今後性教育といふものが必要になつて來ますね

A、中々むづかしい問題です、現在のところでは理科だとか家事だとかの適當な教材にぶつかつた時に性の一般的性質について其の概念を與へるやうにはしてゐます、それから姙娠とか分娩育兒といふやうなかなり實際的な智識については大連病院の婦人科の醫長に來てもらつて講義をしてもらつて居ますが現在のところではまあ此の程度です

B、麻雀などをやつてゐる女學生もあるやうですが、あゝしたものが誘惑の機會となつてゐることもあるやうですね、

A、或はさうかも知れません、

B、世間では女學生の誘惑者が常に男學生であるやうに考へて居るやうであるが、女學生から見るとオヂサンと思はれるやうな中年の男から誘惑の手を伸ばされてゐる事實が決して少くないやうですね、

A、寧ろその方が多いかも知れません、

B、男女學生の性に對する考へ方が一般的に見てよほどアメリカ化しつゝあるやうですが、

A、極東オリンピックから歸つた人達の話によると東京あたりの女學生には隨分ひどいのがあるといふやうな話を聞きましたがとにかく憂ふべき現象です、これからの女子教育はいよ／＼むづかしくなりますね。

（寫眞は石川校長）

オネエチヤン
オンマ　ヨ
アタイ
タイシヤウ　ヨ
トツト　ハ
アダイノ
ケライ　ヨ
ハイシ　ハイシ
マア
オツイ　オンマダコト

鯖の料理

◇……風味のある味噌煮……◇

◇…頭を切り、腹を開いて臓を抜き、水洗ひして之を三枚におろし腹骨を取り、小骨を抜き、適宜の大さに切つて、之を皮の方を上に向けるやうにして鍋の中に並べる、一方には鍋に味淋（或は酒少量と砂糖）を入れて烈火にかけ沸騰させて置き、その中に、右の鯖を鍋のまゝ入れるのである。

◇…その上から並味噌を少し鯖の上にかけて煮る、煮えたならば鍋のまゝ取り上げて小皿に盛りその上に少しづゝ、その煮汁をかけおろし生姜を添へるのも妙である。

硯—の—趣—味

支那古文書の研究が轉じて

硯の蒐集に沒頭

硯の研究家　丘襄二氏

「私は決して蒐集家ぢやないんですよ、たゞ硯の種類を蒐めてゐるだけで、同じ物が二つあれば人にやつて了ひますから數から言へばお話になりません」と冒頭して、丘襄二氏は古稀に餘る老齢とは思へぬ童顔を笑ませ乍ら話し出す。

▽……△

成程丘さん所藏の硯は數で云へば僅か三十數個だが、元々

▽研究が△ 目的の丘さんの主義であるから同種の物は決して持たぬ丘さんの主義だ、それで現在丘さんの手許に無いものと言へば金の硯、銀の硯、骨の硯の三つで其他は、古くより現今のもの迄世界中、といつても東洋だけだがありとあらゆる種類は網羅されてゐるので硯の事なら丘さんの處に聞きに行く。次は丘さんの硯の講釋の一くさり。

▽……△

「文獻には金、銀、骨の硯もあつた樣ですが未だ此の三つだけ私の手許に集りません、おそらく

▽装飾用△ でせうが、其他翡翠硯、玉硯、水晶硯、碧瑠硯等之等は皆装飾用の物だつたのでせうが私は一つ宛持つてゐます、元來私が硯を蒐め出したのは三十年程前からで、私は古文書を研究してゐますので支那人の字が何故あんなに上手か、といふことから硯、墨、筆と關聯して研究し始めたのです。

▽……△

大體支那の硯は日本のに比して目が粗いやうですが之は支那の墨が膠が多いためで、粗くなければ磨れず、又墨に膠が多いから、ねばり氣が強く從つて

▽支那筆△ は毛が堅く、だから支那人が字を書くには唐紙の樣な丈夫な紙でないといけない、といふ風に全部關聯してゐるのです。私も硯許りでなく、墨や筆も蒐めて研究しやうと思ひましたが墨や筆は種類が多く又幾らでも後から／＼と引續き勝手な物が造られますからこの二つには迚も手が及びません。

▽……△

硯で古い物は唐、秦時代のもので、瓦硯、泥硯などがありますが福建省南方では竹で拵へた竹硯などを使つてゐましたが其他、昔支那の書家が

▽旅行に△ 持廻つた木製の硯もあります、青海、甘粛地方の寒い處では鐵や銅製の硯を使つてゐましたが之は凍るのを防ぐ爲め下から火で炮り乍ら磨つたものです

▽……△

大體昔の硯は今の樣に池が無かつたもので、必ず書く度毎に墨を磨るといふ風で仲々難しいものでした、支那硯の材料石は廣東からでるのが一番良いが此頃は此の材料石も無くなつて何でも構はないといふ風で全く粗惡になりました日本では甲州の雨畑齋の石が一番良いんです」――と丘さんの

▽趣味談△ は仲々興味がある「私の樣な用の無い閑人でないとこんな仕事は出來ませんよ」と話す丘さんは山城町二番地の閑寂な家に終日閉ぢ籠つて古文書を弄つてゐる。

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

8—4

滿俱の猛打物凄く　實業遂に涙をのむ

きのふの實滿第二回野球戰

本社主催實滿定期野球第二回戰は十三日滿俱球場で擧行、この日絶好の野球日和觀衆は午後二時頃より殺到し、兩軍嵐の如き聲援裡に見事なシートノックを終り午後四時水原（球）高須（鐵）兩氏審判滿俱の先攻にて開始結局八對四滿俱遂に優勝した時に六時三十五分、戰ひ終つて滿俱選手はホーム前に整列、高柳本社長閉會の辭を述べ滿日、大藏氏兩優勝盃、大每大朝優勝旗、極東週報優勝盃を疋田主將以下に授與、つゞいて兩軍の最高打擊率者上條（滿）源川（實）兩選手にライオンテーラー寄贈の洋服、極東週報寄贈のカップを授與、滿俱選手の滿洲日報社萬歳三唱裡に目出たく同四十五分散會した

兩軍決死の意氣　實業はやゝ焦り氣味

實業は第二回戰に勝ち決勝戰に臨まんとの覇圖を有するに反し、滿俱は二回で決戰せんとし、兩軍戰前より決死の色が選手の面上に溢つて居た、實業は豫想通り源川をプレートに送つて滿俱の健棒を防がんとし滿俱は主戰投手山口を立てる、實業は全試合を通じあせり過ぎたる感あり特に攻擊の際この種選に支配されしこと多しこれに反し滿俱側は悠々としてプレーし點を物にする時は必ずこれをものにする底力を有す、この點兩軍の得點のひらきを大きくせし因ではなからうか、第一回戰に比べ選手も始めより落着いて居り時任の好捕、好投の如き美技あり中川（金）選手は脚を痛め又宮武選手の不振だつたことは共に實業攻守の中心點をなくしたものだつた、上條は第一回戰と同じく素晴らしき當りを見せ遂に滿俱のリーディング・バッターとなる、然も殆んど得點に導く貴重なものであつた、源川はヤンキースに居たカールメイ式のアンダースローで吉野に對したところコントロール面白くなく二遊間に單打されたが後續打者を巧に料理して第一回のピンチを防ぐインコーナーに總る球が始めて同投手に接する滿俱打者を眩惑して居た、實業側は第一回戰の八九回における樣な攻擊法であまり簡單すぎて居た

實業好機を逸す

第二回中堅安打に出でたる上條綠川の左翼線上にそふ單打て一擧本壘をついた時、岩瀨一壘手は補手をバック・アップして居なかつたので綠川をして一擧三壘に進めた感あり、而して山口には二ストライクを取りながら不用意に投げた球を右前にクリーンヒットされて餘計な點を與へた、中川、岩瀨、源川出で無死滿壘の際中島のショウトフライで僅かに一點を得しのみで後援凡打、この大きなチャンスを逸したことは實業の攻擊力の不足を物語るものではなからうか

疋田の三壘打

第三回疋田は胸の邊の球を强打すれば左中間大フライトなり流石の中川も追走し得ず三壘打となる芥田の二遊間單打は宮武一寸のところで止め得ず滿俱また一點を加へたが源川も片岡、高須、上條の强打者に對し巧い投球を以て防ぐ、實業は相變らずあせり氣味で終始す岩瀨をプレートに送つての第四回は兩軍とも無爲に終り第五回に入るや芥田宮武のトンネルで力走を續けて一擧本壘をつくこの時中川のリレーの球を岩瀨途中で止めて居なければ或は芥田の生還を許さなかつたかも知れない、ともあれ芥田の走壘は實に見事なものであつた

第六回に於て一死後山口に右線より二壘打されたが岩瀨力投後援を斷つて始めて滿俱の追擊の機を與へなかつた、同回裏において中川金の選球よろしく四球に出で中川の遊擊グランド・ヒットで一點を入れ試合を高潮に導く、第七回において高須の二飛を安藤兄が走る片岡にタッチしたのは老巧安藤とうなづかせる、上條は三本目のヒットを安藤の頭上に打つて意氣を示し一擧四點を取る端を開く實業、ラッキーをつかまんものと奮起す木下二遊間を拔き中島二壘に進み續いて三盜をして三一壘間に寄つたとき木下は片岡の肩を恐れてか二盜しなかつたが次の攻擊を有利に展開するために思ひ切つて二盜を計つた方がよくはなかつたか、況んや津田の遊飛失中川の三飛失と續き僅かに中島一人生還せしのみにおいておや、八回兩軍無爲實業最後の攻擊も空しく僅かに木下の三壘打で掉尾の一擊を與へしのみ

試合漸やく高潮　優れた打擊力が　滿俱の勝因

結局戰は、打擊において優れる滿俱の勝となると同時に、チャンスメーカーとなるべき人のなきを感む今回の實滿戰を通じ實業側はもつと若い選手を使ふ方がよくはなかつただらうか、安藤（兄）中島兩選手もやう凄みが缺けて來た日本有數の長命選手も時流に逆ふことは出來なくなつた、この點實業も今回の試合で感じたやらう、年一回の實滿戰のために實業後援會の助力を希ふや切なりである

榮冠を得た滿俱軍

【寫眞】上右は滿俱疋田の生還、同左は高柳本社長の優勝カップ授與、下は滿俱選手

（實業）

守備	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
7	中川（武）	4	1	0	0	0	1	1	0
6	宮武	4	0	0	0	0	0	0	2
2	渡邊	2	0	0	0	0	1	0	1
2	武井	2	0	0	0	0	0	0	0
9	中川（金）	4	1	1	0	0	0	0	0
31	岩瀨	4	0	1	0	0	0	0	0
13	源川	4	0	2	0	0	0	0	1
8	中島	3	1	0	1	1	0	0	0
5	立石	2	0	0	0	0	0	0	1
4	木下	2	1	2	0	0	0	0	1
4	安藤（兄）	2	0	0	0	0	0	0	0
6	津田	1	0	0	1	0	0	0	1
	合計	34	4	6	2	1	2	1	7

（滿俱）

守備	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四死	過失
5	吉野	5	0	1	0	1	1	0	1
3	疋田	4	1	1	1	0	1	0	0
8	芥田	5	1	1	0	1	0	0	0
2	片岡	5	0	1	0	0	1	0	0
7	高須	4	1	0	0	0	0	1	0
6	上條	5	2	3	0	2	0	0	3
4	鈴田	2	0	0	0	0	0	0	0
PH	中井	1	0	0	0	0	1	0	0
4	時任	2	1	0	0	0	0	0	0
9	綠川	4	2	2	1	1	0	0	0
1	山口	5	0	3	0	1	0	0	0
	合計	42	8	12	2	6	4	1	4

▲二壘打山口一
▲三壘打疋田、木下一
▲試合時間二時間三十五分

水原審判の談　實業は不運なゲーム

球を見るのに氣を取られてゲームなぞを見る暇はなかつたのですが兎に角二回共流石に好いゲームだと感心しました、第一回戰で滿俱藤枝投手の球はスピードはさうもなかつたのですが良くコーナーに入つてゐたに反し實業岩瀨投手の球はスピードはありましたがシュートの球が皆眞中に入つて來たゝめあゝした結果になつたのでせう、何れにしても一回戰は實業に不運なゲームだと考へました、二回戰ですか？それはまあ高須さんに

高須審判の談　熱心なプレーに感心

滿俱のバッティングにはむらがなかつたな、その結果とでも言ひませうか滿俱には安打の出るべき時に安打が出たのであゝした結果になつたのでは無いでせうか、源川君の出來なども決して惡くなかつたと思ひます、その反對に實業には到々安打の出る可き時に安打が出ませんでした今日のプレーで感心したのは六回疋田君の遊撃を宮武君が捕つて三壘走者を挾んだ快プレーでした、兎に角兩軍の熱のあるプレーには實に感心させられました、これが大連のチームを强くする最も大きな原因と思ひます

各投手成績

	山口	源川	岩瀨
回數	9	3	6
打者數	37	15	29
安打數	6	6	6
三振數	2	0	4
四球數	1	0	1

個人打擊率

	選手	打數	安打	比率
滿俱	上條	9	5	.555
	片岡	9	4	.444
	山口	7	3	.428
	綠川	8	3	.375
	高須	8	3	.375
	吉野	9	2	.222
	疋田	10	2	.200
實業	源川	5	3	.600
	岩瀨	8	3	.375
	中川金	9	3	.333
	宮武	8	2	.250
	渡邊	4	1	.250

試合經過

（滿俱）

回數	得點	安打	敵失	殘壘
一	0	1	0	1
二	2	3	1	1
三	1	2	0	1
四	0	1	1	1
五	1	1	1	2
六	0	1	2	2
七	4	3	1	1
八	0	0	0	0
九	0	0	1	1
計	8	12	7	10

（實業）

回數	得點	安打	敵失	殘壘
一	0	0	0	0
二	1	2	1	2
三	0	0	0	0
四	0	0	0	0
五	0	0	0	0
六	1	1	0	0
七	1	2	2	3
八	0	0	1	1
九	1	1	0	1
計	4	6	4	7

▲第一回　滿俱吉野遊擊右に單打し疋田のバントに二進したが芥田左飛、片岡遊備△實業中川中飛、宮武遊備渡邊二備（兩軍零）
▲第二回　滿俱高須中飛上條中前單打鈴田右飛後上條二盜綠川左翼線に單打して上條生還左翼の送球を渡邊後逸して綠川一擧三壘に據り山口も右前に單打して綠川生還吉野の遊備に止んだが滿俱二點を先取△實業中川金遊備暴投に生き（渡邊代走）岩瀨の三綬備は內野單打となつて走者一二壘に據る源川投備强襲單打して無死滿壘中島の左邊飛に渡邊生還立石の投備に走者二三進したが安藤兄投備（滿二實一）
▲第三回　滿俱疋田第一球を左中間に三壘打し芥田の遊擊右の單打に生還片岡左飛後芥田二盜高須左飛上條投備△實業中川左飛宮武三備渡邊三振（滿一實零）
▲第四回　滿俱（實業岩瀨投手、源川一壘武井捕手となり渡邊退く）鈴田の遊飛宮武好捕し綠川右前單打山口の三備に綠川二進したが吉野三振△實業中川金三備岩瀨遊備源川二備（兩軍零）
▲第五回　滿俱疋田中飛芥田の遊擊强備野手トンネルし更にこれを中堅手逸して芥田長驅生還片岡見逃して三振高須四球上條三
遊間單打して高須二進PH中井（鈴田の代打）三振△實業（滿俱鈴田退き時任二壘に入る）中島中飛立石二飛安藤兄二備（滿一實零）
▲第六回　滿俱綠川三備山口右翼線に二壘打し（片岡代走）吉野の三備惡投に三進吉野二盜疋田の遊備に片岡三本間に挾まれ此の間吉野三壘疋田二壘を占めたが芥田中飛△實業中川四球宮武中飛武井投備して中川二進中川金遊備不規則バンウドの單打して中川生還中川金は一擧二壘を盜まんとして投手からの送球に刺さる（滿零實一）
▲第七回　滿俱片岡三壘單打高須の二備安藤取つて走者にタッチ上條二壘左を拔いて高須三進上條二盜時任の遊綬備野手ファンブルして高須生還上條三進時任は二盜し尚ほ一死走者二三壘に據る上條と綠川とのスクイズ成つて上條生還更に安藤この球を取つて一壘に投じたが一壘手逸して時任も生還し綠川二進、山口左前に單打して綠川も生還片岡（山口の代走）二盜吉野二飛疋田三振△實業岩瀨遊備源川中前單打中島の遊備に源川封殺PH木下（立石の代打）見事中前に單打して中島二進更に津田安藤に代つて立つ中島三盜に生き津田の遊備上條トンネルして中島生還木下二進中川の三備吉野も逸して二死滿壘となつたが宮武の投强備に止む（滿四實一）
▲第八回　滿俱（實業立石安藤兄退き木下二壘津田三壘に入る）芥田遊備片岡高須三備△實業武井中飛中川金三備岩瀨遊備失に生きたが源川投備（兩軍零）
▲第九回　滿俱上條三備失時任左飛綠川の二備に上條封殺綠川二盜山口投備△實業中島中飛木下左越ワンバウンドで觀覽席に入る大三壘打し津田の中犧飛に生還中川三振に萬事休す

數百萬の鼠の群　南方蒙古に襲來　ペスト流行の危險

【ハルビン特電十三日發】數百萬の灰色をした鼠の大群が數十露里のロシヤの平原アルグン河の北から南へ沿岸の耕作物を全部喰ひ荒して移動しつゝあり、農民は不作を豫想し大恐慌を來してゐる、六月一日にはネルチンスク附近に現はれ既にダライノール南方蒙古領にも襲ふて來たがこれがためペストの危險ありとされてゐる

手工ナイフで學友を殺す

【長崎十三日發電】南高來郡布津村字木場村會議員吉岡長藏長男同村小學校補習科生徒長一（一七）は十三日放課後同校高等科二年生同村硯濱治三郎四男精一（一五）と連れ立ち歸路についたが途中で口論を始め手工ナイフで精一の胸部を一刺しにして即死せしめた

天業青年團講演會

大連天業青年團講演會は十六日午後七時から市內天神町大連女子商業講堂で開催されるが、當日の演題並に講演者左の如し

▲科學教育に弊害なし大連商業學校教諭平島大市氏▲神社と宗教大連第二中學校教諭川崎滿壽夫氏▲白色倫理運動と科學的國體主義大連商業學校教諭豐浦豐氏▲學生の歌謠と青年の氣風に就て大に考ふ可き必要なきか帆足經大氏

洋上の大航空戰　わが海軍機三十餘機

【橫須賀十三日發電】南洋飛行に成功した橫須賀海軍飛行隊の飛行艇四機は十三日父島をそれぞれ出發したが途中第二艦隊の艦戰十餘機航空母艦鳳翔の二十餘機と共に太平洋上にて凄まじい大航空戰を行ふ事となつた

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭は午前十時より執行されるが、當日は參拜者のため早朝より蔵神樂奉仕、御酒御出物の頒與ある筈

新鮮な氣分が生む　仕事への强い衝動

更生『滿鐵』の橫顏

嵐はやんだ、大正九年この方といはれる大滿鐵の屋臺骨を搖さぶり事業の組織と人間の配置を根本的に分解した嵐はもはや過ぎ去つた十三日の滿鐵は全く新しき橫顏を見せて、われ等の前に「今日の滿鐵」として起つてゐる馘首と異動におびえた暗い不安と動搖は全く消し飛んで安らかな落着きを取戾した「滿鐵人」が自信にみちた笑みを泛べて、けふ電車の中で社內の廊下で、散步の途上で、社員俱樂部の食堂で、眼かな挨拶を交換するだらう

×

だが、昨日この課の庶務主任は机上に電報用紙を睨みながらハルピンへ東京へ、上海へ「ザイシヤチウノゴコンゼウヲカンシヤス」の電報を飛ばすべく血走つた眼で忙しかつた、あの室の壁に掛けられた黑板はうら淋しい薄れた白墨で「本日〇時より〇〇課解散式」の文字を乘せてゐた、あはたゞしく不安な室內と廊下の足、足、足―課室を含んだ、おどくした囁、囁、囁、囁―うはずつた課長と主任の聲がやけに喧しいタイプライターの騷音の中にかち合ひ、かすれ飛び交つた、階段の踊で、廊下の隅で素早い「新課長に就いて」の會話がやりとりされ、うなづき合ひそして急に別れて、又別の一組がそれを始めた、住みなれた部屋に、使ふ人と使はれる人の間に、窓より瞰おろす植込みの青さに離れがたなき愛着と別離の哀傷はあらうものを……、それにしても昨日のけふにして如何に靜かに距りし「昨日」と「今日」であることよ

×

けふ、ペンキの香の新しい室名、揭示板に「總務部」「勞務課」又は「能率課」「次長室」等々……の新しい滿鐵を表示する文字が鮮かなカラーで記されて行く、これはけふからの滿鐵の「顏」である課長室では新課長が活潑に課內係の分掌規程と部屋割と引越について決戰中だ、人と人と人との關係が、氣分が生々と流動し、フレッシュな「執務」への衝動が人々を驅りたてる、新しい人、新しい椅子新しい仕事へ出發したのだ

×

新生の滿鐵、建直された滿鐵、若くなつた滿鐵、引き緊つた滿鐵のために記者は老總裁の健康と社員諸君の健鬪に對する「忠誠」をひたすら祈念してペンを擱く

失業救濟策に　土木事業を起せ　政府間に意見有力

【東京十三日發電】失業救濟策につき安達內相は十三日の閣議にて失業防止委員會の各委員の意見を詳細に報告の後種々意見の交換を行つた結果、政府としてもこれが應急對策として土木事業を起すべしとの意見有力となつた、而して右土木事業起工に伴ひ財源として公債政策に考慮を加ふべき事となり近く閣內首腦部間にて公債政策變更につき根本方針を決定する事となつた

自轉車で　世界を一周　これから日本へ渡る　佛青年ハルビン着

【ハルビン特電十三日發】千九百二十七年佛國リヤワルダック市を出發し自轉車で世界一周の目的でドイツ、チェッコ、オーストリア、ペルシヤ、ルウマニアを經て露國に入り言葉の解らぬのと路の惡いため一日十五露里の速力で黑海、アゾフスカヤ、ルイムを經てカフカズからトルキスタンに出でやうとしたがゲペウに阻止されシベリアを橫斷して十日來哈した佛人リュウシエン・ペエレル（二八）は、エスペラント語宣傳のため數日滯在東支線で浦鹽に出で日本に向ひそれから南支那、印度、ペルシア、トルコ、イタリーを經て歸國すると語り、鐵道線路上を走る事の出來る車輪を作り興安嶺トンネルを拔けて來たと

愛知一中盟休

【名古屋十三日發電】愛知縣立第一中學校五年生百五十名は十三日同盟休校を開始した理由は去る六日海軍飛行學校に轉任の吉田教諭の赴任を見送らんとして教頭中山教諭がこれを阻止した爲め生徒は中山教頭排斥を企てゝ茲に至りしものである

三浦內務局長ら甘井子視察

十三日午後三浦內務局長は水谷地方課長、中村遞信局電氣課長並びに折よく來連中の內田芝罘領事等と岡本海務局長の東道の下に海務局檢疫船にて甘井子築港視察に赴いた

實母の頭を手斧で割る　己は火見櫓から飛降り自殺

【靜岡十三日發電】靜岡縣磐田郡於保村字五十子一七寺田勘吉（三四）は十三日午前四時ごろ熟睡中の實母シカ（六二）を突然手斧を揮つて腦天に一擊を加へ瀕死の重傷を負はせて戶外に飛出し一丁半を距てた火見櫓に上り高さ三丈の高所より飛下り自殺を遂げた、急報により所轄署より係官出張し原因その他取調べ中であるがシカは生命危篤である

火鉢を投げ父を殺す

【長崎十三日發電】南高來郡布津村農松下友治（三〇）は十二日夜父の鐵三郎と口論の末直徑二尺餘の瀨戶物火鉢を鐵三郎に投げつけて即死せしめた原因は自分の妻カノ（二五）と父の仲が惡く喧嘩の絶え間が無かつたが同夜もこの事から口論し遂に實父を慘殺するに至つたものである

木田少將令孃殺し死刑確定

【東京十三日發電】木田少將令孃殺し犯人豫備陸軍少尉杉山鐵太郎は一二審共死刑を言ひ渡されたが犯行を否認して服罪せず上告中の處十三日上告棄却を言ひ渡され杉山鐵太郎の死刑は確定した

妙高丸釋放

【新潟十三日發電】密漁の嫌疑でロシヤ官憲に拿捕された新潟縣水產指導船妙高丸は十三日午前二時釋放され浦鹽より新潟に歸港の途に就いた旨入電があつた

「日活現代劇臺本より」
この母を見よ（三二）
崎面座同人構成

A號3—7
T・祥子

扉は今迄の出來事に關心なく冷たく閉ざされてゐる。

その閉ざされた扉に外套の襟を深く立てゝ忍び足に等の姿が、ぼんやりとした影を投げて立ちはだかつた。

等は、人生を賭けた戀の箭がどんな的を射て見たか——戀は一杯に期待を孕んで戰く……何にか知ら其の物言はぬ扉に觸れるのが恐ろしい。

彼は、こつそりと胸に十字を切つた。

コツ……コツ。

等は靜かに扉をノツクした。

答がない——。

再び、三度……だが部屋の中から響ずる跫も物音もやつて來ない——聽耳を立てると忍び音に泣いてゐる聲がする、而も確に千呂の聲だ！

瞬間——。

等の全身に暗い豫感が走つた、しんと頭の芯が冷て行くような鼓動が彼の後頭部を蹴りつけた。

そう感じると、彼は無意識の中に扉をあけて叫んだ。

「おい、千呂！」

だが千呂は身動きもせず電氣燈の前に後向きに立つた儘、答へようともしない。

「ねえ、千呂！」

等は歔欷いてゐる千呂に近づいて行つた。

「あの女は？」

千呂は振り向きもせず傍の卓子の上の酒瓶から、立て續けに琥珀色の液體を二三杯あふつた。

「ね、千呂、一體あの女、どうしたんだえ？」

等は性急に倭子の事を問ひ詰めて來る——千呂は始めて等の顏を振り仰いだ、蒼ざめて、醉に燃る醜い顏だ……。

ふん——。

千呂は、その顏をじつと眺めてゐると自ら嘲笑に似た笑が口邊に湧ひ上つて來るのを感じた。

でも等さん
かういふお話は
——ちあないわ
すべて『人生のお話は』
——と言ひ換えませうか

憎々しい程落付き拂つた千呂の言葉が、等の苛々とした氣持を一層騒立てる樣に、ゆつくりと吐き出されて行く……。

お酒の——でなかつたら
浴槽の中で
そんな處が最もふさわしいやうですわ

そう云ひ終ると、急に千呂の顏に眞劍な表情が浮んで來た。鋭く等の顏を凝視めながら。

そうぢやなくつて？

問ふでもない——答を待つでもない聲——鋭く等の顏を凝視してゐたが、不意に眼をそらして首垂れた。

そして千呂は部屋のなかを歩き廻つてゐる。

だが等はそうした千呂の狂氣染みた言葉などには全く無頓着に、唯もう倭子が歸つて了つた事を知ると、じつと其處に居る氣持にはなれなかつた。

僕はあの人を探さなければならない

そう言ひ捨ると部屋を飛び出した。

千呂は、ちらりと等の後姿に眼をやつたが、何の關りもない人の姿をでも見るように——又默々と首垂れて、靜かに窓の縁に足を運んで行つた。

粉雪が窓に淡い音を立てゝゐる——遠い夜空の一角に街の灯が仄んやりと滲んで……ふと、此の瞬雪のなかを一散に走つて行く倭子の惨めな姿が浮んで來た。

と、突然、扉口に等が現れた。白粟に帽子とステッキを床の上に投げつけて叫んだ。

都會は森林のやうなものだ
あの人を尋ね出す前に僕の方で又あの人を忘れてしまふかも知れない

等は昂奮して氣忙しく歩き廻る——その姿を眺めてゐる千呂の眼と、苛立たしさに落付きを失つた等の視線が、ぱつたりと卓子の上に置かれた白い冬薔薇の花びらの上でカチ合つた。

火花の散るような視線と視線は何故か二人の感情を互に探り合つた、二人は聲もなく、各々の硬ばつてゐた氣持が寧ろ可笑かつた。どちらからともなく笑ひ合ふのだつた。

千呂は何時までも身もだえしながら甲高い聲で笑ひ續けてゐる。

等は醉ひに呆れたように千呂の笑顏を睨いてゐた。

千呂は窓に向いて笑ひ續ける。

戸外は冷え冷えと粉雪が降る。

【寫眞は大原仁美、入江たか子】

滿日文藝　滿日柳壇
『パラソル』

大連　三　悶
パラソルの下に二人の影が浮き
パラソルを持てあましてる滿員車

奉天　友　月
パラソルが荷厄介になる俄雨
留援歌パラソルが來て威勢なり

大連　木の丸
パラソルもなく陽に燒ける共稼ぎ
パラソルを買つてさせない日が續き

旅順　松　風
見るもの丶總にパラソルさし
スタンドのパラソルへ野次飛んで來る

大連　佛　心
揃ひのパラソル模樣だけが見え
口笛へパラソル向ける若い妻

大連　子　禾
パラソルへ聲の届かぬ程唄ひ
パラソルへ巧く言ひよるカメラマン

大連　淀　月
パラソルの列んで狹い石疊

遼陽　花　鵰
パラソルの通り越してから覗き
ぶつかつた儘パラソルにて隱し

大連　治　子
パラソルへ思ひ／＼の趣味を見せ
野球場目立つパラソル指さゝれ
パラソルの褒められたゞけ若く見せ

大連　芳　坊
パラソルの横から覗るゝ笑ひ顏

旅順　柳　月
値切られた車夫パラソル高い聲
パラソルを買そ入梅期に這入り

旅順　む　ら
パラソルが揃ふて廻し廻し行き

立山　立　春
パラソルへモダンの顏が浮び
鮮やかなとこパラソル橫に通り抜け

(日刊) 夕刊 滿洲日報 六月十三日

滿鐵の新職制に伴ふ人事大異動けふ發表
けさ仙石總裁の決裁を經て

滿鐵新職制の人事配置は十二日午後の重役會議において決定十三日午前九時總裁の決裁を經て午後二時發表された職制の十二部は各部長に副總裁以下各理事を當て部長のもとに十二名の職員次長を据へ次長の下に四十九課長、東京支社長、哈爾賓事務所長の下に各二課長定合計五十三課長の任命を見た、木村總務部次長兼庶務課長中西人事課長、伊藤運輸課長、栗野地方課長、築島炭礦部次長、富永製鐵部次長等は何れも榮轉組とされてゐる

總務部長 大平 駒槌
次長 木村 通
庶務課長 木村 通
文書課長 岡田 卓雄
人事課長 中西 敏憲
審査課長 市川 健吉
考査課長 中山正三郎
調査課長 佐田弘治郎
勞務課長 二村 光三

計畫部長 大藏 公望
次長 向坊盛一郎
業務課長 小澤 宣義
技術課長 根橋 禎二
監事課長 田所 耕耘

交渉部長 齋藤 良衛
次長 石川 鐵雄
渉外課長 山崎 元幹
資料課長 石井 成一

經理部長 神鞭 常孝
次長 竹中 政一
會計課長 長山 七治
主計課長 三宅亮三郎

鐵道部長 藤根 壽吉
次長 鈴木 二郎
庶務課長 酒井淸兵衛
經理課長 市川 數造
旅客課長 下津春五郎
貨物課長 伊澤 道雄
運輸課長 太田 久作
工務課長 山領 貞二
保安課長 山岡 信夫
運轉課長 伊藤 太郎

炭礦部長 大平 駒槌
次長 築島 信司
庶務課長 大垣 研
採炭課長 久保 孚
機械課長 國松 緑
化學課長 岡村 金三
經理課長 石橋 米一
電氣課長 大橋 頼三

製鐵部長 大平 駒槌
次長 富永 能雄
庶務課長 久留島秀三郎(兼)
製造課長 梅根常三郎
工作課長 矢野 耕治
探礦課長 久留島秀三郎

販賣部長 神鞭 常孝
次長 小川 逸郎
庶務課長 金田 純一
石炭課長 林 正春
銑鐵課長 三溝 又三

殖産部長 大藏 公望
次長 武部治右衛門
庶務課長 小須田常三郎

商工課長 五十嵐保司
農務課長 松島 鑑
中央試驗所長 世良 正一

地方部長 大藏 公望
次長 山西 恒郎
庶務課長 土井 顯
地方課長 栗野 俊一
衞生課長 金井 章次
學務課長 栗野 俊一(兼)

工事部長 藤根 壽吉
次長 佐藤 俊久
庶務課長 由利 元吉
土木課長 郡 新一郎
建築課長 靑木菊治郎
築港課長 桑原 利英

用度部長 神鞭 常孝
次長 白濱多次郎
庶務課長 白濱多次郎
購買課長 鹿野千代槌
倉庫課長 佐久間 章

東京支社長 大淵 三樹
庶務課長 平山 敬三
經理課長 橋本戊子郎

哈爾賓事務所長 宇佐美寛爾
庶務課長 前田 孝義
運輸課長 石原 重高
上海事務所長 石本 憲治
奉天公所長 入江正太郎
理學試驗所 渡邊猪之助
鐵道工場長 野中 秀次
埠頭事務所長 羽田 公司
長春地方事務所長 大岩 峯吉

高級社員の勇退者百三十名に上る
けさそれぐ\内命

本俸百五十圓以上の高級社員の中待命乃至退職を命ぜられた主なる者は左の四十六氏であつた

參事 福田 稔
參事 和田 九市
參事 増永茂重郎
參事 井上 致也
參事 永雄 策郎
參事 鹽谷 利濟
參事 長濱哲三郎
參事 濱田 信哉
參事 山内 勝雄
參事 米國 昌策
參事 石田 藤八
參事 島田 好
參事 小林 清造
參事 守瀨與三吉
參事 淸水京太郎
參事 西野陸奥太郎
參事 浦島 榮吉
參事 松屋 盛男
參事 貝瀨 謹吾
參事 永田 鐵夫
參事 平澤 儀平
參事 内丸 勇
參事 古仁所 豐
參事 佐々木盛一
參事 足立直太郎
參事 新井 信次
參事 早川 正雄
參事 船田要之助
參事 佐藤 恕一
參事 牛島 烝
參事 土肥 隆
參事 高宮元三郎
參事 川上 又治
參事 田村 羊三
參事 神田 勝亥
參事 栗原 廣太
參事 藤本 恵
參事 伊東 四郎
參事 千秋 寛
參事 軍司 義男
參事 吉原 大藏
參事 松井 豐治
參事 保々 隆矣
參事 平野 正朝
參事 長谷川貞三
參事 吉富 英助

右のほか八十四名の高級社員勇退者あり高級社員の退社總數は合計百三十名である、而して右四十六氏は十三日午前九時總裁室應接間に於て仙石總裁よりそれぐ\内命を與へられた

待命者の待遇條件

十三日午前十時から應接室に參集して待命の内命を受けた參事級の高級社員四十六名に對し大平副總裁より示した待遇條件は
一、一ケ年間待命とし右期間本俸及宿舍料の全額を給與す
一、待命期間中に退職を願ひ出る者に對しては本俸一ケ年分の退職手當を給與す(以下略)

職制改正は仕事の準備のみ
これから懸命に働く
仙石總裁の感想談

仙石總裁の昨夏就任以來社内、外を問はず久しくその經綸發現のために翹望されてゐた滿鐵の職制改正並びにそれに伴ふ人事の大異動は愈々發表されたが十三日午後一時過ぎ記者團を總裁室に引見して左の如き感想を洩らした

職制改正とそれに對する人事の配置は先づ終つた、然し君達がやかましくいふやうに別に大仕事が終つたわけではない、ただ庖丁を研いだだけである、どんな料理ができるかはこれからの問題だ、これからその本當の仕事をしなければならぬ、今度の人事の銓衡にあたり何か方針があつたといふのか?そんなものは別に無い、比較的ひまな人に或は辭めて貰つたかも知れぬ、今日は社長一人で仕事がやつて行ける時代ではない、社員は今後協力して仕事を一生懸命やつて貰ひたい、今回の人事異動に際して失業問題を考慮したかといふのか?失業は今日全世界の難問題だ、しかし一人の高給の代りに十人の生活の安定するこ とも考へねばなるまい

神鞭理事上京
總會準備の爲

滿鐵理事神鞭常孝氏は十三日出帆はるびん丸で來る二十日東京において開催の滿鐵株主總會に出席の爲め乘船上京したが

【寫眞】右上より大平、大藏、神鞭、藤根、齋藤中上より佐藤、木村、向坊、石川、竹中

走馬燈
荻川

支那(其七)

故張作霖は、政治に民意の伺ふべきを知り、自己勢力伸張の爲なりしならんも、自治と云ふことによつて、巧に其民意を收攬し、これと共に自己勢力範圍内に流通する外國資金を、吾も民衆と交はつて、これを吸收することを忘れなかつた、彼の成敗に幾多の議論はあるが、其の成功は如上に基き、其の失敗は、薬々それが自己本位なりしゆえに、成功と同時にそれを忘れしに因る、併し一時にせよ、東三省はこれで溌剌たる生氣を示した。

◇

そうして或者東四省當局の恐るゝ外國の勢力の侵入などが、之によつて何等の惡影響を、東四省に殘して居らぬではないか、否々、寧ろ極めて良好なる結果を擧げ居るものに、特に鐵道なんかを數ふべしで、東四省に於ける鐵道敷設熱、赤其實現は支那全國に冠たり、之を斯うしたところに持つて來たりしは、初め外國資本をこゝへ吸收したからであつて、東四省現在の經濟的膨脹も之から來て居れば、其赤膨脹が東四省の財政を支へて居ることも事實である。

◇

東四省當局はこゝに目覺めよしや、然るに動もすると彼等の政策は之と背反し、何んでも外國と云へば、之を排斥さへすればそれが手柄の如く考へて居ることそ笑止千萬なり、尤も國産奬勵の見地に立つて、外貨輸入を防止するなぞは悪からう筈はないが、それと外資吸收などを混同して居るところに、まだく政治的識能の錬れてない點を認むる、外資ばかりじやない、外智に於て然りで、誰が鐵道に走つたから、此鐵道につき云はしめよ。

東四省には、日本の鐵道がある、露支合辦の鐵道がある、それに支那の鐵道と云つたように、色んな鐵道もあるが、之を人體に譬ふるなら血管、鐵道は地方の血管なる大切の役目を持ち、そこに國籍別をなす必要はない、あるだけのものが阻滯なく動くところに、愈々以て地方の繁榮が培はれる次第で、此點から觀て、東四省當局の鐵道政策は甚だ拙い、加ふるに自己鐵道の經營如き、まだく地方を益すべきに、まだく收利を見るべきに、捨て之を顧みぬとは憐れ、そこに奚ぞ外智を採らざるか。

在滿鮮人の歸化に外相は反對の意見
國策を矛盾するとて

【東京十三日發電】拓務省は支那官憲の在滿鮮人迫害問題解決の爲め朝鮮に國籍法を施行し鮮人に歸化權を附與するに方針を決定朝鮮總督府側と協力して準備を進めてゐるが最近幣原外相が
一、滿蒙發展の先驅者たる在滿鮮人に歸化權を附與して國籍離脱を許すはわが滿蒙國策を矛盾す
一、在滿鮮人の思想取締上支障を來す
一、支那官憲を刺戟し對日感情を惡化せしむ
等の理由で反對說を唱へ問題の解決にはまだ言明の限りではないが別に腹案ありと稱してゐる事實に徴し歸化權附與問題の解決は相當困難視さるゝに至つた

整理だとか何だとかこちらの方も忙がしい、一日も早く上京しなくてはならないので大急ぎで出發する、目的は總會に出席する爲で約一ケ月の豫定で歸つて來る

不況打開に生産公債を發行
政府の方針大體決定

【東京十三日發電】財界の大不況と國庫歳入の激減に直面した政府は當面の急務として財界恢復策を講ずべしとの見地から濱口首相、井上藏相、江木鐵相等の間に種々考慮を重ねるに至つた、而して閣內大體の意見は此不況對策として
一、財界不況に基く必要以上の人心の萎靡を一掃する事
一、生産公債は限度を極めて發行し從來の公債政策を變更す
一、關税の改正
の三方針に一致してゐると

勞働組合法案と政府の方針
獨自の見解を執る

【東京十三日發電】政府は十二日日本商工會議所の勞働組合法案反對陳情を受けたが十二日濱口首相安達內相會見の結果資本家側にも勞資の鬪爭を激發する點多く政府は獨自の見解を固く執つて進む事に意見の一致を見た

各省復活要求

【東京十二日發電】十二日午後各省はそれぐ\省議を開き大藏省の節約案に對し復活要求額を決し今明日中にそれぐ\大藏省に通達の筈なるが、各省の復活要求額は左の如くである(單位千圓)

文部省
繼續事業費中 五六〇
物件費中 三四〇
計 九〇〇

遞信省
經常部中 約二,〇〇〇
臨時部中 約二七〇

外務省
東京…費 約五〇〇
計 約二,七〇〇
約四〇〇

財部海相に自重要望
安達內相より

【東京十三日發電】安達內相は十二日午後七時半濱口首相を官邸に訪問し午前中財部海相と會見したが條約善後諮詢、新國防計畫樹立等の問題ある際自重を求めたるに海相も輕擧せざる旨語つたと報告する處あり內議約一時間にして辭去した、尙安達內相は同夜の自邸にて午後九時より小泉遞相と會見する處あつた、遞相は軍縮剩餘財源の振り當てを藏相及び海相に要求してゐるので內相はこの間の折衝に努めたるものと見らる

軍令部長事務引繼

【東京十三日發電】谷口新軍令部長は十三日午前八時東京驛一旦水交社に入つた後午前十時軍令部に登廳加藤前部長と事務引繼を行つた、斯くて加藤大將は海軍部內一同の哀惜離別の情に感激しながら十時三十五分退廳した

兩廣の妥協成立
南京側不利となる

【北平十二日發電】確實なる消息に依れば廣東の陳濟棠氏は李宗仁張發奎兩氏と妥協して廣西は黃紹雄氏に一任し雲南、貴州共に反蔣側に傾いて來た、然して湖南軍の三分の二は廣西軍に加擔し南京側に有利ならず廣西は殆ど共產軍に蹂躙され四川も大勢は反蔣に傾き今や完全に蔣氏の命令を奉ずるのは浙江、江蘇兩省及び安徽湖北の一部に過ぎず南京政府は武漢濟南の陥落が最後の總決算の口火となるものと注目されてゐる

馮氏妥協說は眉唾もの

【上海十二日發電】馮玉祥氏の妥協案につき軍事通は閻錫山側の策略で或は馮氏が蔣氏の肚を探らんとするものでないか又閻馮離間策の宣傳であらうと見てゐる

若槻全權一行西湖遊覽

【上海十三日發電】若槻全權一行は蘇州行の豫定を變更し十三日朝南京政府の命令で仕立てられた特別列車で杭州に赴き西湖の名所を遊覽することゝなつたが、浙江省主席張靜江氏は特に南京より杭州に急行し一行のため午餐會を開く筈

韓氏國際關係を利用

【北平十二日發電】閻錫山、韓復榘兩氏の攻防兩首領が何れも濟南在留外人の保護絶對安全を言明してゐるので外國側もこれ以上手の下し樣なく總攻擊とならば青島に避難させるを得ず且つ韓復榘は複雜なる國際關係を利用して事態を自己に有利に導かんとしてゐるので一層始末惡く關係國側も手古摺つてゐる

中央の和平解決策
奉天派に調停通電を發せしめ蔣氏等下野し汪兆銘氏を迎ふ
南京首腦會議で決定

【南京十二日發電】確實なる支那側消息に依れば蔣介石氏は本日午前十一時飛行機で歸京後直に官邸で張靜江、胡漢民、戴天仇、孫科、陳果夫、譚延闓氏等の要人と緊急會議を開きその結果時局は平和手段で解決することに決した趣きで、これがため國民黨元老張繼氏は直ちに奉天に急行し、張學良氏と會見することゝなつた、中央政府と張學良氏との間には目下奉天に在る李石曾氏を介し時局和平解決に關し相當諒解を遂げた模様で本日の緊急會議は左の和平解決手段を決定した
一、張學良、萬福麟、張靜江、湯玉麟四名の連名を以て閻、馮の巨頭連に對し停戰勸告通電を發し、若し反對する者ある時は之に對し東三省は武力を以て調停する旨表示す
二、張靜江、李石曾、吳稚暉等の元老は同時に通電を發して時局は政治的手段に依つて解決することを聲明し、右解決策として蔣介石、胡漢民氏は下野し汪兆銘に乞ふて時局解決まで中央政府を組織せしめ、將來の時局拾收策は南京に全國々民會議を招集して解決することを宣布す

うらる丸

十四日午前七時五十分大連港外着豫定

人事

▲內田五郎氏(芝罘領事) 六月十二日來連ヤマトホテル滯在六月十四日夜歸罘
▲山內豐中氏(侍從武官海軍大佐) 十三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲神鞭常孝氏(滿鐵理事) 同上
▲島井滿藏氏(貿易商) 十三日上り機にて大阪へ
▲鈴木仙太郎氏(貴金屬商) 同上
▲小村俊夫氏(東亞土木社員) 同京城へ

大觀小觀

離合集散、それも一事、これも一事。

◇

去るものは深く、留まるものは歎々と、滿鐵社業の達成に努むべきである。

◇

これで滿鐵の陣容も整つたといふもの。

◇

これからは、この陣容を以て、滿蒙の經濟的開發に驀進すべきのみである。

天氣豫報

十四日(南の風) 曇時々晴
滿潮 午後 零時十分
干潮 午前 五時二十分 / 午後 六時五十五分

我哈爾賓總領事館襲撃の不逞鮮人を釋放す

日本側の犯人引渡交渉を認めず 支那側へ嚴重抗議

【ハルビン特電十三日發】メーデーに我が領事館を蹂躙した不逞鮮人三十二名中支那官憲は我が領事よりの犯人引渡しを認めず二十四名を十日密かに釋放した、殘り八名も吉林へ送る模樣に我總領事館から嚴重抗議したが一味の內には支那學生と聯絡あること明かとなつた

大連タクシー業 強制組合法 愈よ近く發令されん

オール大連タクシー業者が出願してゐる強制組合問題は其後關東廳保安課に於て審議中のところ強制組合設立の基礎となるべき自動車取締規則の改正、即ち「組合に加入せざれば營業を爲すことを得ず」の一項目を挿入するに決定し既に草案の完成を見るに至つたので、近く廳令を以つて強制組合法の發令を見ることゝなつた、從來の

任意組合 から強制組合に生れ變る大連タクシー界にはいろ／＼の意味で相當大なる影響を及ぼすものと見られてゐるが、從來タクシー界紛糾の原因をなしてゐる料金問題が強制組合によつて完全に統一される譯で今後の大連タクシー界は賃金戰から車體戰及びサービス戰に移るものと見られてゐる

高松兩宮 佛領アヴィアン市を御見物

【スイス・モントルー十二日發電】高松宮同妃兩殿下には今朝ボートにて佛領のアヴィアン市を御見物あらせられ、歸途は自動車にて當地御宿舍パレース・ホテルに入らせられた、十三日發ベルリンに向はせらるゝ筈である

ヘレン殿下の皇后冊立公表

【ブカレスト十二日發電】本日カロル殿下王位繼承權復活せるため前妃ヘレン殿下の皇后として冊立の件が公表された、これはカロル陛下との御和解の前兆であると見られてゐる

山內侍從武官けふ離連歸京

畏きあたりの令旨を奉じ遣外艦隊乘組員の執務情況、健康狀態を視察慰問中であつた侍從武官山內豐中海軍大佐は十三日午前十時出帆のはるぴん丸で仙石總裁、神田民政署長、永井市助役、市內各警察署長、永沼憲兵分隊長、佐藤運輸所長その他の見送りを受け歸京の途についたが語る

青島、芝罘方面の遣外艦隊慰問並びに軍狀視察に來たものだが本年は各隊頗る衛生狀況よく傷病兵の少なかつた事は非常にうれしく感じた、また執務狀態も頗るよく、こちらは平穩とはいへ支那の時局があんなのだから緊張し切つてゐるのを目の邊り見て結構な事と思つた、歸つたら早速奏上する積りである

滿鮮支教育視察團來連 「支那を正視せねば」と

十三日天津より入港の濟通丸にて文部省主催の鮮滿支那教育視察團が茨城縣視學友部幸之助氏を團長として一行十三名來連したが一行は朝鮮より奉天を經て北平、天津を視察して來連したもので、これより更に青島上海方面に赴き具さに支那事情を視察して長崎經由歸國するのであると一行は交々語る

天津北京に行つて眞實の古い匂ひの支那といふことを見て來ましたが、丁度時局の動きのやかましい時だけに支那らしい感興もわき頗る參考になつた、文部省では毎年この視察團を組織してゐるが、こちらの方へはもつと續々來なければ嘘だと思ふ、歸つたら出來る丈け宣傳するつもりだ、そして支那を正視する事が必要だと思ふ

支那側に徹底的 防火宣傳を 小崗子署が公議會と協力

小崗子署では過般の露天市場及び支那饅頭商の火災による慘事に鑑み小崗子公議會董事十名に對し防火宣傳委員を囑託し、數日前より支那側に對する防火宣傳方法について打合せ中であつたがいよ／＼十四日午前八時より公議會及び小崗子消防分署の後援を得て全管內一帶に亘つて防火宣傳を行ふと共に、全署員總動員のもとに「火災は如何に恐るべきか」との宣傳文を各戶に配達し、公議會員が路上において防火宣傳の演說をなす等徹底的に防火宣傳を行ふことゝなつた

帝國館と永善茶園 愈よ今夏、新築に取掛る

其他興行場は明春三月まで猶豫 近く改築命令を發令

關東廳有田保安課長は十二日原田大連署保安主任を招致し大連市內の活動常設館及び劇場の改築問題に就き種々事情を聽取し、何事か內命を下した模樣であるが、常設館の改築問題はグレート大連の衛生の點から見ても當面の緊急問題とされ、關東廳保安課では夙に當業者の自發的改築を慫慂して來たが、何分經濟問題の伴ふ難事業だけに容易にその期に達しなかつたところ、各地に起る頻々たる火災事件に刺戟され、今春來當局に於ても命令的改築の肚を定めその

發令期 は非常に注目されてゐた、その結果有田課長の原田大連署保安主任招致となつたものであるが、當日の兩氏會見內容をほのかに、關東廳ではさきに常設館及び劇場經營主を招致し口頭を以て改築命令を下した模樣で、帝國館と永善茶園とは本年八月頃から新築に着手するに決定、それぞれ新築認可の手續き中にて、年末興行に間に合すべく準備を進めてゐる、而して歌舞伎座、大連劇場、浪速館、演藝館、寶館、遊樂館は未だ方針未確定の模樣であるが、これ等のものに對する當局の

意嚮は 新築或は改築するには資金關係其他のため相當準備期間を要するので明年三月の解氷期まで猶豫を與へ、それまでにほ方針確定せざるものに對しては經營停止の斷然たる處分に出づる方針の下に近く正式文書を以て發令するものと見られてゐる、これを以て多年懸案とされてゐた改築問題は漸く解決を見、泣いても笑つても明年三月を過ぎれば新築或は改築に着手せねばならなくなつた譯で

全市の 常設館及び劇場改築の曉は市街美を一新するものと期待されてゐる

明治の元勳を連ねた珍重な宮中署名帳燒却

宮內省では明治大帝御晩年明治四十年頃より永らく宮中に藏せられてゐた內外の重臣名士等が宮中の賀宴又は御不例等の際參內の度毎に署名した貴重なる署名帳が五千六百餘部の多きに達したのでこれが所置について協議の結果、世間に出るのを慮り燒却することゝなり十一月から宮內省燒却場で焚き始めた、この署名帳の中には故伊藤、桂兩公を始め明治の元勳の署名した貴重なものが多い。

海邊

果樹取締規則の徹底に努む

關東州內で內地、朝鮮並びに州外から果樹、櫻、桑等の苗木を輸入する時は關東州果樹取締規則に基き所轄民政署の檢査を必要とするが、この趣旨が充分に徹底してゐないため檢査を受けずそのまゝ移植してゐる向もあつた、大連民政署では過般來これが調査中であつたが、管內で十四、五名の未檢査移植者のある事實を發見、十三日これ等違反者を呼び出し趣旨の徹底を期するため指示するところあり、なほ同時に未檢査苗木の檢査を開始した

駐屯軍傷病兵 武昌丸で內地へ

駐屯軍五月中の傷病兵四十二名は十三日午前十時出帆の武昌丸にて西村一等軍醫指揮の下に內地に送還された、なほ傷病兵の病別は左の如くである、胸膜炎三十名、肺尖炎七名、結核三名

問題の猛虎 やつと檻に 警官憲兵も應援し未曾有の騷ぎ

【東京十三日發電】京城より積出された猛虎を閉ぢ込めた下關發列車は汐止驛開設以來の大騷ぎ裡に十三日午前零時到着した、これより先き荷受人淺草千束町有武島獸店から持つて來た頑丈な鐵檻を用意して店員立會ひ、谷口驛長以下驛員十五名とそれに愛宕署から大和田警部以下二十五名出張、五名の拳銃を擬しほかに憲兵隊より憲兵二名應援異常の警戒裡に貨車の到着を待ち受けた、驛前は物見高い都人が黑山のやうにたかりこの馬鹿騷ぎの裡に猛虎を乘せた貨車は豫定の通り到着、驛員が掛でこの貨車だけを引離し午前零時十分には五番線に押し込んだ、貨車の中からは虎の唸り聲が夜陰に物凄く響くなど物恐ろしい光景を呈したが愛宕署員等が拳銃を突きつけ嚴重警戒裡に一時半事なく檻に納め一同ホツト安堵の胸を撫でおろした

小倉材木町全燒 損害數十萬圓

【小倉十三日發電】十三日午前二時十五分小倉市大正町一丁目材木街より發火し、市內消防組は勿論門司、戶畑、陸軍部隊その他の消防駈つけ消火に努めたが水道斷水時刻前とて水壓低く水利の便惡しきため、家屋五十個を全燒し五時鎭火したが右のため材木街は全滅した、原因不明で損害は數十萬圓の見込み

書記、書記補合格者發表 遞信局學術試驗

過般執行した遞信局の遞信書記、書記補學術試驗の合格者は左の通り書記三名、書記補十七名で、尙七月中旬に實務試驗を施行される由

▲書記 西岡光男、西岡昇、東良男 ▲書記補 興平正行、藤本喜由、柿並恭一、武田利一、宮本高行、森永種雄、總本清七、田中九州男、中崎靜衛、矢崎輝雄、濱崎貞輔、山岸治、示野友史、石神清次郎、森行雄、小松清、峰茂清

露支紛爭で重傷を負ひ慰藉料も受けられぬ女

事務官が己が醜狀を隱蔽せんこ損害要求の訴狀を握り潰し

【ハルビン特電十三日發】昨年露支紛爭の際滿洲里にて露國砲彈の犧牲となつた邦人に對し露國は自發的に損害賠償金を交附したが端なくも暗に咲く女なるが故に哀れ大塚ヨシエは事實重傷を受けたにも拘らず慰藉料の選に漏れた事件がある、原因は下村事務官が自己の醜を隱蔽せんがためヨシエに百圓を與へ損害要求の訴狀を握り潰した爲めであり、騙された女性ヨシエはこれが爲め數百圓の借金をも返濟することの出來ぬ身となつて、今は熊本に歸國してゐるが、在留民は當局の措置を憤慨し事件は外務省に移らんとし、十二日滿松副領事は眞相調査のため滿洲里に急行した

南洋訪問飛行の海軍機出發

【横須賀十二日發電】南洋諸島訪問海軍大飛行の第二隊峰松大尉指揮のヨ五十六、五十九號兩飛行艇は十二日午前六時三十分橫須賀航空隊を出發、零時三十五分小笠原島二見港に無事到着した、所要時間六時間五分で新レコードである

深刻な就職難

【東京十二日發電】社會局中央職業紹介事務局調査による五月中の全國職業紹介成績は前月に比し求人求職ともに增加し幾分活潑となつてゐるが、就職率は一パーセント低下し依然就職難の深刻さを示してゐる

知多木綿工場二週間休業

【名古屋十二日發電】知多木綿產地愛知縣知多郡知多木綿同業組合は不況對策として來る十五日より二週間休業を決議し、加盟三百五十二工場は一齊に休業之に從事する男女職工約八千名は一時的とはいへ失業することゝなつた

汽船衝突し全員溺死 シチュエイト沖で濃霧のため

【ボストン十二日發電】今朝當地シチュエイト沖にて濃霧のため近海航路船フエアフオツク號と給油船ビシミス號と衝突し、ビ號は沈沒し船員は全部溺死し、フ號は火災を起し死傷者四十八名を出したが、生存者は汽船クロスター號に救助され當地に入港した。

大連港の特產輸出 高粱以外は增加

昭和四年十月より本年五月に至る最近八ケ月間の大連港輸出特產物中大豆、豆粕、豆油、高粱の四品に就てみるに高粱の減少を除きては三品共に夫々增加を來して居る近來世界的不景氣に伴ふ買氣薄に輸出狀況も極めて閑散なる事實に鑑みて一旦奇異に感ぜらるも右は昨年十月より十二月に至る三ケ月間に於て露支關係により南下貨物の增大と相俟つて必然的に異常の增加を示してゐた結果に外ならぬものであらう此の八ケ月間に於ける輸出數量を檢すれば左表の如くで前年同期に比し大豆は十四萬四千二百六十瓲、豆粕は十五萬二千九百三十六瓲、豆油は一萬三千九百四十三瓲と何れも增加を示し、高粱のみ二萬八千五百七十一瓲の減少を來して居る(單位瓲)

	本年度八ケ月	前年同期
大豆	一、三三〇、三八七	一、一八六、一二七
豆粕	七三三、一八六	五八〇、二五〇
豆油	六二、九九九	四八、〇五六
高粱	五五、六六二	八四、二三三

郵便展覽出陳依賴

大連郵便局では新舍屋移轉の記念展覽會を來る廿一、廿二、廿三の三日間に亘り新舍屋において行ふが、十一日郵便局より海務局あて船舶に關する參考資料の出展を希望して來た、展覽會は郵便の部、電信の部、電話の部、船舶の部、電氣の部の六部內に分けて展覽に供するものであると

進行列車、荷馬車を跳ね飛ばす

十二日午前三時半ごろ南關嶺營屯叢殿金が二頭馬車を驅つて周水子驛より北方五十米突の踏切を橫斷せんとした刹那、上り貨物列車第二五三號(機關士中本要一)が進行し來り、アワヤといふ間に馬車に衝突し、馬二頭ははね飛ばされて無殘の即死を遂げたが馬車夫は無事であつた、損害約二百五十圓

自動車電車と衝突

十三日午前十一時半、市內東公園町協和會館前において大タク運轉手一松耕平(二〇)の操縱する自動車が電車路を橫切らんとし、折柄寺兒溝に向つて進行中の電車四一〇號(運轉手王多永(二一))と衝突、自動車はバンパーを小破し、乘客の市內薩摩町澤田スミ(二七)は左肩に微傷を負つた

池に陷ちて溺死

沙河口管內西山會石家屯王家溝四番地馬方發長女金玉子(八歲)は十二日午後四時十分ごろ自宅附近水溜りにて實弟と共に遊戲中誤つて水深約三尺の池に落ち込み溺死した

埠頭に溺死體漂着

十三日午前埠頭東端野積所海岸に支那人男廿五六歲の溺死體漂着、水上署員の檢死があつたが死後一週間氏名不詳

大連一中運動會

大連第一中學校では來る廿一日午前八時から同校運動場にて第十三回陸上運動會を擧行すると

養蠶事業視察

養蠶會大連支部では希望者二十名を募集し十六日午前七時大連驛出發、旅順管內營城子および旅順市附近の養蠶事業視察を行ふと

大連園藝會例會

大連園藝會六月例會は岩光殿現地視察をなし野生植物を觀賞することゝなつたが一行は十五日午前八時までに靜ケ浦海水浴場脫衣場に參集されたいと終了は正午の豫定說明者は前田神明、小林一中、泊二中三教諭および安東盛氏

台所メモ 公設市場物價

きうり	一本	〇一五	〇一〇
かぼちや	百匁	〇七〇	〇四〇
ごぼう	一把	一六〇	〇九〇
れんこん	百匁	一〇〇	〇六〇
せうが	同	一〇〇	〇六〇
じやが芋	同	〇四〇	〇二〇
さと芋	同	〇六〇	〇四〇
かぶら菜	一把	〇二〇	〇〇八
ほうれん草	同	〇〇八	〇〇五
みつば	同	〇一〇	〇〇八
玉ねぎ	百匁	〇二五	〇二〇
ねぎ	同	〇二〇	〇一〇
大根	一把	〇三〇	〇〇八
すゐくわ	百匁	一二〇	〇八〇
ばなな	同	〇八〇	〇五〇

櫻川六平事 石塚濱吉儀 豫て病氣中の處養生不相叶十二日午後十一時三十分死去仕候間生前辱知諸賢に御通知申上候
追而十四日午後一時大聖寺に於て葬儀相營申候
六月十三日
女 光子 妻 みどり 石塚善六 伊東忠次郎 親戚代表 池內勇吉 重松百太郎 白川諄 三業組合總代 消防組員一同 友人總代 幇間連中一同

艶色生膽秘譚 (141)

伊藤松雄作　河原緑太郎畫

似顔繪(七)

「さ、火事は消えやした、安心してゆつくりお寢みなさいやし」

いましがたまで二階の屋根に上つてゐた隼の長太、上野のしかも五重塔の怪火ときいて胸中おだやかならず思案をつゞけてゐたが、パッタリ火が消えると、物干へとびおり、窓からヒョイと部屋をのぞきこんで聲をかけた。

「有難う存じます、一時はえらい火の粉故どうなることかと存じました」

「は、は、は、上野の森からこの菊屋町、なんぼ飛火がつよくとも燒けてくるにゃア、夜が明けまさア、それに風はなし……」

妙香は弟の欣彌とも〴〵前夜の約束通り長太を慕つてその二階を假寓に求めることゝなつたのである。

「粗忽火でもござりませうかそれとも——」

「それなんで——」

長太は首をひねつた。

「若い者がいきやしたから、戻つて來たら判りませうが、何しろ乞食どもがよく巣にしてるやすんで」

「ほう……」

處へ下の格子扉あらつぽく開け放して。

「親分、いま歸りやした」

「おゝ、權三か!」

「た、大變で……」

「親分だつて——」

「俺ア火事が氣になるから、一寸失禮して屋根へあがつてゐたのよ」

「あつしだつてその火事の大變なんで」

「放火か、それとも乞食の粗忽火か」

「うんにゃ大違えで、とつてもねえ奴等でさア、血卍に違えねえ」

「な、なんだと!」

長太は血相變へる。

妙香は欣彌とも〴〵。

「ふッ、また始めやアがつた」

妙香か欣彌か聞か一日の中に權三の慌てざまを見知つたものか、思はずクスリと笑つた。

と、權三は遠慮もなく二階へ上けあがつて來た。

「親分……」

「莫迦野郎、お孃樣がおやすみになる處ぢやアねえか、ちつたアてめえ禮儀をわきまへるもんだ」

「血卍」

ときいてハッとした。

「そ、それに親分、こ、これだ、これを見ておくんなさい」

權三は懷ふかく手をつつこむと二枚ばかり紙片をつかみだした。

一枚は燒けこげてゐて定かには見わけかねたものの殘る一枚は似顔繪が描かれてある。

「なんだこりやア!」

「こ、こいつが五重塔が燒け崩れやしてえ時にヒラヒラッとあつしの前へ舞ひおちたんで、ヒョイと見るとこ、これでさア、この字を見ておくんなさい」

「なんだと?」

いきなりひつたくつた長太。

「うむ、戀しき血卍の左近樣……」

長太の聲にギョッとした妙香。欣彌とも〴〵サッと顏色は蒼白み、のけぞらんばかりの驚き——

が、行燈は小暗く、しかも長太はその似顔繪にグイとひきつけられてゐる二人の樣子には更に氣づく樣子もなかつた。

「うーむ、紅筆描きだな——おかしいぢやアねえか、こいつは女文字でよ、しかも戀しき血卍の左近樣だア!」

「そ、それがでさア、血卍の仕業か、それとも例のお仙——戀の叶はぬ意趣晴しか何かで……」

「ふうむ、戀しき血卍の左近樣」

長太はくりかへしくりかへしつゝ首をひねつてゐる。

妙香は總身ふるはせ、額から油汗をタラタラ滴らせてゐる。

欣彌は双のこぶしをかたく握りしめ耐へに耐へてゐたものゝ、この態には熱涙が湧いてやまぬ、二人は長太に氣づかれまいと、齒をガッチリとかみ合せて眼顏でそれと知らせあつてゐるのだつた。

漫談と音樂の夕

出演者

探偵小說家 甲賀三郎氏
テノール歌手 黑田進氏
ソプラノ歌手 關種子孃
伴奏 君島愛子孃

會期 六月十四日午後七時半
會場 協和會館に於て
會費 一般一圓五十錢、讀者一圓
主催 滿洲日報社
後援 滿鐵社員俱樂部

漫談と音樂の夕
當夜のプログラム決る 十四日協和會館で

本社主催大連滿鐵社員俱樂部後援の「漫談と音樂の夕べ」は愈々十四日午後七時半から協和會館に於て開催するが、プログラムは左の如く探偵小說家甲賀三郎氏の探偵趣味の漫談をはじめソプラノの關種子孃テノールの黑田進氏の獨唱で殊に歌劇「墮天女」の天女に主役した關種子孃の「墮天女」中のアリアは大いに期待されてゐる

(一)漫談 探偵趣味の漫談　甲賀三郎
(二)テノール獨唱　黑田進
ラ、パルチダ　アルバレス
ヴオルガの舟曳唄(ロシア民謠)　同
(三)ソプラノ獨唱　關種子
ソルヴエージの唄(ペールギント中)　グリーヒ
遠きサンタルチア(ナポリ民謠)　マリオ
(四)テノール獨唱　黑田進
「墮ちたる天女」中のアリア　山田耕作
戰後　山田耕作
野薔薇　同
とんぼかへり　同
鳥の番雀の番　同
—休憩—
(五)テノール獨唱　黑田進
ふるさと　齋藤佳三
神田祭　弘田龍太郎
拔はてるく　高木東六
土投げ唄　藤井清水
(六)コロラチュアソプラノ獨唱　關種子
夜鶯(ロシヤ民謠)　アラビエッフ曲オルゲニ編

獨唱の歌詞 (上)

ソルヴエージの唄　門馬直衞譯

一、冬は去りて 春は逝き 春はゆき 夏も過ぎ行き 年暮るゝ 年暮るゝ 君はかへらむ いとし君 いとし君 誓ひ守り 我は待つを 我は待つを あ——

二、惠あれよ君 光仰ぐとき 幸ひあれよ きみが身に祈るとき 此處に我は君待つも 君待つも 黄泉にまさば、われも行かむ われも行かむ あ——

遠きサンタルチヤ　桃井京二

遠い船出の心も暗く 侘びて歌ふナポリの歌 處育ち別れは辛い 月が浪間に揺れて港け離 サルタルチヤ別れて行く いほ里の浪に幸こもるとも 沖へかゝればあはれ ナポリまで見えぬ

名殘へだてゝ遙かにけぶる 月のなぎさは美はしや 歌も今宵は涙でくもる 心ふるさと遠いでゆく船路 サンタルチヤ纜解き 何處の海に身をへだてゝも 夢は夜毎戀しナポリ迄迫ふ サンタルチヤさらば さらばさらば——

「墮ちたる天女」　坪内逍遙作

—第七の天女最終のアリア—

あゝ悲し! 昨日迄は千里の外見たりし夢の跡さへ見る能はず 行住如意の羽翼もなし 地に生りし身ならねば 人に劣る天の兒 あはれ我れ無きにひとしこゝろも身も世人のまゝ あら悲し! あさましや……

戰後　小林愛雄詩

さむしほのカラフト コルサコフ砲火に さびたりや燒跡 蚤もなき磯邊に たほまもる哀れや 瘦せ犬の海を見て——

野薔薇　三木露風詩

野ばら野ばら蝦夷地の野ばら 人こそ知らねあふれ咲く 色も美はし野のこばら 蝦夷地の野ばら 野ばら野ばらかしこき野ばら 神の御旨をあやまたぬ 荒野の花に知る敎へ かしこき野ばら

とんぼがへり　三木露風詩

すかんぽは酸いナ つばなの蜜甘いナ 小雉子小雉子を追驅けろ 調練場の原で とんぼがへつてはねろ(繰返し)

演藝界大賑ひ
藝妓舞踊會と篠田實の來演

奉天發行所滿洲文化研究會主催の各檢番合同の藝妓舞踊大會は愈々今十三日より二日間大連劇場に於て毎夜六時より華々しく開演されるが出演順は籤引の結果、兩夜とも大檢の「貝津久志」に次いで三田尻の「[illegible]」引拔き「入船の里」それから西檢の「五人一座花の盃」で最後が大檢幇間連中の「壽獅子舞」の順序に決定した、また浪曲界の花形篠田實一行は十四日入港のうらる丸で乘込み同夜より歌舞伎座に於いて初日を出し兩劇場とも蓋をあけ更に十四日夜は本社主催の「漫談と音樂の夕」が協和會館に於て開催されるので演藝界では近來珍しい賑はひを呈する

座談會

ゆふべ來浦中の探偵小說家甲賀三郎氏を迎へて社員俱樂部で座談會▲出席者のうちには新青年の懸賞探偵小說の首席に當選した大連の武年君も居て探偵小說を中心にした話に花が咲いた▲あす來演する篠田實の宣傳に近頃珍しい六十餘名の町廻りが日本蝶子で賑やかに前景氣を煽つてゐる▲來る十八日から大劇で愈々遠山滿と小原小春一座が蓋をあけるが▲久振りの來演と晉朗記念興行でこれまた前景氣を煽り立てゝゐる

ラヂオ

大連 JQAK

六月十四日午後七時卅分
▲童話「隱れたる愛」山田健二
▲ハーモニカ (一)ヴォルガの舟唄—シャリアピン編曲(二)子守唄—フォール作(三)ラモナ—ウェーン作(四)カルメン—ビゼー作、佐藤秀郎
▲淸元「十六夜淸心」唄荻田、三味線淸元延榮龍、藁詞田代賢二
▲映畫說明「父」解說松葉詩朗、伴奏帝國館管絃部
▲支那唱「朱賢臣」唱王桂麗、師付王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京 JOAK

六月十四日午後六時廿五分 (講演の夕)
▲趣味の歷史挿話 白井京二
▲源平の紋と葵の紋 文學博士沼田賴助
▲劍道各流 元山蘇州

音樂と漫談の夕 讀者優待割引券
六月十四日午後七時半滿鐵協和會館に於て本券持參者に限り一圓
主催 滿洲日報社

貝殼一平大會と日本橋の週間
階下 三十錢券 御一名一枚限
●切り拔き御利用下さい●
—十一日より十七日迄—
‥大日活‥

改造文庫に不景氣なし!!

改造文庫

百頁十錢

經濟學の實際知識 (2)

髙橋龜吉著

社會主義の發展 エンゲルス著 1
マルキシズム認識論 堺利彦譯 1
辯證法的唯物觀 デイツゲン 石川準十郎譯 1
哲學の實果 デイツゲン 山川均譯 2
神と國家 バクーニン 山川均譯 1
日本開化小史 田口卯吉著 2
日本經濟論 田口卯吉著 1
日本經濟學說の要領 瀧本誠一著 2
日本商業史 横井時多著 4
日本工業史 横井時多著 4
婦人論 ベーベル 山川菊榮譯 6
エミール(上卷) ルソー 内山賢次譯 4
エミール(下卷) ルソー 内山賢次譯 4
國家論 オツペンハイマー 廣島定吉譯 2
リツケルト論文集 リツケルト著 細井和喜藏譯 2
女工哀史 細井和喜藏著 4
社會進化と婦人の地位 山川菊榮著 2
幸德秋水集 幸德秋水著 2
中江兆民集 中江兆民著 2
財產起源論 ラファルグ著 貴島克己譯 1

マルクス主義經濟學 (3)

法學博士 河上肇著

組織論 レーニン 鈴木厚譯 3
三民主義 孫中山 井上寛三譯 3
唯一者とその所有 スティルネル 辻潤譯 6
全譯金融資本論 ヒルハデング 林要譯 7
近世封建社會の研究 本庄榮治郎著 2
勞働價値說の擁護 ヒルファディング 堺本三吉譯 2
社會進化と生物進化 リュキス著 2
俳諧七部集 荒畑寒村譯 2
蕪村七部集 荻原井泉水校訂 3
伊勢物語 久松潛一校訂 2

金融資本論 (4)

猪俣津南雄著

我國近世の農村問題 本庄榮治郎著 3
マルクスの經濟史・社會並に國家理論(下卷) ヘインリヒ・クノー著 島海森谷共譯 7
マルキシズム國家論 M・アドラー著 山本琴譯 5
無政府主義と社會主義 プレハーノフ 百瀨二郎譯 2
財產進化論 ラフワルグ 荒畑寒村譯 2
神皇正統記 宮地直一校註 3
奥の細道芭蕉翁文集 荻原井泉水校訂 3
北村透谷選集 島崎藤村編 1
樋口一葉選集 樋口一葉著 1
平凡 二葉亭主人著 1
子規俳話 正岡子規著 3

哲學概說 (3)

文學博士 桑木嚴翼著

海に生くる人々 葉山嘉樹著 2
我等は一つで國を擧る 石川啄木著 1
山の天と土 ...
旬集その他 島崎藤村著 2
... 高濱虚子著 6
獄中記 オスカ・ワイルド著 神近市子譯 2
自選歌集 朝の螢 齋藤茂吉著 2
自選歌集 川のほとり 古泉千樫著 2
自選歌集 松の芽 中村憲吉著 2
自選歌集 海やまのあひだ 釋迢空著 4
自選歌集 立春 木下利玄著 2

經濟地理概論 (3)

ゾレブスリーグ編 菊川忠雄譯

厭世家の誕生日 佐藤春夫著 1
勞働者の居ない船 葉山嘉樹著 1
シラー詩集 ベアネット 小栗孝則譯 4
小公子 若松賤子譯 2
ホワイト・ファング J・ロンドン 堺利彥譯 3
自選歌集 人間往來 與謝野晶子著 2
自選歌集 櫻の木 窪田空穗著 2
自選歌集 野原の郭公 若山牧水著 2
自選歌集 原生林 前田夕暮著 3
自選歌集 空を仰ぐ 土岐善麿著 2

一握の砂・悲しき玩具 (2)

石川啄木著

作曲白秋童謠集 北原白秋著 2
作曲白秋民謠集 北原白秋著 2
作曲白秋舞踊詞集 北原白秋著 2
白秋民謠集 北原白秋著 2
背德者 アンドレ・ジード著 石川淳譯 2
チエホフ書簡集 内山賢次譯 5
寡婦マルタ オルゼシュコ 清見陸郎譯 3
井泉水句集 荻原井泉水著 5
サーニン アルツィバセフ 武林武想庵譯 6
一青年の告白 ジョージ・ムア 辻潤譯 3
室生犀星詩集 室生犀星著 3
曾根崎心中 黑木勘藏校註 5
一週間 リベヂンスキー 池谷信三郎譯 2
千家元麿詩集 千家元麿著 3
横瀬夜雨詩集 横瀬夜雨著 5
修禪寺物語 岡本綺堂著 3
少年の悲哀 國木田獨步著 2
運命論者 國木田獨步著 2
佛蘭西家庭童話集 ボーモン夫人 長松英一譯 3
奈落の人々 J・ロンドン 和氣律次郎譯 3
爭闘 ゴルスワージー 和氣律次郎譯 2
岸壁 トーマス・マン 六笠武生譯 2
イプセン全集(一)(五) 河野大山 永井小寺譯 5 3

夏目漱石著

坊っちゃん 百廿版 2
草枕 百廿版 2
それから 百版 3

(親讓りの無鉄砲を徹頭徹尾通した松山中學時代の坊っちゃん的成功振りを作中の名作。他三篇を收む。)
(智に働けば角が立ち、情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい…の中に安住させる傑作。)
(心に思ふ三千代を人妻に世話した代助の煩悶と悔恨に至る三部作の一篇を描いた…)

定價

一冊の分量は約百頁以上五百頁を單位として拾錢とし、その冊子の頁數に應じて二十錢、三十錢、四十錢、五十錢と定む。表紙背に…1は十錢、2は二十錢、3は三十錢を示す以下之に倣ふ。定價及び送料下表の如し。

表紙背の符號	1	2	3	4	5	6
定價(錢)	10	20	30	40	50	60
送料(錢)	二	四	六	八	10	三

發行所 東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二三番 電話芝(43) 一三二二番 一三二三番 一三二四番 改造社

滿鐵指定品

國產 ベストライト

石綿入アスハルト防水塗料

證保對絕

陸屋根地下室防水、雨漏止 金屬屋根防水、防錆、耐酸 絕緣、塗料

施工簡易、品質優良、値段低廉、輸入防止の最適品なり是非御採用を乞ふ

滿洲總代理店 大連市紀伊町五五 合資會社 矢野元商店 電話 八三五八四 三一四七

資本金 壹億圓(全額拂込濟)

積立金 壹億壹千壹百五十萬圓

本店 横濱市

支店出張所 東京、東京丸ノ内出張所、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北平、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾濱、浦鹽、一時閉鎖中 西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカツタ、孟買、カラチ、マニラ、スラバヤ、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、アレキサンドリア、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス

横濱正金銀行 大連支店

大連市大山通二番地

電話 代表番號 三一六六番 海關取扱所 四七一二番 宿直專用 六〇一五番

醫事行政例及判例の解說

法學士 豐田久二著

醫事法制の研究は醫術關係者にとつて必須問題、著者は斯界に於ける有數の權威にして、茲にあらゆる種類の行政例判例を集めて懇切なる解說を施し時に開業醫諸君の法律顧問書たる事を期した

▼四六判 ▼二六〇頁 ▼定價壹圓八十錢 ▼送料十二錢

世界音樂全集

第九回 門馬直衞編 世界民謠曲集

世界大思想全集

【第一期】ソロー・ウォルデン・ホイツトマン論文集・ペイタア文明論

【第二期】ブランデス十九世紀文學主潮史 (3)

大思想エンサイクロペヂア

第廿二回配本 社會問題 第二卷

現代醫學大辭典

第十六回配本 外科學篇 第三卷

生田春月譯

ハイネ全集

逝ける春月氏の偉大な功績

時代を最も鋭く痛み、痛烈な自己分裂に火のやうな自嘲を投げた詩人ハイネ、彼をただ單に戀愛の詩人・感傷の詩としてのみ觀るのは、皮相な一面觀に過ぎない。ハイネの姿は茲に春月氏の理想的翻譯を得て眞に突き出た。

(1)詩の本 價二・五〇 送料一四
(2)新詩集 價二・五〇 送料一四
(3)物語詩 價二・五〇 送料一四

春秋社重版書・豫約書

東京日本橋區吳服橋 振替東京二四八六一 春秋社

汗疱 水むし 塗布新劑

ポンホリン

男子の靴履き 女子の水仕事 等から

侵され易い水むしは從來百千の治療方法が講せられましたが未だ適確に奏効するものあるをきかず現代治療界の一暗礁と考へられてゐましたが今回此治療劑ポンホリンが發賣せられてから此暗礁も取り除かれた形で水虫治療界に一つの光明を点じました。

ポンホリンの効果

本劑を患部に塗布する時は次第に乾燥し初め搔痒感を消失し、塗布後二三日頃より病菌に侵され皮膚が自然に落屑し漸次治療に向はしむ。本劑は病皮に對し滲透性に富み、殺菌力強大なれば一日一回又は二日に一回の塗布により(一日數回使用するは却つて病狀を増惡す)効果を奏す。

本劑の特徴 一、使用法頗る簡便なり 二、衣服を汚染する事なし 三、奏効確實價格低廉なり

適應症 汗疱(水むし) 頑癬(たむし) 白癬(しらくも) 癜風(なまず)

定價 二〇cc 三十錢 五〇cc 六十錢 一〇〇cc 一圓 五〇〇cc 三圓五十錢

文獻、說明書無代進呈す

發賣元 大阪市東區道修町 株式會社 塩野義商店 東京市日本橋區伊勢町

急告

七月一日開始

トラック 客車 運轉手養成

大連市北大山通十四番地 日華自動車研究所 電二〇六一番

建築—設計—監督 構造—計算—鑑定

宗像建築事務所

大連市連鎖商店街坂小路 電話 三四九五番 工學士 宗像主一

キリンレモン

絕對人工着色を施さざる衛生的好飲料

キリンサイダー キリンタンサン

宮内省御用達 麒麟麥酒株式會社

最新刊

フィツシャー著 山本幸平譯 貨幣錯覺 賣價一圓五十錢 送料八錢
野村秀吉以下十五名著 マルクス主義講座 十八
コミンテルン編 田畑三四郎譯 政治の基礎知識 賣價一圓五錢 送料六錢
坂梨村著 芳男譯 生活最小限の住宅 賣價一圓十錢 送料十錢
中外商業新報社編 經濟國難の打開策 賣價一圓五十錢 送料八錢
小栗捨藏著 無機化學工業 賣價三圓三十六錢 送料十錢
周田播陽著 大衆經 賣價一圓三十六錢 送料八錢
ダニエル・アレヴィ著 生田長江譯 ニイチエ傳 賣價二圓九十四錢 送料十八錢
佐々木邦著 主權妻權 賣價二圓三十一錢 送料十二錢
笠間杲雄著 ドストイエフスキー 賣價一圓五十七錢 送料八錢
竹田津六二著 安全確保の實際 賣價一圓二十六錢 送料八錢
倉田百三著 軀 賣價二圓十錢 送料十錢
平田晉策著 軍縮の不安と太平洋戰爭 賣價九十四錢 送料六錢
村田懋麿著 次の戰爭と我海軍 賣價一圓五錢 送料六錢
佐野學著 唯物論と無神論 賣價一圓三十七錢 送料八錢
前田河廣一郎著 評論集 十年間 賣價一圓八十九錢 送料十錢
朝日新聞社編 國際廣告 賣價二圓十錢 送料十錢

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話

最新刊

與謝野寛著 滿蒙遊記 賣價二圓十錢 送料十錢
太田哲三著 貸借對照表の作り方と見方 賣價二圓八十錢 送料十錢
村田懋麿著 次の戰爭と我軍 賣價一圓 送料六錢
文藝家協會著 文藝評論集 第一集 賣價一圓五十錢 送料八錢
同 大衆文學集 第三集 賣價一圓五十錢 送料八錢
同 詩と隨筆集 第三集 賣價一圓五十錢 送料八錢
吉田絃二郎著 草を歩みて 賣價一圓六十錢 送料十錢
田中惣五郎著 東洋社會黨考 賣價一圓七十錢 送料八錢
發井林藏著 社會と人 賣價三十錢 送料二錢
長野朗著 支那の眞相 賣價一圓五十錢 送料十錢
武野藤介著 文士の側面裏面 賣價一圓五十錢 送料八錢
大森光彦著 陶窯巡り 賣價三圓五十錢 送料十四錢
郡山幸男著 廣告印刷物の知識 賣價一圓五十錢 送料十二錢
新村出著 琅玕記 賣價二圓五十錢 送料十二錢
竹井十郎著 富源の南洋 賣價三圓五十錢 送料十六錢
倉田百三著 恥以上 賣價一圓八十錢 送料十八錢
中外商業新報經濟部編 經濟國難の打開 賣價一圓五十錢 送料八錢
宮島最吉著 床庭の作り方 賣價一圓三十錢 送料八錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

社說

滿鐵の陣容整ふ

仙石總裁抱負の閃めき

仙石總裁、就任以來の懸案であつたところの滿鐵職制改正に伴ふ人事異動は愈よ十四日付を以て發表された。これにて佛を作つて魂を入れた譯、すなはち滿鐵の新陣容が整つた次第である。仙石總裁はこの新陣容を以て滿鐵の社業を遂行すべく勇往邁進することであらうと思ふ。今次の職制改正は組織の合理化を眼目とし思ひ切つて十二部制に改め、これに配する人事異動においては高給者に對し整理の斧鉞を加へ清新の氣分を漲らすべく苦心の痕が讀まるゝのである。かくて新陣容を代謝せしめ全社員の緊張を期したものといふことが出來やう。」

◇

併しながら職制は佛である。それに魂を入れねば眞の面目を發揮することは出來ぬ。かくて先日發表されたる十二部制の職制に對し十四日付を以て人事の配置を行つたのである。人事の異動に關し去るものは深く留るものは去る覺悟を以て勇往邁進、社業に精進することが特殊使命を有する滿鐵社員の任務であらうと思ふ。……有餘年、あるものは二十年滿鐵社業のため努力し來り全つて深く職を去るものがあるのである。それら人々に對しは深甚の敬意を表せんとするのである。これらの人々は、滿蒙を開發し以て今日の如きあらしめたる功勞者であらねばならぬ。よし今日、これら功勞者が職を去るにしても、その功勞に對しては特に敬意を表すると共に今後においても滿蒙の開發のため折角努力せられんことを希望せざるを得ない。

◇

新進氣銳の人材として重要なる職に榮轉したるものは、この際、特に大なる覺悟を以て社業の遂行に努力すべきである。滿鐵の如き老大なる組織體にありては、職制の整備といふことが當然に要求されねばならぬ。縱橫上下に圓滑なる統制連絡が可能でなければ社業の充分なる遂行は出來ぬのである。併しながら如何に組織が完全に構成されてゐても、それを運用するところの役者が揃はねば愉快なる芝居を打つことは出來ぬ。こゝにおいて職制組織と人事行政とは密接不離の關係にあり、この兩者は恰も車の兩輪ともいふべく完全に揃つて初めて完全なる能率の增進を見ることが出來るのである。されば滿鐵が職制を改正し然る後に人事の配置に苦心したといふことは當然の順序といふべきである。

◇

併しながら職制の改正に伴ふ人事の異動は、仙石總裁のいはゆる如く庖丁を研いだだけであつて、どんな料理が出來るかは、これからの問題であらねばならぬ。吾人は仙石總裁の料理の腕を拜見せんとするものである。いはば今次の新人事異動によつて樹て直された新陣容により如何なる料理が出來るか、その手並のほどをぞ拜見せねばならぬといふのである。わが滿鐵の社業は所謂國家的使命を以て滿蒙の經濟的、文化的開發に努力せんとするものであつて、單なる一營利會社を以て居ることは出來ぬのである。仙石總裁も、今日は總裁一人にて仕事のやれる時代にあらず全社員が協議一致して社業の遂行に一生懸命にならねばならぬのである。されば新進氣鋭の全社員は老總裁を扶翼し緊張充實の氣分意氣を以て社業の遂行に努力せねばならぬのである。恐らくこの實現が今次の職制改正による人事の配置によつて遂行されねばならぬことであらうと思ふ。そこに新陣容の整つた意義があるのではあるまいか。要するに吾人は滿鐵、今次の職制改正に伴ふ人事の異動は仙石總裁、抱負の一端を閃めかしたものと認め、その新陣容による事實上の料理を如何にするか、これからその料理の手並を拜見せんとするものである。

濟南方面の戰局漸く南方に移る

南北兩軍、積極的行動を避けていよいよ持久戰に

【東京十二日發電】濟南方面の中央反蔣兩軍は積極的行動を避け對峙の持久戰の狀態にある、即ち反蔣側では山西軍、石友三軍何れが山東を占領するも占領後の地盤關係にて閻馮の內紛となるやも知れず、また石友三、韓復渠間の關係も危ぶまれ山西側はひたらす平和接受の時期を待つてゐる、而して中央軍も濟南攪亂の責任を負ふを避けるため此の際積極的に出でず和平接受を山西軍と交涉してゐるが、その內實は反蔣軍の財政は中央に比し甚だ困難で戰爭長引く時は財政的に破滅するのであらゆる方法を以て持久戰に導かんとし濟南方面の戰鬪は何等發展を見るに至らぬ、一方武漢方面の戰鬪は漸次盛り返し廣西張發奎軍その他の反蔣軍は既に岳州に迫り湘軍の一部は武漢背後を衝かんとし、この間閻錫山氏は武漢を戰はずしてその手に收めんと策し汪精衛を長江上流宣撫使、湯薌銘を武漢行營主任に新任し上海に潛行せしめ、兩氏は十一日朝上海發漢口に向つたので武漢方面は近く一大變化を見るべく事態は北方より南方に移らんとしてゐる

各地戰況面白からず王家楨氏が歸奉

若し再び南京に歸任せざれば對寧關係に新たな變化起らん

十八日上海を出發

【上海特電十二日發】奉天を代表し南京政府外交部次長として南京にある王家楨氏は來る十八日當地發の奉天丸にて大連經由奉天にかへるべく既に船室の契約を終へた、歸奉の表面の理由は故張作霖氏の二周忌に參列するためといふにあるが王氏自身も今度の歸奉によつて再び南京には歸任しないだらうとしてゐる模樣である、最近各地の戰線における南京軍の形勢日と共に思はしからざるものあり、今後の形勢に善處するため奉天派は王氏を呼び返すことによつて奉天、南京の間に直接の關係なからしめんとするものではないかと想像され、若王氏にして再び歸任せざるにおいては奉天、南京の關係に新たなる變化をみるものと見られてゐる

武漢方面を放棄し隴海線で決戰か

毛軍蕪湖より引返す

【南京十二日發電】一昨日南京發漢口へ向つた毛炳文軍は本日午後七時迄に全部蕪湖より南京に引返した中央は萬一の場合には武漢を拋棄し入師を隴海線に增派し北方と最後の一戰をなす決心をなしたものと解される

武漢軍戰はず後退

【漢口十二日發電】湖南から湖北に侵入した廣西軍のその後の所在不明で武漢行營は頻りに偵察に努めると共に第一防禦線たる咸寧の第十三師第三十一旅は十一日全部後退した斯く武漢軍はヂリヂリ廣西軍に壓せられ戰はずして退却を續け寢返り軍の增加と共に武漢の形勢は愈々怪しくなつた

蔣氏再起は困難か

【北京十二日發電】某所着電によれば廣東における蔣介石氏の人氣はガタ落で、若し氏が南京を捨てゝも廣東で再起を圖ることは困難である、從つて現政府の廣東移轉案も實現出來まいと

僞物を發行して反對新聞を壓迫

不利な戰況報道に對する南京政府の對抗策

◆…前線の戰績思はしからざる國民政府は後方擾亂防止を名として再び猛烈なる言論通信機關の壓迫を開始した、即ち邦字新聞は南京郵政局において全部差押へ、南京上海間の電話は中國語以外の日本語や英語の使用を禁じ中國語で話してすらも交換局において檢閱官がこれを聽取し苟くも國民政府に不利な言葉があれば通話を斷絶するなど亂暴極まる壓迫を加へつゝある、殊に漢字新聞への原稿檢閱は嚴重を極め山田純三郎氏經營の漢字紙「江南晚報」に對しては暴漢を派して襲撃せしめ猛烈なる反抗運動を試みた程である

◆…「江南晚報」は從來戰局、政局に關し正當なる報道をなし飛ぶが如く賣れたため遂に彼等は一策を案じ新聞史上未曾有の「新聞の僞物」を發行するに至つた、即ち寫眞に見るが如く江南晚報の題字から發行所、電話番號に至るまで全然本物と同樣にし、その內容に國民政府擁護の記事を掲げてゐる

◆…最初約一週間程は僞物であることを發見されなかつたが、內容の相違から遂に陰謀が暴露し調査によつて市黨部方面の指圖に依つて發行されつゝあることが判明した、江南晚報では去る四日附僞物が發行されつゝあることを社告したので僞物は世間の物笑ひの種となつたがそれでも無智な中國人は僞物と氣づかず相當買つてゐる模樣である、いづれにしても新聞の僞造物は珍無類の出來事である(寫眞は向つて右二枚は本物の江南晚報(僞物が出たことを社告してある)向つて左は僞物の江南晚報(內容に國民政府擁護の宣傳記事を掲げてゐる)

娘一人に婿澤山

軍縮剩餘金を廻つて

大藏、遞信、內務が分取に必死

【東京十二日發電】軍令部首腦部の更迭と共に財部海相は條約案履行の諮詢並に豫算編成の關係から協定兵力に依る新國防計畫の樹立を急ぐこととなつたが、政府も明年度豫算編成を控へ近く軍部と代艦建造繰上げの行使程度につき折衝を始める筈である、而して右剩餘金の

◇…使途は　政府は主として國民負擔輕減に充當するは勿論なるも一面對軍部關係が圓滑になつたとはいへなほ海軍勢力補充につき若干の振り當てを考慮せねばならぬとしてゐる、從つて政府の實際國民負擔輕減に當てる額はその第一年度にては所期の希望の如くには行くまいと見られるに至つた、而して國民負擔の輕減方法としては政府は

一、砂糖、織物稅の減稅
一、地租法の改正
一、營業收益稅の負稅點引上げ

等につき考慮すべきを言明し來つたが、最近財界不況により歲入に

◇…大減收　を來すは明かとなつたので各省は其新事業の經費に軍縮剩餘金を狙ふに至つた、即ち小泉遞相は遞信省所管の航空機の整備に就て特に軍部と關係ありとの理由で軍縮剩餘金の振當を望み、十一日井上藏相と懇談すると共に十二日中野次官をして財部海相と會見せしめた、また安達內相は失業救濟策の實施を去る特別會計にて建設案として要求されてゐるので、これまた剩餘金を以て施設せんとの意向を有し財部

◇…海相を　訪ひ協議するところあり、かくの如く既に軍縮剩餘金を繞り大藏省、遞信省、內務省がその分取りに必死となつて居りその他の省にても同樣その分前を要求するに至るものと見られ濱口首相が代艦建造繰上げの行使を何の程度に決定するかまた剩餘金の軍部への振當を何の程度に喰止めるかゞその實績を示すものとして注目されてゐる

劉珍年軍續々青島に入る

沿線各地の警備には韓復渠軍が任ずる

【青島特電十二日發】劉珍年軍の先發部隊として騎兵一千名は昨夜來萊縣に到着、後續部隊は本日中に全部入城する筈である、劉珍年氏と韓復渠氏との間は疑ひなく完全に連絡あり今後の行動に注目を要するところである、沿線各地の警備は劉軍に代つてその任に當るが、沿線警備として濰縣に殘留してゐた范熙績軍は昨日全部周村へ移駐したこれまで同地方の民心は動搖してゐたが交替と同時に平靜に歸した

馮氏妥協提議說

地盤提供を條件に

【南京十二日發電】國民政府側非公式發表によれば馮玉祥氏は十一日蔣介石氏に對し妥協を提議し來つたがその內容は左の如くである

一、馮の直轄軍隊を十五個師とすること
二、河北、河南及び山西を馮の地盤とすること
三、馮に對し即時三百萬元を支拂ふこと
四、現金の收受終了後馮は直ちに閻錫山を討伐すること

和平解決の空氣濃厚となる

南京政府の苦肉策

【上海特電十三日發】蔣介石氏が南京に歸來したとの說に對しては目下當地にては眞僞不明にして、これを確めることは出來ないが近來中央軍側の各地戰線における形勢不利なるところより南京政府並びに中央軍側の內部における蔣介石氏下野及び南京政府改造等を條件とする和平解決運動が漸く具體化し表面化してきた觀がある、殊に和平通電を發して失敗した張靜江氏は昨日杭州より南京へ赴き政府部內の一部巨頭等との間に和平解決につき奔走してゐる模樣であるが傳へられるところによると、譚延闓、孫科氏等の間には豫て蔣氏の下野及びその善後問題につき計畫されてゐた事實もあり、これら一部巨頭との間には時局を和平的に解決するために蔣氏を

下野せしむることには略意見一致し、譚孫兩氏は蔣氏下野後の政府主席として張氏を極力推してゐるので、張氏は目下奉天にある李石曾氏に對し、これに對する奉天側の意向を徵すべく依賴しその回答あり次第、最後的決定をなすことに、これら巨頭の間に諒解成立したと、又本日漢口より當地支那側有力方面に達した消息によれば最近何應欽氏と蔣介石氏との間に中央軍失敗に關する善後問題につき電報にて

密議された結果蔣氏はある時機において下野すること、中央黨及び國民政府は改造せざることを條件に時局を和平的に解決すべく、反蔣各軍との妥協通電を發し、以て何應欽氏が繼承して軍隊の保存を圖るべき計畫をたてたとかくて和平解決のためには蔣氏の下野を前提とする機運が南京側部內に於ても漸く濃厚となつてきたものゝ如く、近き將來、時局に重大變化を見るであらうといふことが各方面の一致した觀測となつてきた

蔣介石氏に妥協勸告說

張浙江省政府主席が

或ひは時局急轉直下解決か

【南京十二日發電】蔣介石氏は今朝十時突如漢口から飛行機で歸京したが、先月十六日和平通電を發した張靜江氏ほか首腦要人と總司令官邸に重要會議を開いた、會議の內容は極秘に附されてゐるが確聞するに蔣介石氏は短期間內に武力解決を圖るためには張學良氏の蹶起を促す外なしと、張靜江氏に對して蔣介石氏の代理として奉天に急行し張學良氏に會見されたいと求めたが、張靜江氏は寧ろ從來の行きがゝりを捨て閻錫山、馮玉祥氏と妥協すべしと勸告した由であり或は時局は急轉直下解決の一途に向つて進むものに非ずやとの觀測が急に有力となつて來た

蔣氏下野と善後對策

山西派の主張

【北平十三日發電】山西派機關紙は蔣氏が十日附全戰線に總退却を命じたと報道し蔣介石氏の今後は下野の一途あるのみと確信し蔣氏下野後の對策として

一、蔣の地盤及び軍隊、兵器を極度に制限す
二、上海を蔣の支配下に置かぬ、國都は北京に還元し國民會議を召集し憲法政治實施を根本方針とする

と主張してゐる

奉派兩氏急遽赴寧

【奉天特電十三日發】胡若愚、陶尚銘兩氏は十三日二十二時四十分發列車にて大連に向つたが、胡氏は十四日出帆の奉天丸にて南京に向ふ筈であると

駐日米大使

フオーブス氏

【東京十三日發電】臨時駐劄米國大使キヤッスル氏は過般離任歸國したが後任大使としてアメリカ國務省よりわが外務省に對しキヤメロン、フオーブス氏を推してアグレマンを要求し來り外務省は本日承認の回答を發した

軍令部內の改造を斷行せん

谷口新部長の立場上

【東京十三日發電】十三日着任した谷口新軍令部長は加藤前部長に對し協定兵力量を以て完全な國防計畫を樹立せざるを得ぬ立場に在るが加藤前部長の下に協定兵力量では國防の安固を期し得ぬとの結論に達した現在の軍令部各班長始め數十名の參謀が今度新軍令部長を迎へ新らしき統帥指揮の下に立つことゝなつた、現在舊國防の完全を期し難いとの主張を持する時は谷口新部長は新國防計畫の立前上當然これ等部內の更迭を行ふことゝなる

若槻全權の旅程

十八日歸京直に參內

【東京十三日發電】若槻全權は來る十七日未明神戶入港同日午後八時三十八分同地發十八日午前九時東京驛着直ちに宮中に參內天機奉伺の後一旦歸邸それより首相官邸にて濱口首相と會見復命するがその際各閣僚も列席ロンドン會議の經過を陳述する更に十九日若槻全權は正式に宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付けられロンドン會議の經過につき委曲伏奏する

上海滯在の若槻全權

織田參與官會見

【上海十二日發電】若槻全權一行は北野丸下船後東方文化事業同文書院を視察した後總領事官邸の午餐の宴に列し午後三時から邦人小學校、女學校、工場を視察し夜は日本人俱樂部の官民合同歡迎宴に臨んだ、若槻全權はその間に在つて政府の特派した織田參與官、下村大佐等とも會見した

財部海相西下

【東京十三日發電】一萬噸巡洋艦愛宕進水式に參列及び若槻全權出迎へのため財部海相は十三日午後十時十四分品川驛發西下途中伊勢大廟に參拜、吳に向ふ

非募債主義は斷じて放棄せぬ

井上藏相閣議後語る

【東京十三日發電】不景氣に伴ひ各閣僚間には緊縮方針に反せぬ範圍において漸進的積極策へ轉換非募債主義緩和說高まりつゝあるに對し十三日閣議後、井上藏相は語る

積極政策に轉換するとか非募債主義を棄てるとかはこれまで考へた事もない本日の閣議でもそんな話は少しもなかつた明年度の事は今から騷ぐ事もない

定例閣議

間島事件報告

【東京十三日發電】十三日の定例閣議は午前十時開會(宇垣陸相缺席)幣原松田兩相より間島の鮮人騷擾につきては兒玉總監、林奉天總領事も出張しわが警察官も多數應援警備に努め事件は全く鎭壓し取締りには朝鮮總督府も充分手配してゐると報告し、次いで俵商相より產業合理局事務に關し近く各方面關係者を集め會議する、中商工業統制は大阪を中心に經營より開始すると報告あり來年度豫算編成方針、財界不況對策は問題に上らず次回に讓ることゝし零時散會した

陸軍省も節約講究

【東京十三日發電】陸軍省の節約査定額に對する態度は頗る強硬で大藏案は殆ど承認し難いとしてゐるが財源難に當面して陸軍省もはじめて節約を考究することゝなつて改めて陸軍側の決定は多少の遲延たるやみ難く且つ節約額も査定額千一五百萬圓の半額以下となる見込みである

農林分課規程改正

【東京十三日發電】肥料配給施設改善並びに山林業政統一の爲め十三日附を以て左の如く農林省の分課規程が改正された

△農務局　肥料課新設
△山林局　林務、林業、公私林三課を林政、林務、監理、行務四課に改む

關東廳人事方針

明年度の豫算も緊縮

太田關東長官語る

【東京特電十三日發】太田關東長官は十二日午前九時下ノ關發の急行に搭乘十三日朝八時半東京に到着した長官は車中語る

今回の上京は過般御渡滿された秩父宮殿下に御禮言上のためで序に松田拓相其他を訪問して明年度

豫算編成　方針其他に就き打合せしたいと思つてゐる、本年度實行豫算は切詰めた上に又今回の行政經濟化で節減せねばならぬので相當苦しい、果してどのくらゐ節減の餘地があるかよく判らない、又明年度の新規事業についても色々計畫はあるが未だ財務部で調査中だから財政緊縮の折柄大した事は期待出來まいと思ふ、關東廳の人事問題については殖產課長は目下文書課長が當て文書課長の兼務を命じてゐる、その文書課長は今度歸る迄には決めるつもりだ新設の

刑事課長　は未だ官制が出來てゐないのでそれが出來た上の事だ、又奉天警察署長は立川警視を署長心得にして置いた、これは事務官の兼務が原則となつてゐるから何れ金州などの三民政支署昇格に關する官制の出來上るまでは此儘にして置く積りだ、本年追加豫算施行に關連するそれ等の諸官制は近く日下文書課長上京の上手續をとる事になつてゐる、三浦新內務局長はなかなかよい人物だ、大にやるだらうと

期待して　ゐる、神田君の大連民政署長も適任だらう、殊にあんな不祥事件があつた後だけにその名譽回復には持つて來いだ、努力を期待してゐる

因に長官は滿蒙匆々獻上品などに關する御禮を懇へて來る十七日秩父宮家に伺候すべく今回の滯在は約一週間の豫定で直ぐ歸任の筈

太田關東長官首相を訪問

【東京十三日發電】太田關東長官は十三日午前八時半入京同九時濱口首相を官邸に訪ひ上京の挨拶をなした

傍系會社の人事

十三日から重役會議で審議

前述の如く人事の配置は十四日發表されるが、十三日からは第二段の傍系會社人事問題の重役會議に入る模樣で、今日まで四日間重役會議の開催で一般事務も澁滯してゐる關係から各重役は常事務も片附けることにならうと見られてゐる傍系會社問題については既にその打合せもほゞ終了してゐるから人事問題さへ決定すれば一段落を告げることにならう、然し傍系會社問題は滿鐵と異なり決議上の手續を要することであるから總裁上京前に全部の決定を見てもその發表は諸手續の終了後である

重役連ホットした

十三日午後四時卅分人事問題の重役會議を終つた仙石總裁は鐵島秘書役を連れ星ヶ浦別邸へ、大藏理事は十三日出帆のはるびん丸にて歸國する小杉放庵畫伯を自邸へ招待しるといふので總裁と相前後して退社、大平副總裁は會議後自室に木村人事課長を招致して二十分ほど何事かを打合せたのち退社し午後六時から來連中の山內侍從武官一行を滿洲館に招待晚餐會を開いた、藤根、神鞭兩理事は理事室に酒井鐵道部庶務課長および總務課の小澤宣義氏を招致して何事か密議した後何れもホッとした面持ちで退社した

月曜日から明るく執務

人事の發表と同時に舊職制から新職制の各部に課以下を綜合して机の引越、人間の引越、書類の引越何々の引越と社內は丁度正月を一緒に迎へたやうな騷ぎになるが、十三日の內命によつて榮成り功を收めた勇退者は跡始末後住み馴れた各自の部屋に名殘りを惜しみ、榮轉組はそろそろと引越の準備や引越先の部屋探しに腰を浮かすことであらう、而して舊職制による書類の決裁などは既に一段落を告げてゐる模樣だが必要な事務は十三、四の兩日中にキリをつけ事務の引繼ぎ等も一先づ終つて久しく不安に追はれてゐた社員は十六日の月曜から落ちついた明るい事務が開始されるわけである

選擧革正協議

【東京十二日發電】鈴木翰長は十二日午後一時安達內相と會見、松谷義三氏逝去に伴ふ選擧革正委員補任につき翌月圭介氏に交涉して固辭されたため他の候補者につき協議した

桑島總領事赴任

【東京十三日發電】漢口總領事桑島主計氏は去る十一日任地イタリーを出發し歸朝の途に就いた

辭令

【東京十三日發電】

關東州公立女學校敎諭　高梨滿林
依願免本官
關東廳中學校敎諭　岡田米太郎
任關東廳中學校敎諭(七等)

安樂椅子

次に紹介するのは今度の異動で動いた滿鐵の某課長の偶感である▲「春くれば曲りなりにも花は咲かむ踏みにじられし道の邊の草」ヴアイタリテーの強いものは何時かは頭を持ち上げる、個人としても民族としてもこのヴアイタリテーを養ふことが第一要件である▲時々の浮き沈みに泥まず踏まれても踏まれても頭を持ち上げるあの道の邊の草でありたい、何れか秋にあはで果つべきと言ふが同樣に、何れか春にあはで果つべきであらう、又左の如き古歌もある「荒波にをし上げられて臥しながら花咲きにけり河原なでしこ」

・・取消　大平滿鐵副總裁家族、十四日入港のうらる丸にて着連の記事は誤電につき取消

神戶船舶（十三日）

大阪株式
銘柄　大株　大新　鐘紡　鐘新　日郵　郵船　東新

東京期米
限月　六月　七月　八月

大阪期米
限月　六月　七月　八月

印度の回教徒に反英氣勢
警官の懲戒に激成されたか　ガンヂー派に合流

暴動更に蔓延

目下入獄中の反英運動の總帥ガンヂーは暴力的反抗を絕對に不可としてゐる、然るに、彼の手足となつて活動してゐる義勇隊の連中は必ずしもガンヂーのこの命令に從順でない、先月五日彼の逮捕された前後から暴力的行動が段々とつのつて來たやうである、最近では本月一日ボンベイ附近のワダラ鹽製造所に一萬五千人の義勇隊が襲擊を試みた、そしてこれを阻止せんとした警官隊との間に衝突が起り百數十名の重輕傷者を生じた、同じ日西北國境地方のペシヤワールでも警官隊と民衆とが衝突し、死者七名負傷者數名を出した、其他五月下旬に數ケ所で騷擾があつた

政府の取締令

インド政府はこれが對策として五月三十日附を以て「各店舗の見張り、納稅拒否、官公吏服務妨害」の取締令を出した、反英運動の一手段として、義勇隊員が酒屋や織布商店にピケット即ち見張りをつけてゐる、政府はこれを取締るためにピケットを刑事上の犯罪と認めることゝした、然しこれらの彈壓政策は却つてインド人の反英熱を尖銳化するものと見られてゐる、未だにピケットを止めない模樣である

回教徒の決議

最近特に注意すべき事は本月四日ボンベイの回教徒が示威大會を催して、ガンヂーの反英運動支持、非軍事的行動參加、イギリス商品ボイコット斷行、ロンドン圓卓會議不參加等を決議した事である、以前の報道によると回教徒の諸團體は自治領に地位を與へらるゝ事を以て滿足し、圓卓會議には代表を出席せしむるとあつた、同教徒聯盟首領シャウカト・アリ氏の如きも、去る三月ガンヂー氏が反英徒步行脚を開始する際、ボンベイで反對演說をやつた程であり、又五月八日には回教徒聯盟評議會はボンベイで大會を開き、ガンヂー一派の運動を以て便宜を得ない妄動と看做す旨を決議した位である それが今日ではガンヂー一派と提携して共に反英運動の陣を張らんとしてゐるらしい。

ガンヂーの主張

ガンヂー氏はかねて、インド教徒と回教徒とが融和協同してイギリスに當らなければインドの國民運動は成就しないと主張し、多年兩教徒の提携に努力してゐたのである。

回教徒も起つ

五月二十六日ボンベイのベンヂ市場附近で、イギリス人の警官が一人の回教徒に對し訓戒を加へたそれを肯かないのを理由にして警察がその回教徒に鐵拳を喰らはした、これが因になつて回教徒の群衆と警官隊との間に大衝突が起り回教徒側に死者四名、負傷者三十六名を生じた、其後秩序は回復したが、この事件が回教徒の反英感情をそゝり立て、その結果、前記のやうな決議をなすに至つたのではあるまいか、兩教徒は宗教の差別から平素仲が惡いが、政治上又は社會上、何か重大な利害や面目に關する事件が起れば、必ずしも協力提携しないとは限らない、歐洲大戰後トルコの分割や回教主の地位が問題となつた時の如き、インド教徒は回教徒に後援を與へ、盛に反英行動をやつた。

先月開かれた　聯盟理事會の業績（一）

國際聯盟創立第十一年最初の理事會とも見るべき第五十九回理事會はユーゴー・スラビヤ外相マリンコウイッチ氏を議長として五月十二日より四日間聯盟事務局內硝子の間で開かれ、理事國十四ケ國中日本以外の常任理事國は外相自ら出席した

即ち英のヘンダーソン氏、佛のブリアン氏、伊のグランヂー氏、獨のクルチウス氏で、日本から

ベルギー駐在 永井大使

の出席を見、期せずしてロンドン會議の全權が再びジユネーヴに集つた態となつた、非常任理事國中外相自ら出席したものは議長マリンコウイッチ氏の外、ポーランドのザレスキー氏、フインランドのプロコープ氏の三名で、他の非常任理事國即ちカナダ、キユーバ、ペルシヤ、ペルー、スペイン、ヴエネズエラは其國の聯盟代表の出席だけであつた、然し此の中にはスペインのキノネス・ド・レオン氏の如き聯盟理事として最古參者もあり、聯盟規約通で知られて居るペルーのコルネボ氏等も居た

今回の理事會の議題には

重要事件

はなく、唯來る九月の第十一回總會に對する準備的事項が大部分であつたそれでも安全保障委員會の報告、聯盟規約と不戰條約の調和問題、パレスタイン問題（所謂嘆の壁問題）阿片消費料問題、非常會議召集問題、並びに東洋關係の問題としては、支那政府の要請に係る檢疫制度及び衞生醫藥施設改善に對する聯盟衞生部の協力援助問題、婦人兒童賣買調査員の東洋諸國視察等の諸問題があり、殊に最後の

二問題は

聯盟の東洋進出として注目を惹いた

議題は以上の諸件を併せて合計三十八であつたが、之等は何れも豫め打合せを終へ、理事會議場では報告者の報告朗讀に對する問題關係國理事の發言があつて、何れも可決又は承認と云ふ形式で、一日十問題位の割でどしどし片附けられて行き、頗る事務的且つ組織的であつた

此の理事會で注目されたのは我が永井大使の出席であつた、多年聯盟理事會で令名を馳せた駐佛安達大使の歸國後果して日本から誰が聯盟理事會に出るか、聯盟部內のみならず、新聞記者連中の間でも可なり問題とされて居た、永井大使の出席は理事會の開催

四日前に

漸く決定した始末で、同大使の手腕については幾分懸念の空氣が漂つて居たらしいが、愈々理事會の席に出て上部シレジヤの小數民族問題の報告、及び衞生問題の贊成演說を巧な佛語で見事にやつて除けたので各國理事は勿論、多數新聞記者連の間に好評を博した、而もロンドン會議でヘンダーソン、ブリアン、グランヂー等と面識のあつた點は日本の爲めにも非常に有利であつたし、好都合であつた樣である

馬賊に襲はれた　ある支那人の話（下）

朔北道人

それからまた「お前等も一文無しでも困るだらうから、今夜の宿賃として一人づゝ二百吊（約我二十五六錢）やるから今夜は何處へでも宿を取つて、明日可然行く處へ行つたらよからう。又怪我をしたものには一千吊づゝやるから、藥でも買つて養生をしろ。尙ほ念の爲めに話して置くが、俺は頭目で靑山と號して居るもので、此處に居る奴は二番目の奴で、靑燕と號するのだ、よく覺えて置けよ、俺達は明日は三道鎭街道で仕事をするつもりだ」等と馬鹿に調子の好い事や、强さうな事を並べ立て、今度は部下に向つて「オイ貴樣等は全く駄目な奴等だナ、こんな自動車を一臺止めるのに二十發も三分彈を打つ奴があるか、俺ならば二發で止めて見せる、モー少し氣を付けなければ駄目ぢやないか！馬鹿野郎」と皆に解るやうな言葉で叱なりつけましたが、一寸自家廣告と云ふ處でせうネ、「此の際一番うまい事をしたのは四十格好の中婆さんでしたが、賊共が金を出せと云ふた時婆さんは「私は金を持つどころですか拜泉縣でコックをして居る息子に小使を貰ひに行く處で、自動車代なども人から借りて來たやうな譯です」と答へたので賊共も强つて要求もしませんでしたが、實は此の婆さん懷に十五六元の金を持つて居たのでした、而も其の土賊から人並に二百吊の宿錢をせしめたのです、馬賊にあつて儲けたのは、此の婆さん位のものでせうハヽヽ、「拜泉縣から約一邦里位の處へ來ますと、賊共は運轉手に「慕安鎭街道に出て眞直に走れ」と命じましたから、車はその云ふ通りに進みまして、暫くすると又東の方に向ひ、ある部落を過ぎて約六里も來たと思ふ頃、急に車を止めて「サー皆降りろ」と申しますから、私共はヤレ／＼と思ふて降りますと、頭目が「お前等は此處で解放してやるから今通つた村落で泊つたらよからう、先刻俺達がお前等の車を止めた處は此處から東へ八里許りの處にあるから、明日はそこに出て車を探して拜泉に行くがよい」と親切氣な捨ぜりふをのこして、自動車に乘つたまゝ、東の方へ行つてしまひました。「私共はそれから附近の部落に辿りついて一晩泊めて貰ひ、今朝そこから荷馬車を雇つて今日午後此の町に着いたのです。私共貧乏人は命さへあれば、金位は何ともなりますが、若し貴所方が居られたら、人質にでも取られて大變な事になるのでした。」と平氣で語つて昨日馬賊に逢つて土下座させられた時の土の乾いたのだと云ふのを拂つた、常に馬賊に脅かされつゝある、支那の內地の人達は、現實に馬賊に出會ひ、金品を强奪されながらも、矢張り馴れつこで、あの平靜さを保ち得る事に感心し、道人等同行二人が災難を逃れた事を心から喜んだ（五年六月五日稿）

ヤマトホテルへ

或る母

今年もホテルのルーフの時節が參りました「お母さんルーフへはいつ行くの、早く行きませう」とは夏になると、もう子供達の催促です、家族的の納涼場所としては誠に理想的なもので、子供達を喜ばせる事が出來るのはありがたいと思つてゐます、然し夫婦に子供五人の七人では、入場一人前五十錢はちとこたへます、以前通り三十錢にして頂けませんか、以前の三十錢が五十錢になつたのでアイスクリームが出されるやうですがそれよりも三十錢で涼しく樂しくほんとの奉仕的な心持で一般のために便宜を計つていたゞけないでせうか。

それから去年の新聞にも「グット碎けてゆかたがけでも」とありましたが、やはり以前通り禮儀あり度いと思ひます、それも結構ですが、それには行かれる方たちの御自重を望みたいと存じます、お互に餘まり見苦しいことは避けたいものです。

それからもう一つ、オーケストラは一昨年から庭の食事の場所で演奏されてゐますが、これもやはり映畫のある所の椅子に掛けて聞きたいものです。

各自に注意を

一自動車運轉手

近頃の樣な陽氣になつて來ますと、戶外では勿論、ひどいのになると車道にまで出てボール投をやつてゐるものがあります、或は子守なしで幼兒を車道で一人遊びをさせてゐるのもあります、これには私共は非常に迷惑して居ります過つて自動車で負傷でもやらうものならそれこそ大騷ぎです、私共も注意しなければならぬのは云ふまでもありませんが、一般市民の方々も充分御注意を願ひたいと同時に警察當局の嚴重なお取締を切望します。

探偵小說　女妖（115）

江戶川亂步作　橫溝正史　伊藤幾久造畫

恐怖の別莊（五）

「花子さん、花子さん」

黑ん坊は花子の驚きを、周章て手で制し乍ら、激しく眼玉を動かして、何事かを知らせやうとする然し、花子は小鳥のやうに打慄えてゐるばかりであつた。

黑ん坊は躍起となつてガラス戶を外から叩いた。あまり激しく叩かれるので、今にもガラスが毀れさうである。

花子は然し、さうしてゐるうちに、段々心地の落着いて來るのを感じた。相手はどうやら、自分に危害を加へやうとしてゐるのではないらしい。いや、その反對に、自分を救ひ出さうとしてゐるのではないだらうか。

彼女はおづ／＼と窓の側へ寄ると、そつと鍵を外した。さうして置いて、周章て身を退くと、要心深く身構えをした。

ガラス戶が開いた。と、さつと吹込んで來る風と共に、黑ん坊は礫のやうに部屋の中へ躍り込んで來る。

「花子さん！」

彼はさう叫ぶと、しつかりと花子の肩に手を廻した。

「？」

花子はぎよつとして身を固くする。黑ん坊は然し、無理矢理にその身體を抱きすくめながら、

「私です。分りませんか、私ですよ」

さう言ひながら、恐怖に打慄えてゐる花子の瞳の前へ、ぬつと無氣味な顏を寄せつけた。

「え？」

花子は突然、耐え難い驚愕に打のめされたやうに、暫し呆然としてゐたが、

「あゝあなたでしたの」

と、微かにさう呟くと、不意に力が拔けたやうに、相手の腕の中へ身を投げかける。

「さうです、私です。成瀨です。分りましたか。分つたらさア氣を確かに持つて下さい」

「あゝ、あなた、あなた！」

花子はふいに懷しい情熱に身を打慄はせゝ。長い間相見る事を許されなかつた戀人の成瀨子爵——夢寐の間にも忘れる事の出來ない成瀨子爵——その戀人がしかもこの恐ろしい敵の隱れ家で、見るも醜い黑ん坊に姿をやつしてゐやうとはどうして考へられやう。夢ではなからうか。夢ならばこのまゝさめずにゐてほしい。

「あなたはどうしてまア、こんな所に來てゐらつしたの」

「あなたがこのお邸へ連れて來られた直ぐその翌日から、私はこの邸へ黑ん坊として住み込んだのです。いや、あなたが、あの綾小路邸から出られた直ぐその後から、かくいふ私は尾行してゐたのですよ」

「え？では、あなたも、あの綾小路さまのお邸にゐらしたの？」

「え、ゐました。然し、今はそんな詳しい話をしてゐる暇はありません。逃げませう。一刻も早く逃げませう」

成瀨子爵は急き立てるやうにさう言つた。

「逃げると言つても……」

「この窓から逃げるのです。あなた恐ろしいのですか。花子さん。ぐづ／＼してゐる場合ではありませんよ。窓のところへ繩梯子をかけて置きました。下へさへ降りればもうこちらのものですからね。」

「はい。あなたさへ側にゐて下すつたら、あたし怖ろしい事なんか少しもありませんよ」

「よく言つてくれました。さア、逃げませう」

成瀨子爵はさう言ひながら窓の側へ寄つた。が、こは如何に、ない。繩梯子がない。誰が外したのか、それとも風の惡戲か、確にかけて置いた繩梯子が、影も形も見えないではないか。

二人は思はず顏色を失つた。

初夏……純眞無垢の少女に伸びる
誘惑の魔の手
女子教育者は之をどう見る？
石川神明高女校長（A）と記者（B）との對話

性に饑ゆる者の怪しくも惱ましき大都市の初夏、……ほの暗き街路樹の蔭に、夜の街頭の華やかさの中に、さては涼を追ふ涼み臺に、電車の中に、海に、山に、ありとあらゆる場所に乙女等の持つ唯一の誇りであるべき處女性を奪はんとする恐ろしい誘惑の魔の手はくりひろげられてゐる、それは娘を持つ親に取つては大いなる不安であり脅威であり、女子教育者に取つては絶えざる惱みの種である、この大きな社會現象に直面して乙女等は、親は、教育者は如何に處してゆくべきか、先づ神明高女に石川校長を訪ねて意見を叩いて見る。

B、夏になると大都市の共通的な現象として性的誘惑が多くなりますが、女學校あたりでは之に對してどんな豫防策をお取りですか、

A、中々むづかしい問題ですね、學校としては生徒自身に貞操についての確りした自覺を持たせるやうに訓話をするとか、誘惑に近づかないやうに、或は又自ら誘惑されるやうな機會を作らないやうに注意させてはゐるのですが、學校としてはそれ以上のよい方法がありません、

B、誘惑といふことを女學生達はどんな風に考へてゐるでせう？

A、恐らくはつきりした意識を持つてゐないでせう、而も誘惑の魔の手は恐ろしい姿ではなくて常に美しい形を以て接近するのですから之を避けるといふことは中々困難なことで、結局誘惑の機會を作らぬといふことが唯一の豫防策でせう、

B、誘惑の危險は主として家庭生活の圏内に於て起るのですが其の點に關して學校と家庭との聯絡はどんな風にやつてゐますか

A、まあ登校歸校の時間の打合せをするとか、濫りに外出をさせないやうにして貰ふとか言つた程度のものですねえ、

B女子が華美な服裝をするといふことは自ら誘惑の機會を作るやうなことになるのですが、此の意味に於て制服をきめたことはいゝことですね、

A、學校では質素な服裝をしてゐても家庭に歸ると絹の靴下をはいたり隨分派手な服裝をしたりする者もあるやうですが、この點は大いに家庭の自覺を促さねばなりません、

B、學生時代は身づくろひと言つたやうなことには餘り心を向けさせないやうにして、黒金のやうな身體を鍛へて置くといふとは結局將來に於ける健全な母としての身體の基礎を作ることにもなり、一面誘惑の機會をつくることも少くなりはしないでせうか、

A、ところが、さうなると女子の美點であり、特質である羞恥心女らしさ、しとやかさといつたやうなものを失はしめることになりますからさう單純にも考へられません、やはり女子には女らしさが最も貴いものですから日光直射の運動場で男性的な運動競技をしたあとでも必ず歸りには髪をくしけづらせ、服裝をとゝのへさせ、しとやかな女性として校門を出るといふやうにしてゐます、更に角女子教育は實にむづかしいものですね、僅か誘惑に對する豫防と言つたやうな消極的なことでさへ思ふやうにならないのですから建設的な教育はいよいよむづかしいわけです、

B女學校の上級生あたりは貞操といふものをどう解釋してゐるでせう、

A貞操の上に汚點を遺すことが女の一生に取つて致命的なものであるといふやうなことについてははつきりした意識を持つて居ないかも知れません、修身教科書には貞操について書いてはあるが、それは極めて抽象的であり概念的なもので果してそれが貞操といふものゝ眞の意味を理解させるに足るものであるかどうかは實に疑はしいものです、

B、やはり今後性教育といふものが必要になつて來ますね

A、中々むづかしい問題です、現在のところでは理科だとか家事だとかの適當な教材にぶつつかつた時に性の一般的性質について其の概念を與へるやうにはしてゐます、それから姙娠とか分娩育兒といふやうなかなり實際的な智識については大連病院の婦人科の醫長に來てもらつて講義をしてもらつて居ますが現在のところではまあ此の程度です

B、麻雀などをやつてゐる女學生もあるやうですが、あゝしたものが誘惑の機會となつてゐることもあるやうですね、

A、或はさうかも知れません、

B、世間では女學生の誘惑者が常に男學生であるやうに考へて居るやうであるが、女學生から見るとオヂサンと思はれるやうな中年の男から誘惑の手を伸ばされてゐる事實が決して少くないやうですね、

A、寧ろその方が多いかも知れません、

B、男女學生の性に對する考へ方が一般的に見てよほどアメリカ化しつゝあるやうですが、

A、極東オリンピックから歸つた人達の話によると東京あたりの女學生には隨分ひどいのがあるといふやうな話を聞きましたがとにかく憂ふべき現象です、これからの女子教育はいよいよむづかしくなりますね。

（寫眞は石川校長）

視覺への涼味
カットグラス

▽…水晶の結晶を見るやうな透徹味の中に閃くやうな銀光を持つカットグラス……それは初夏にふさはしい視覺への涼味だ、而し近代の進歩した硝子工業は硝子藝術の粋ともいふべき艶麗優美にして見るからにノーブルな硝子彫刻「グラビール」及「ノイグラスシライフエン」を生んだ、

▽…彫刻グラスはまだ餘り世間に知られてはゐないが、硝子細工の最高級品で價も最高である、

▽…滿洲産の裝飾グラスは其の品質に於て其の加工に於て遙かに内地品を凌いでゐる、

▽…カットグラスはコップのやうな小さなものから菓子皿、丼、花瓶等いろいろあるが、コップは五十錢位から二三圓位まで菓子鉢は四五圓から二十圓位まで

▽…「グラビール」の花瓶はグンと値が高く花瓶では先づ四五十圓處、最高級品になると千圓位の物もある（南滿ガラス調べ）

鯖の料理
◇…風味のある味噌煮…◇

◇…頭を切り、腹を開いて臓を抜き、水洗ひして之を三枚におろし腹骨を取り、小骨を抜き、適宜の大さに切つて、之を皮の方を上に向けるやうにして鍋の中に並べる、一方には鍋に味淋（或は酒少量と砂糖）を入れて烈火にかけ沸騰させて置き、その中に、右の鯖を生のまゝ入れるのである。

◇…その上から並味噌を少し鯖の上にかけて煮る、煮えたならば鍋のまゝ取り上げて小皿に盛りその上に少しづゝ、その煮汁をかけおろし生薑を添へるのも妙である。

硯の趣味
支那古文書の研究が轉じて
硯の蒐集に沒頭
硯の研究家　丘襄二氏

「私は決して蒐集家ぢやないんですよ、たゞ硯の種類を蒐めてゐるだけで、同じ物が二つあれば人にやつて了ひますから數から言へばお話になりません」と冒頭して、丘襄二氏は古稀に餘る老齢とは思へぬ童顔を笑ませ乍ら話し出す。

▽……△

成程丘さん所藏の硯は數で云へば僅か三十幾個だが、元々主義であるから同種の物は決して持たぬ丘さんの主義だ、それで現在丘さんの手許に無いものと言へば金の硯、銀の硯、骨の硯の三つで其他は、古くより現今のもの迄世界中、といつても東洋だけだがありとあらゆる種類は網羅されてゐるので硯の事なら丘さんの處に聞きに行く。次は丘さんの硯の講釋の一くさり。

▽……△

「文献には金、銀、骨の硯もあつた樣ですが未だ此の三つだけ私の手許に集りません、おそらく

▽▽裝飾用△△でせうが、其他翡翠硯、玉硯、水晶硯、碧璽硯等之等は皆裝飾用の物だつたのでせうが私は一つ宛持つてゐます、元來私が硯を蒐め出したのは三十年程前からで、私は古文書を研究してゐますので支那人の字が何故あんなに上手か、といふことから硯、墨、筆と關聯して研究し始めたのです。

▽……△

大體支那の硯は日本のに比して目が粗いやうですが之は支那の墨が膠が多いためで、粗くなければ磨れず、又墨に膠が多いから、ねばり氣が強く從つて

▽▽支那筆△△は毛が堅く、だから支那人が字を書くには唐紙の樣な丈夫な紙でないといけない、といふ風に全部關聯してゐるのです。私も硯許りでなく、墨や筆も蒐めて研究しやうと思ひましたが墨や筆は種類が多く又幾らでも後から後からと引續き勝手な物が造られますからこの二つには迚も手が及びません。

▽……△

硯で古い物は唐、秦時代のもので、瓦硯、泥硯などがありますが福建省南方では竹で拵へた竹硯などを使つてゐましたが其他、昔支那の書家が

▽▽旅行に△△持廻つた木製の硯もあります、青海、甘肅地方の寒い處では鐵や銅製の硯を使つてゐましたが之は凍るのを防ぐ爲め下から火で炮り乍ら磨つたものです

▽……△

大體昔の硯は今の樣に池が無かつたもので、必ず書く度毎に墨を摺るといふ風で仲々難しいものでした、支那硯の材料石は廣東から出るのが一番良いが此頃は此の材料石も無くなつて何でも構はないといふ風で全く粗雜になりました日本では甲州の雨畑産の石が一番良いんです」

▽▽趣味談△△は仲々興味がある「私の樣な用の無い閑人でないとこんな仕事は出來ませんよ」と話す丘さんは山城町二番地の閑寂な家に終日閉ぢ籠つて古文書を弄つてゐる。

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

三井物産株式會社大連支店

大連市山縣通
電話代表七一〇一番

福昌華工株式會社

大連市埠頭構內
電話代表四五一〇番

株式會社 福昌公司

大連市山縣通
電話代表七一七一番

三菱商事株式會社大連支店

大連市山縣通
電話代表八一五一番

三

越

大連市大山通
電話代表四一八一番

大連汽船株式會社

大連市山縣通
電話代表四一八五番

『岡平』さんが學務課へ 早くも婿入の挨拶
何を語る大平さんのニコニコ顔 嵐を前の滿鐵風景

職制の認可指令到着の翌十一日分課規程のみを一足お先へ發表してひお隣の人事課とは事かはり十二日は机上の書類も綺麗にかたづけて「さあ來い!」とばかり納まり返つた山崎文書課長のんびりキリアジの紫煙をパツフし乍ら「…だけど君、鈍刀で切られるよりはいゝぜ名刀でやられる方が……」「鈍刀でも名刀でも切られる身には同じく痛いですよ」と記者がまぜかへすと「いや、紫電一閃、切り人は名手つてことになると痛くないよ」◇

學務課へヌーッと入つてきた體育係の岡部平太氏、きはめていんぎんなる態度で「僕の所はどうやら全部こちらへ御厄介になることになるらしいので餘りお嫌ひなさらぬ様にお願ひします、前もつてあやまつておきます、どうぞよろしく」とスピーディな婿入の挨拶、面喰らつた學務課の人達月をパチクリ、何しろ柔道の猛者達入人を引具して御大以下いづれも逞事な巨軀を運び込もうといふのだから、學務課の今後の椅子の修繕問題が俄然持ち上る、職制改正劇のナンセンスな一齣

◇手廻しの早いのでは「あみだ會」の送別宴と共に斷然これもトツプを切つた……のが鐵道部庶務課文書係の人々、四時の退出時にすぐ道部前の植込を背景にして波田參事を中心に一同仲よくパチンと記念撮影のカメラに入る、他課の人達「早いぞく」◇

また鐵道部の旅客、貨物兩係では獨立した「課」になるのは創業以來初めてだといふので近く係の昇格祝賀會を開催することに異議なく贊成、これでボーナスは貰つても職制改正と人事異動に緊張して一向財布の紐をゆるめず「こんな筈ではなかつた」とこぼしてゐた商店街、逢阪、料亭、カフエーの女給の媚態に至るまで、滿鐵社員をめぐり消費經濟網を張り廻す人達の愁眉、漸く開き初めるとはめでたし◇

午後四時を過ぐる四十分、重役會議を終へて木村人事課長と共に總裁室から出て來た大平副總裁、數萬の社員の「けふか明日か?」と待ち焦れてゐる人事異動を秘めた風呂敷包みを小脇に飛鳥の如く階段を降りて自動車で退出せんとする所を張り込んでゐた記者團が忽ち包圍する、ほつとしたくつろいだ感じ、百%のニコくした御機嫌ぶりは何を語るものであつたやら……この夜、人事課の一室では煌々たる電燈の下に、多くの滿鐵への悦びと悲しみの、得意と失意の不安と焦燥をよそにして「職制改正最後の日」の運命が一枚一枚つくられすがくしい初夏の夜が靜かに更けて行つた

東久邇宮殿下 近衛第二旅團長に
定期異動で御榮轉

【東京十二日發電】目下參謀本部附として御勤務中の東久邇宮稔彦王殿下には來る定期異動に際して藤田鴻輔少將の中將進級の跡を受けさせられ近衛步兵第二旅團長に御榮轉あらせらるることに御内定の御模樣である

實滿野球第二回戰成績

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿倶	0	2	1	0	1	0	4			
實業	0	1	0	0	0	1	1			

慶應軍を招聘 對抗陸上競技
今夏八月九、十の兩日に亘り 滿洲體協主催で擧行

滿鐵運動會陸上競技部では今夏慶應陸上部を招聘すべく種々交渉中であつたが、いよく來る八月九十の兩日全滿チームを組織して大連運動場に於て滿洲體育協會主催のもとに對抗競技を擧行することに内定した

第一日(九日午後四時より)百米、砲丸投、千五百米、棒高跳、百十米高障碍、八百米繼走

第二日(十日午後三時より)二百米、走高跳、八百米、圓盤投、四百米低障碍、三段跳、四百米槍投、五千米、千六百米繼走

なは同チームは當地試合終了後撫順に於て撫順チームと對戰の筈

天業青年團講演會

大連天業青年團講演會は十六日午後七時から市内天神町大連女子商業講堂で開催されるが、當日の演題並に講演者左の如し

▲科學教育に弊害なし大連商業學校教諭平島大市氏▲神社と宗教大連第二中學校教諭川崎滿壽夫氏▲白色倫理運動と科學的國講主義大連商業學校教諭豐浦豐氏▲學生の歌謠と青年の氣風に就て大に考ふ可き必要なきか帆足經大氏

三浦内務局長ら甘井子視察

十三日午後三浦内務局長は水谷地方課長、中村遞信局氣象課長並びに折よく來連中の内田芝罘領事等と岡本海務局長の東道の下に海務局檢疫船にて甘井子築港視察に赴いた

自轉車で世界を一周
これから日本へ渡る 佛青年ハルビン着

【ハルビン特電十三日發】千九百二十七年佛國リヤワルダツク市を出發し自轉車の世界一周の目的でドイツ、チエツコ、オーストリア、ベルシヤ、ルウマニアを經て露國に入り言葉の解らぬのと路の惡いためー日十五露里の速力で黑海、アゾフスカヤ、ルイムを經てカフカズからトルキスタンに出でやうとしたがゲペウに阻止されシベリアを横斷して十日來哈した佛人リユウシエン・ベエレル(二〇)は、エスペラント語宣傳のため數日滯在これから南支那、印度、ペルシア、トルコ、イタリーを經て歸國すると語り、鐵道線路上を走る事の出來る車輪を作り興安嶺トンネルを拔けて來たと

山内侍從武官十二日來連
直ちに忠靈塔・大連神社に參拜

滿蒙旅中の侍從武官山内豐中海軍大佐は十二日午後二時、久保田關東州駐在武官の案内で自動車により旅順を出發、旅大道路のドライヴに初夏の新綠を賞でつゝ途中龍王塘水源地を視察し同三時四十分大連着、直ちに水井市長代理の出迎へを受けて忠靈塔に參拜し地下の英靈を慰め更に神出民政署長の案内で大連神社に參拜、同四時十分滿蒙資源館を參觀し村上館長の説明を聽取後、同五時より大廣場ヤマトホテルに到着宿泊したが、同六時三十分からは滿洲館に於ける滿鐵總裁の招待席に臨んだ(寫眞は忠靈塔に參拜の山内大佐)

わが海軍トラック 支那兵を轢殺す
漢口フランス租界で

【東京十二日發電】確な筋への情報によれば去る十日午後三時ごろ漢口佛租界を我海軍トラックが通行中自轉車に乘つた武漢行營の支那兵卒一名衝突即死した、右支那兵は佛巡査の停止信號を無視し横合ひから飛出しこの事件を惹起したもので佛租界當局はトラツクと我水兵を日本側に引渡し支那兵の死體は支那側に引渡さんとしたる所武漢行營は受取らず、目下佛租界に保管中で日本總領事は支那側と交渉中であるが、往年の漢口事件の如き惡化はしまいと見てゐる

訓導に叱られて學校に放火
新義州公立普通學校の騷ぎ 大事に至らず消止む

【安東特電十二日發】十一日午後九時ごろ新義州公立普通學校の本館に何者か放火したるも宿直員に發見され大事に至らなかつたが、探知するところによれば大膽にも同校一生徒が放火を企てたこと判明した、原因は六年生受持訓導太田氏が十日の朝受持生徒李某が朝會に出席しないのを叱責したところその生徒はひどく激昂して遂に校舍の燒失を圖らんとしたものである

古井戸から裸體の慘殺死體
死後三ケ月を經過 痴情の果ての兇行と判明す

十二日午前九時ごろ周水子方外屯陸軍飛行場東北隅にある滿鐵試掘古井戸の中に年齡卅五歲位の支那人男の裸體を蓆包で包んだ慘殺死體あることを附近の者が發見驚いて大連署に急報、同署からは係官直ちに現場に急行、調査の結果、右は周水子方外屯字海南屯一區二三居住の苦力頭苦力房李子林(三〇)の死體と判明、全身腐爛せるも胸部に七ケ所の刺傷と絞殺された形跡あり死後約三ケ月を經過せるもので更に嚴重調査の結果、同人は妻及び子供一名と同所に住んでゐたが二月下旬、山東省鄧州府曹縣當時陸住苦力部頭實(三二)同張德清(三二)李清旺(二〇)及び同人妻女等のため同所に於て殺害されたもので、犯行の原因は妻を中心とした痴情關係であること判明した、大連署では直ちに手配をなし上記犯人等を搜査中なるも犯行後妻は郷里山東省に歸省したらしく姓名、行方とも不明である

鯉畫家の素軒畫伯來る

故今尾景年翁の門下で鯉畫家として第一人者の稱がある伊藤素軒畫伯が來連したのを機に同好者が集り尺八(八十圓)尺五(五十圓)尺二(四十圓)全紙(五十圓)半切(二十圓)の會費で書會を發起し畫伯の作品を頒布する、申込所は大連ホテル内三島晴次氏

實母の頭を手斧で割る
己は火見櫓から飛降り自殺

【靜岡十三日發電】靜岡縣磐田郡於保村字五十子一七寺田幾吉(三五)は十三日午前四時ごろ熟睡中の實母シカ(五五)を突然手斧を揮つて腦天に一擊を加へ瀕死の重傷を負はせて戸外に飛出し一丁半を距てた火見櫓に上り高さ三丈の高所より飛下り自殺を遂げた、急報により所轄署より係官出張し原因その他取調べ中であるがシカは生命危篤である

失業救濟策に土木事業を起せ
政府間に意見有力

【東京十三日發電】失業救濟策につき安達内相は十三日の閣議にて失業防止委員會の各委員の意見を詳細に報告の後種々意見の交換を行つた結果、政府としてもこれが臨時對策として土木事業を起すべしとの意見有力となつた、而して右土木事業起工に伴ひ財源として公債政策に考慮を加ふべき事となり近く閣内首腦部間にて公債政策變更につき根本方針を決定する事となつた

四題目を揭げて囚徒に緊張週間
司法省があす官報で公示 今夏先づ衞生週間を勵行

【東京十二日發電】司法省は全國檢事正の要望を掛酌し全國五十七所に散在收容してある四萬二千名の囚徒に緊張週間を作らうとしてゐるが、その週間は衞生修養安全及び力行の四題目を適宜案配らして四期に分ち行ひ囚徒の克己心の養成を圖るもので、具體案は十四日官報で公示することゝなつた、先づ今年の夏衞生週間を勵行し全國刑務所一齊に徹底的な衞生事項に努力させ、次に修養週間を開いて佛教家の修養話を聞かせ、安全週間には作業の安全率を增すやう、力行週間には勤勉を獎勵するといふので司法當局もこの新施設には頗る乘氣となつてゐる

世界重體量拳鬪にシユメリング捷つ

【ニユーヨーク十二日發電】世界重體量拳鬪選手權爭覇戰シヤーキー對シユメリングは豫想に反しシユメリングが勝つた

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭は午前十時より執行されるが、當日は參拜者のため早朝より祓神樂奉仕、御酒御供物の頒與ある筈

山浦醫師嚴父

市内三河町山浦齒科醫院主林太郎氏嚴父勝太郎氏(六六)は十一日午前八時、腦溢血にて突然卒倒し手當の効なく同日午後十時四十分死去した、葬儀は途中行列を廢し十三日午後四時天神町明照寺にて執行の筈

本紙創刊廿五周年

大飛躍!大發展

十三段制の實施

材料の豐富と廣告申込の殺到は讀者各位の視力に影響せざる設備の完成を促す。依つて本社は新社屋移轉と同時に、十三段制を採用し時代の要求に應ぜんとす。

高速度輪轉機增設

締切時刻を遲らし新聞製作を迅速にし、依て最新事實の報道を可能ならしむることは最近新聞界の傾向である。この要求を滿足に實現すべく要求せらるゝものは『滿日型』最新式超高速度輪轉機の增設に外ならない。

紙面刷新大擴張

本社に於ける諸設備の充實は支社、支局新聞通信網の擴張と相俟つて、紙面も亦一大刷新、充實擴張を期せんとするものである。即ち十三段實施と同時に現在の活字七ポイント半を七ポイントに改め、これによつて現在より十二頁につき三千四百四十行、五萬一千六百六十字を增加する。而して廣告面は現在の一段百四十五行が十一行增加し百五十六行となる。

活字の改良と共に揭載記事は一層の正確と敏速を期し本紙獨特の電報は勿論、政治、經濟、社會、家庭、敎育、文藝、映畫、各種娛樂、等々各欄に亘り目覺ましき飛躍發展を期してゐる。

印刷所機械更新增設

新築移轉と同時に最新式印刷機數臺と鑄造機及製本機を增設し活版、平版オフセツト印刷、コロタイプ印刷、寫眞銅版及凸版製版其他高級印刷に關する設備を充實し、精巧、迅速、親切、低廉をモツトーとして、名實共に滿鮮第一たらんことを期するものである。

滿洲日報社

社屋新築落成記念